



2019

副 専 攻
プログラム

目 次

新潟大学の副専攻制度について

(1) はじめに	2
(2) 副専攻制度とは?	2
(3) どんなプログラムがあるの?	3
(4) 副専攻を修得するメリットは?	4

1. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの流れ

5

2. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの詳細	
(1) 副専攻ガイダンスへの参加・副専攻パンフレットについて	6
(2) 副専攻プログラムの授業科目の履修手続について	6
(3) 副専攻履修証明書の発行について	8
(4) 副専攻の認定申請条件と認定申請方法について	9
(5) 学務情報システムの活用について	10

3. 各副専攻プログラムの紹介	
環境学	12
MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）	14
芸術学	16
外国語（ドイツ語）	18
外国語（英語）	20
外国語（フランス語）	22
外国語（コリア）	24
外国語（ロシア語）	26
外国語（中国語）	28
地域学	30
GIS（地理情報システム）リテラシー	32
法律学	34
政治学	36
経済学	38
電子・情報科学	40
統合化学	42
医学物理学基礎	44
文化財学	46
国際教養	48
世界システム論	52
会計学	54

4. よくある質問FAQ

56

新潟大学副専攻の認定に関する規則	62
------------------------	----

2019年度 副専攻プログラム代表教員連絡先・授業時間割	64
------------------------------------	----

2019年度 副専攻入門科目等一覧	65
-------------------------	----

問い合わせ先・案内図	66
------------------	----

新潟大学の副専攻制度について

(1) はじめに

皆さんは、将来を考えて選択した専門分野での勉学を深めることを目的に、大学に入学されたことと思います。高校生の段階では専門領域の詳細について十分に理解はされていないと思いますし、将来の夢がかたまっていて、という方ばかりではないかも知れませんが、理解の深さの程度はさまざまであるにしても、専門分野の勉学に強い意欲をお持ちのことと思います。

しかし、専門分野を狭く考えて、専門分野だけを勉学したのでは、将来、社会に出た時に、必ずや自らの識見の狭さに直面することになると思います。専門分野で身につける知識や技能は、その専門分野でしか役に立たないものでは決してありません。皆さんが巣立っていく社会で求められている力は、これまで出会ったことのない新しい問題に対して対応する力です。そのような力は、専門分野で身につける深い知識や技能だけでなく、専門分野とは異なった視点からの知識や技能であるといえます。大学では、そのようなバランスのとれた能力を身につけることを目的に、専門教育と並列して教養教育という教育プログラムを用意してきました。

ところが、従来の教養教育がその目的を十分に果たしてきたかという点、必ずしもそうとは言えません。その結果として、学生の知的関心がとても狭いものになったり、専門分野の理解が表面的なものに留まったりするという事態を招いているといわれています。大学には、早急にその克服に努める責務があります。

そこで、新潟大学では平成16年度から学部教育を学士課程教育と捉えて抜本的改革に着手しました。そのひとつが「副専攻制度」の導入です。新潟大学は10の学部を擁する総合大学でありながら、二つのキャンパスにほぼ全ての学部・大学院が集中しているという地理上の特徴があります。それだけでなく、希望すれば自分の属していない学部の授業も聴講できるという制度上の特徴もあります。この2つを組み合わせた“第二の専門分野”を認定する制度が副専攻制度なのです。

(2) 副専攻制度とは？

所属学部・学科の学位とは別に、特定分野の学習成果を認証する制度です。

専門分野の勉学の成果は、卒業時に「学士」という学位の称号を得ることで、社会的に認知されます。しかし、従来、専門以外の分野について、学習成果を認証する制度はありませんでした。例えば法学部の学生が社会的関心に触発されて、一定水準以上の環境科学の勉学を行ったとしても、社会的に認知される何らかの認証を受けることはできませんでした。副専攻制度では一定の条件をクリアした学生に対して、大学で特定分野を学んだことの証明として公的な認定である「副専攻認定証書」を授与する制度です。

**当該専門分野以外の科目を一定単位数以上取得した学生に、
その勉学の認証として、副専攻認定証書を授与します。**

学生は卒業にあたって副専攻認定の申請を行います。定められた基準を満たしていることが確認されれば、専門分野に関わる「学士」の学位記に加え、分野を明記した「副専攻」を認定する文書を発行します。先の例のような学生は、卒業時に「学士（法学）」の学位に加えて、大学で環境科学を学んだ公的な証明として、「環境学」の副専攻認定が受けられます。副専攻認定に触発されて、自主的に環境学分野で一定水準以上の学習をした法学部学生は、きっと社会の中でその経験を生かしていけるはずです。

(3) どんなプログラムがあるの？

副専攻には「課題別副専攻」と「分野別副専攻」の2つのタイプがあります。「課題別副専攻」は、全学で開講されている科目を分野横断的に統合した「テーマカリキュラム」です。「分野別副専攻」は特定の学問分野の授業科目から作られたプログラムです。

課題別副専攻（14プログラム）
環境学
MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）
芸術学
文化財学 ◆
外国語（ドイツ語）
外国語（英語）
外国語（フランス語）
外国語（コリア）
外国語（ロシア語）
外国語（中国語）
世界システム論 ●
地域学
G I S（地理情報システム）リテラシー
国際教養 ◆

分野別副専攻（7プログラム）
法律学
政治学
経済学
会計学 ●
電子・情報科学
統合化学
医学物理学基礎

◆印のあるプログラムは2019年度以降入学者（3年次編入生は2020年度以降入学者）は認定の対象となりません。認定希望者は、2019年度までに入門科目を履修し、原則として2021年度までに認定を受けて下さい。

●印のあるプログラムは2017年度以降入学者（3年次編入生は2018年度以降入学者）は認定の対象となりません。認定希望者は、2017年度までに入門科目を履修し、原則として2019年度までに認定を受けて下さい。

*分野水準表示法

新潟大学で開講されている多くの科目には、「分野」と「水準」を示したコードが割り当てられています。各開講科目には、その科目の「分野」と「水準」がそれぞれ2桁の数字で示されます。

水準コードは、10の位で「聴講科目対象者」を、1の位で「授業の水準」を示します。履修の計画を立てる場合、参考になるのは水準です。

3は「学士課程の基礎的水準」、4は「学士課程における専門の中核的水準」ですので、履修のはじめの段階では3の科目を、かなり進んだ段階では4の科目をとった具合に、選択の一つの目安として活用できます。

■分野コード表

分 野	分 野	分 野	分 野
10 情報	36 経済学	53 建築学	75 新潟大学個性化科目
13 芸術	37 経営学	54 材料工学	76 大学学習法
14 健康スポーツ	38 社会学	55 プロセス工学	77 課題研究
15 生活科学	39 心理学	56 人間医工学	80 基礎医学
16 科学技術社会論	40 教育学	57 生物学	81 臨床医学
17 博物館学	41 数学	60 農学	82 社会医学
28 哲学	43 物理学	61 農芸化学	85 看護
29 文学	44 地学	62 林学	86 福祉
30 言語学	46 化学	64 農業経済	87 境界医学
31 史学	47 応用化学	65 農業工学	90 基礎歯学
32 人文地理学	49 工学基礎	66 畜産学	91 臨床歯学
33 文化人類学・民俗学	50 機械工学	70 英語	92 社会歯学
34 法律学	51 電気電子工学	71 外国語	99 その他
35 政治学	52 土木工学	74 キャリア意識形成	

■水準コード表

10の位の数字	1の位の数字
0 全学の学生を受け入れることが可能科目	1 大学学習法など、学士課程での学習を円滑にするためのもの
1 当該学部（学科）の学生に限られる科目	2 高等学校との接続を意識した水準（リメディアル）
2 教員免許など資格に関わる科目	3 学士課程の基礎的水準
	4 学士課程における専門の中核的水準
	5 学士課程における専門の発展的内容で大学院との接続水準

(4) 副専攻を修得するメリットは？

● 幅広い知識を得られる。

学生のみなさんは、自分の興味のある分野、将来なりたい職業を考えて所属している学部、主専攻プログラムを選んだことと思います。しかし、必ずしもその分野だけに興味があるわけではないのではないのでしょうか。副専攻を活用することで主専攻プログラム以外の関心のある分野を体系的に学ぶことができ、修了認定も受けることができます。

卒業生の声（卒業生アンケートより）

専門以外の教養科目は「卒業のための単位を取るための講義」になりがちですが、副専攻で勉強の方向性が決まっているとモチベーションは維持しやすいと思いました。やはり、教養科目も単位のために無秩序に講義を受講するより一つ目標があったほうが良いと思います。

● 主専攻の学習を補うことができる。

各主専攻プログラムでは到達目標が定められており、その目標を達成するためのカリキュラムが作成されています。学生はカリキュラムにそって授業を受講していきませんが、副専攻は上手に活用することで到達目標を達成する手助けになります。例えば、「外国語（英語）」はどの主専攻プログラムでも必要でしょう。「MOT基礎」は工学部の学生にとっては重要な知識となることと思います。

卒業生の声（卒業生アンケートより）

主専攻である経済学を学ぶにあたり、地域経済を主に学びたいと思い地域学の副専攻を履修した。その際、主専攻に絡めながら副専攻を学んだが、フィールドワークなどが多い地域学の分野では、座学では学べないことや人とのつながりなどを体感できた。また、他学部の講義を受けることで、多角的な視点や所属学部以外の大学内の様子を見ることができ、自身の大学生生活に大きく役立った。

● 就職活動に活用することができる。

就職活動ではエントリーシートや面接などで大学で何を学んできたか聞かれる場合があります。そのようなときに主専攻プログラムだけではなく、副専攻プログラムで幅広い知識を学んだことをアピールすることができるでしょう。

就職活動で副専攻をアピールしたい方は、「**副専攻プログラム履修証明書**」を3年次、4年次に発行することができます。（証明書発行方法は8ページを参照）

卒業生の声（卒業生アンケートより）

頑張って副専攻を取ってよかったと思っています。就職活動の時にネタにもなったし、自分自身の自信にもつながりました。

企業の声（企業アンケートより）

就職してから必ず役に立つものと思います。弊社も、御校の学生を採用する際には参考にさせていただきたいと思います。

1. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの流れ

① 副専攻ガイダンスへの参加・副専攻パンフレット（本冊子）を入手する

毎年、学期始め（4月、10月）に副専攻ガイダンスが開催されます。ここでは、副専攻履修に関しての大事なお知らせがありますので、なるべく参加するようにしましょう。

また、副専攻対象の科目は、開講状況等により年度によって変更になることがあります。**入学年次から卒業年次まで、各年度の副専攻パンフレット（本冊子）を手に入れ、履修を進めましょう。**
（詳しくは6ページ 2（1）を参照のこと。）



② 副専攻プログラムの授業科目の履修手続（1年次～3年次）

まず、各副専攻プログラムの内容・認定条件などを確認してください。そのうえで、各プログラムに登録されている科目一覧から卒業時まで**24単位**修得することを目指します。

★3年次の末までに「入門科目」を履修しておきましょう。

★副専攻プログラムは1年次～3年次のどの時点からでも開始できます。

★副専攻プログラムの授業科目の履修申請は、通常の授業科目の履修申請と同じです。

（詳しくは6ページ 2（2）を参照のこと。）



③ 副専攻履修証明書の発行（3年次以降）

就職活動などで、副専攻の履修をアピールしたい場合などは、3年次以降、「**副専攻履修証明書**」を発行することができます。

（詳しくは8ページ 2（3）を参照のこと。）



④ 副専攻の認定申請と審査（4年次12月～2月）

副専攻の認定を受けようとする学生は、卒業年次の所定の期間に認定申請を行わなければなりません。
（詳しくは9ページ 2（4）を参照のこと。）

- ・認定申請に関するお知らせを学務情報システム及び副専攻掲示板（総合教育研究棟B棟2階学生玄関正面に設置）にて通知します。必要書類を学務部教務課（場所は66ページ参照）に提出してください。
- ・いくつかのプログラムでは、認定審査の際に**最終レポート**や**課題の提出**が求められています。学務情報システム及び副専攻掲示板にて通知しますので注意してください。



⑤ 副専攻認定証書の授与（4年次3月）

認定審査を通過した学生に対して、「**副専攻認定証書**」を卒業式において授与します。

2. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの詳細

(1) 副専攻ガイダンスへの参加・副専攻パンフレットについて

毎年、学期始めに副専攻ガイダンスが開催されます。ガイダンスの日程は学務情報システムや、副専攻掲示板などでお知らせします。

また、副専攻パンフレット（本冊子）には、副専攻の認定を目指す上で重要なことが書かれています。熟読するようにしましょう。

★ガイダンスは2種類あります。

①スタートアップ・ガイダンス

主にこれから副専攻を始めようとする学生が対象のガイダンスです。

②エンカレッジ・ガイダンス

主に既に副専攻を履修している学生が対象のガイダンスです。

★副専攻対象の科目は、開講状況等により年度によって変わる場合があります。そのため、入学年次から卒業年次まで各年度の副専攻パンフレットを手に入れ、履修を進めましょう。

副専攻パンフレットは、学務情報システムからも閲覧可能です（11ページ参照）。また、学務部教務課において、随時配布しています。

(2) 副専攻プログラムの授業科目の履修手続について

履修開始にあたって

12ページからの各プログラムの紹介ページを見ながら、実際に履修したい副専攻プログラムの検討をします。どの副専攻プログラムにするか迷っている場合は、**興味のあるプログラムの科目を同時に履修することから始め、最終的には1つのプログラムの認定を目指すこと**をお勧めします。

また、はじめに「**入門科目**」(※注)を履修しましょう。入門科目では、この副専攻では何を学ぶのかや履修にあたっての注意事項などの説明も行われます。ほとんどの入門科目は、どの学部学生でも履修できるようにするため、**オナーズ・タイム**（お昼休みの時間：11時55分～12時45分）に開講されています。

※注：外国語（ドイツ語）、外国語（中国語）の入門科目は2年次以上の学生のみ履修可能です。

1年次学生は履修できません。また、世界システム論と会計学は2016年度以前の入学者（編入学生は2017年度以前入学者）のみ、文化財学、国際教養は2018年度以前の入学者（編入学生は2019年度以前入学者）のみ認定対象となります。

★副専攻プログラムの授業科目の履修は、履修登録期間中に学務情報システムから履修登録します。

★副専攻履修開始にあたって、事前登録などは必要ありません。卒業するまでに認定条件を満たすように、副専攻パンフレットに掲載されている授業科目を履修してください。

履修計画を立てよう

次のことに注意しながら、履修計画を立てましょう。

- ・3年次末までに入門科目を履修してください。
- ・卒業年次までに認定を目指す副専攻プログラムの登録科目を24単位以上修得することを目指してください。
- ・**プログラム独自の認定条件を確認**してください。
- ・主専攻等（皆さんが所属する学部での専門の授業）の履修がおろそかになることがないように、**最終的に副専攻が認定されるのは一人ひとつ**までとしています。

★副専攻プログラムで何単位を修得済みかは、学務情報システムの「副専攻成績確認表」から確認できます。(詳しくは10ページ)

★参考までに過去の副専攻認定学生の履修例を以下に掲載します。

副専攻プログラム修了生の履修例は、学務部教務課で閲覧可能です。

副専攻「環境学」修得単位：27

経済学部 経済学科

分類	属性	水準	科目名	単位	修得年度	履修学年
コア	R	03	環境学入門	1	2015	1
コア	B	02	生産環境科学概論Ⅰ	2	2015	1
コア	C	03	保全生態学	2	2015	1
コア	A	04	生命環境倫理学	2	2016	2
コア	R★	04	環境学実習	1	2016	2
コア	B	03	くらしと環境	2	2016	2
コア	C	04	多様性生物学A	2	2016	2
コア	C	04	多様性生物学B	2	2016	2
関連	B	04	都市衛生施設工学	2	2016	2
コア	C	02	生産環境科学概論Ⅱ	2	2016	2
コア	R	05	環境学演習	1	2017	3
コア	A	03	倫理学入門	2	2017	3
コア	A	04	環境経済システム論Ⅰ	2	2017	3
関連	C	03	野生植物生態学	2	2017	3
関連	C	04	環境政策論	2	2017	3

副専攻「外国語（コリア）」修得単位：25

教育学部 学習社会ネットワーク課程

分類	属性	水準	科目名	単位	修得年度	履修学年
コア	A	03	朝鮮語スタンダードⅠ	3	2015	1
コア	A	03	朝鮮語スタンダードⅡ	3	2015	1
コア	R	03	コリア学入門	1	2016	2
コア	R	03	国際交流	2	2016	2
コア	C	03	コミュニケーション・朝鮮語B	2	2016	2
関連	B	03	歴史文化学入門A	2	2016	2
コア	C	03	コミュニケーション・朝鮮語D	2	2016	2
コア	C	03	歴史学Q	2	2016	2
コア	C	03	歴史学Ⅰ	2	2016	2
コア	C	03	領域融合・超域科目Ⅰ	2	2016	2
関連	B	03	日本・アジア言語文化入門B	2	2016	2
関連	B	03	平和を考えるA	2	2017	3

履修中にわからないことがあれば、プログラムの代表教員（連絡先は64ページ参照）にアドバイスを受けましょう。

特に入門科目は主に代表教員が担当しているので、わからない点は、そこで解決するようにしましょう。また、学務部教務課が事務的な窓口を担当しています。

学務部教務課お問合せ先 TEL：025-262-6530 MAIL：kyoumu@ge.niigata-u.ac.jp

ご不明な点はお気軽にご連絡ください。学務部教務課の場所は66ページをご覧ください。

(3) 副専攻履修証明書の発行について

副専攻の修得が最終的に証明されるのは、卒業式で「副専攻認定証書」が授与されてからになります。

しかし、実際に**就職活動などで副専攻を履修していることをアピール**したいこともあるでしょう。そのために、「新潟大学副専攻プログラム履修証明書」(下図)が用意されています。以下の履修証明書の発行要件を満たした方は、学務部教務課まで申請いただければ証明書を発行します。

※証明書発行までには3日程度かかります。

◎履修証明書発行要件

- (1) 学生本人からの「申し出」により発行する。
- (2) 発行対象は、第3年次生及び第4年次生とする。
- (3) 発行にあたっては以下の基準を満たすこと。
 - ・各副専攻プログラムの入門科目を履修済み、または履修中であること。
 - ・発行申請時までの全履修科目のGPA値が、2.5以上であること。
 - ・副専攻科目を12単位以上履修済み、または履修中であること。

新潟大学副専攻プログラム履修証明書

新潟大学副専攻プログラム履修証明書	
新潟大学	
人文学部 人文学科	
3 年 新潟 太田	
上記の学生は、本学が開設している下記の副専攻プログラムを履修中であることを証明します。	
副専攻プログラム名	
「 外国語 (中国語) 」	
平成28年 4月 4日	
新潟大学理事 (教育担当)	信濃 川之助
新潟大学教育・学生支援機構長	職印

(4) 副専攻の認定申請条件と認定申請方法について

副専攻の認定申請をするには、卒業年次までに以下の条件を満たす必要があります。

【認定申請条件】

- ① 3年次末までに、各副専攻プログラムで定められた「**入門科目**」を履修すること。
- ② 副専攻プログラムの授業科目を**24単位以上**修得すること。
- ③ 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数（**標準124単位**）+**12単位以上**であること。
- ④ 卒業時まで履修したすべての授業科目の**GPA^{*1}**が**2.5以上**であること。
- ⑤ **各プログラムが独自に定めた認定条件**を満たしていること。（各プログラムごとの認定条件は12ページからの各副専攻プログラムの詳細ページを参照してください。）

* 1 : G P A (Grade Point Average)

皆さんが受けた授業の成績の平均を示す指標です。以下の式で算出され、認定条件の「G P A 2.5」は、各授業での成績平均75点に相当します。**GPAは、学務情報システムの「副専攻成績確認表」で確認できます（10ページ参照）。自分で計算する必要はありません。**

$$GPA = \frac{(\text{各授業科目の単位} \times \text{各授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修した各授業科目の単位数} \text{の総和}}$$

ここで、**G P**とは

$$GP = (\text{成績評価} - 50) \div 10$$

と定義します。ただし

$$\text{成績評価が60点未満の場合} \Rightarrow GP = 0$$

とします。

【認定申請方法】

上の条件を満たしている学生は、**卒業年次に**認定審査を受けることができます。

認定申請は認定申請期間中に以下の書類を学務部教務課に提出します。認定申請期間は、例年12月中旬～1月中旬までのおおよそ1ヶ月の間です。

認定申請の詳細は、学務情報システム及び副専攻掲示板にて通知します。

- ・ 副専攻認定申請書
- ・ 副専攻成績確認表
- ・ 成績通知書

【副専攻認定証書の授与】

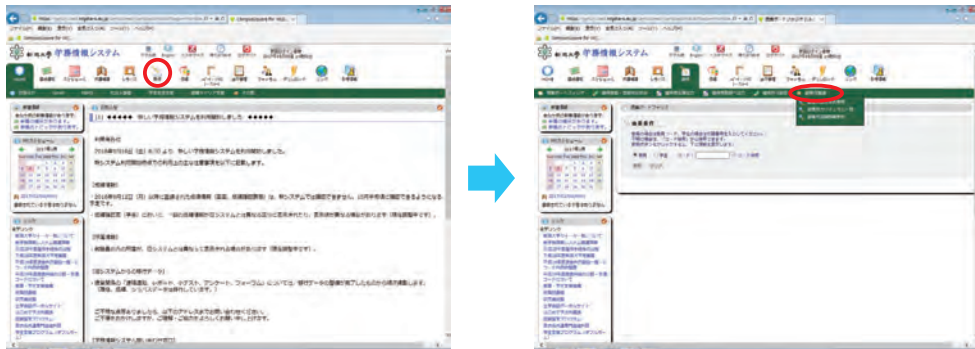
認定審査を通過した学生に対して、「副専攻認定証書」を卒業式において授与します。副専攻認定証書の授与が決定したのち（3月中旬頃）、各学生に学務情報システム及び副専攻掲示板にて通知します。

(5) 学務情報システムの活用について

学務情報システムには副専攻を履修していく上での手助けとなる機能が用意されています。その機能についてここで紹介します。

はじめに

学務情報システムにログインし、履修、副専攻関連と進んで下さい。よく利用する機能は、「副専攻成績情報参照」と「副専攻カリキュラム一覧」です。



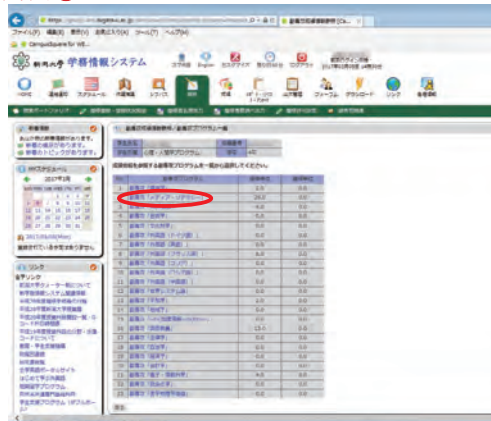
①成績情報副専攻参照

「副専攻成績情報参照」では、**各副専攻プログラムにおける自分の単位修得状況を確認**することができます。

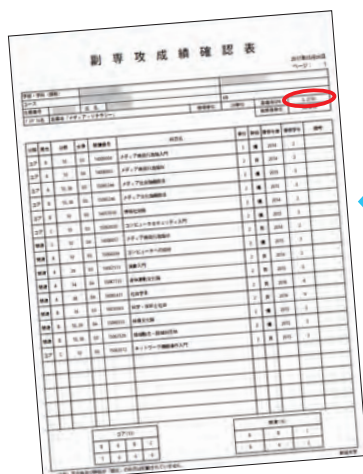
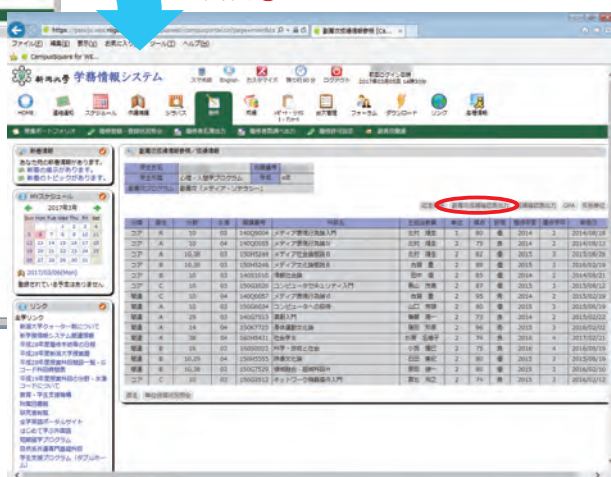
最終的に修了認定を受けるためには、修得単位数が**24単位以上**になっていなくてはなりません。

単位修得状況の詳細を確認したい場合は、画面④にてプログラムを選択することで、画面⑤で確認することができます。

画面④



画面⑤



副専攻 GPA

また、「副専攻成績確認表出力」をクリックすると認定申請時の必要書類である「**副専攻成績確認表**」(C)を確認・印刷できます。

「副専攻成績確認表」では、**自分のGPA**を確認できます。

©副専攻成績確認表

②副専攻カリキュラム一覧

「副専攻カリキュラム一覧」では、実際に各副専攻プログラムの対象となる授業科目を確認することができます。画面④の「副専攻プログラム名」選択欄から希望の副専攻プログラムを選択すると、画面⑤にて各年度の授業科目が確認できます。

画面④

画面④

画面⑤

ここがポイント！

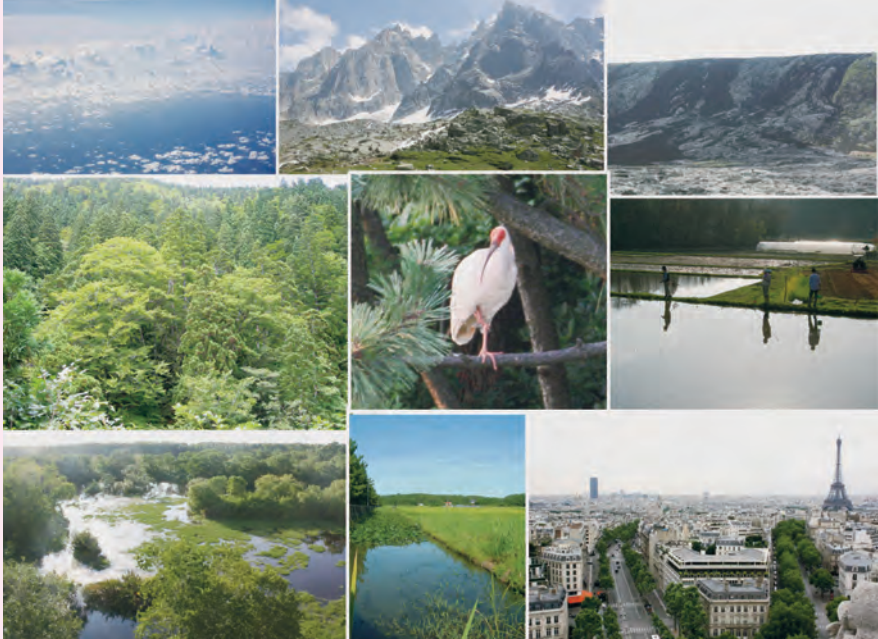
副専攻の各種資料を手に入れよう

副専攻では学務情報システムの「ダウンロード」を使ってガイダンスで配布した資料や各種申請書などを配布しています。副専攻パンフレットもこのページからダウンロードできます。

ダウンロードをクリック

「副専攻」をクリック

■プログラムの名称 「環境学」

概 要	環境問題は、地球システムの認識に始まり、社会の経済活動に至る多様な分野に関わる問題である。 本副専攻では、主に理工農など自然系学部開設科目を活用して、幅広い分野に渡る環境問題への基礎理解を促すプログラムを提供する。		
ね ら い	自然科学の諸分野（理学、農学、工学）で、「環境」がどのように取り扱われているかを理解する。 また、人文社会学系列の分野で、「環境」がどのように取り扱われているのかを修得する。環境問題の本質を理解し、これらの問題を解決出来る能力を備えることをねらいとしている。		
到達目標	1. 倫理学、経済学、法学基礎知識に基づいて環境を考えることができる。 2. 生活者の視点と地球規模の視点の両面で環境を捉えることができる。 3. 複数の環境問題について、複合的視点で議論することができる。 4. 複数の自然科学分野の基礎に立って、科学的視点で環境問題を考えることができる。	副 専 攻 委員会委員	○湯川 靖彦 中田 誠 吉川 夏樹 林 八寿子
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・属性区分「A」、「B」、「C」の科目から、それぞれ「2科目」以上を修得していること。 ・コア科目から必修科目を含んだ、「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目のうち、属性区分「A」、「B」、「C」の科目から、それぞれ「1科目」以上を修得していること。 ・「環境生物学野外実習C」、「環境学実習」のうち、いずれか「1科目」を修得していること。 ・理学部自然環境科学科、農学部生産環境科学科、工学部建設学科の学生は、本プログラムによる副専攻認定は行わない。（ただし、それらの学生の聴講を妨げるものではない。）		
プログラムの紹介	本プログラムでは、主に、自然科学系の分野で環境がどのように取り扱われているかを学び、環境問題の本質を理解することを目的としている。 地球環境問題や資源のリサイクルなど、環境問題は今後の社会において重要な要素である。副専攻として環境問題を学ぶことは知識の幅を広げるだけでなく、自分の専門に関しても大きな影響を与え、新たな発想や解決法を見いだすきっかけになると考えられる。 理系の学生はもちろん、特に「文系」の学生にも、是非、聴講して貰いたい副専攻である。 		

「環境学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A：人文社会・教育科学系科目／B：工学系・農学系科目／C：理学系・農学系科目／
R★：どちらかの科目が必修

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9001	環境学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	講義	湯川 靖彦・他	自然科学系（理）	99	03
2	コア	R	190Q0003	環境学演習	1	第2学期	第3・4ターム	水H・T	演習	中田 誠・他	自然科学系（農）	99	05
3	コア	R★	190Q0002	環境学実習	1	集中講義			実習	本間 航介	自然科学系（農 FC）	99	04
4	コア	R★	194S6532	環境生物学野外実習 C	1	第2学期	第4ターム	集中	実習	安東 宏徳・他	自然科学系（理臨海）	57	14
5	コア	A	191G7014	倫理学入門	2	第1学期	第1ターム	月3,木3	講義	栗原 隆	非常勤講師	28	03
6	コア	A	192S6521 192A1156	環境経済システム論 I	2	第1学期	第2ターム	集中	講義	房 文慧・他	非常勤講師	36	04
7	コア	A	194S7501 194A1055	技術者倫理・自然環境関連法規	2	第2学期	第4ターム	月2,木2	講義	箕口 秀夫・他	自然科学系（農）	62.65	14
8	コア	A	191A0001	農学入門 I	2	第1学期	第1ターム	月1,木1	講義	西村 実	自然科学系（農）	65	02
9	コア	B	190S6516	環境汚染論	2	第2学期	第3・4ターム	水1	講義	湯川 靖彦・他	自然科学系（理）	57	05
10	コア	B	192S7515 192A1062	流域水文学	2	第1学期	第2ターム	水3,4	講義	Whitaker Andrew	自然科学系（院自然）	65	03
11	コア	B	193A1089	食料資源経済学	2	第2学期	第3ターム	火1,金1	講義	古澤 慎一	自然科学系（農）	64	14
12	コア	B	193A1092	環境保全型農業論	2	第2学期	第3ターム	月2,木2	講義	平泉 光一	自然科学系（農）	64	04
13	コア	C	191A0002	農学入門 II	2	第1学期	第1ターム	月2,木2	講義	西村 実	自然科学系（農）	62	02
14	コア	C	190S6509 190A1169	地質災害論	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	久保田 喜裕	自然科学系（理）	44	14
15	コア	C	194G6520	生物学－生物多様性 A－	2	第2学期	第4ターム	月3,木3	講義	藤村 衡至・他	自然科学系（理）	57	03
16	コア	C	191S0584	多様性生物学 A	2	第1学期	第1ターム	月2,木2	講義	高橋 正道	非常勤講師	57	04
17	コア	C	192S0585	多様性生物学 B	2	第1学期	第2ターム	火3,金3	講義	宮崎 勝己	自然科学系（理）	57	04
18	コア	C	191S0581	環境気象学	2	第1学期	第1ターム	火3,金3	講義	本田 明治	自然科学系（理）	44	04
19	コア	C	191S6514 191A1153	地球環境化学	2	第1学期	第1ターム	火2,金2	講義	松岡 史郎・他	自然科学系（理）	46	05
20	関連	B	193S7524 193A1067	温暖化メカニズム・影響学	2	第2学期	第3ターム	月2,木2	講義	中田 誠・他	自然科学系（農）	46.62	04
21	関連	B	193A1020	肥料学	2	第2学期	第3ターム	水1,2	講義	末吉 邦	自然科学系（農 FC）	61	04
22	関連	B	193S7511 193A1069	森林再生学	2	第2学期	第3ターム	水1,2	講義	崎尾 均・他	自然科学系（農 FC）	62	04
23	関連	B	194A1042	農村空間デザイン学	2	第2学期	第4ターム	月4,木4	講義	坂田 寧代	自然科学系（農）	65	03
24	関連	C	194G6524	地球と気象	2	第2学期	第4ターム	火4,金4	講義	本田 明治	自然科学系（理）	44	03
25	関連	C	190S0583	機能形態学 A	2	第1学期	第1・2ターム	水2	講義	林 八寿子	自然科学系（理）	57	04
26	関連	C	194S6506	機能形態学 B	2	第2学期	第4ターム	火3,金3	講義	藤村 衡至	自然科学系（理）	57	04
27	関連	C	194S6502 194A1147	地形学	2	第2学期	第4ターム	月5,木5	講義	奈良間 千之	自然科学系（理）	44	04
28	関連	C	194S5545	資源・環境地質学	2	第2学期	第4ターム	月5,木5	講義	久保田 喜裕	自然科学系（理）	44	04
29	関連	C	192S5535	第四紀環境学	2	第1学期	第2ターム	月4,木4	講義	卜部 厚志	災害・復興科学研究所	44	04
30	関連	C	193S6504 193A1146	環境分析化学	2	第2学期	第3ターム	火1,金1	講義	松岡 史郎	自然科学系（理）	46	04
31	関連	C	休講	保全生物学	2				講義			57	05
32	関連	C	194S7504 194A1051	野生植物生態学	2	第2学期	第4ターム	水1,2	講義	本間 航介・他	自然科学系（農 FC）	57	03
33	関連	C	192S7507 192A1052	流域環境 GIS	2	第1学期	第2ターム	月2,木2	講義	村上 拓彦・他	自然科学系（農）	62.65	03
34	関連	C	193S7513 193A1065	リモートセンシング	2	第2学期	第3ターム	火3,4	講義	村上 拓彦	自然科学系（農）	62.65	03
35	関連	C	190S6522 190A1152	環境政策論	2	第1学期	第1,2ターム	水3	講義	湯川 靖彦・他	自然科学系（理）	34	04

■プログラムの名称 「MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）」

概要	組織経営と技術開発の両分野は、現代の日進月歩の企業社会において、大変重要な中枢部分を形成しており、両分野とも互いの基礎知識を有する人材確保を必要条件としている。 そのような状況を背景として、本カリキュラムは、経済・法・理・工・農などの各分野で開設されている科目と、新しく開設する科目とを活用することとで、技術経営の基礎を修得できることを目的とした副専攻プログラムである。
ねらい	・特許取得に関わる手続きや方法を学ぶことで、特許取得に必要な専門知識が多様であることを理解する。 ・各自の主専攻も、他学部・他学科の開講科目の多くと密接に関連していることを理解する。 ・特許やその申請に対して理解を深めることで、特許申請や取得までの概要を習得する。
到達目標	1. 法律・技術・経営の知識を融合し、それぞれを有機的に活用することで、理系・文系の両面からの思考ができる。 2. ビジネス分野への貢献ができるようになる。 3. さらに上位にある「MOT関係の大学院」などへの入学のための基礎学力が身に付く。 副専攻 委員会委員 ○狩野 直樹 東瀬 朗
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目（属性区分「R」及び「A」の必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目から、属性区分「R」の科目1単位、「A」の科目（必修2単位を含む）「4単位」以上および、「B」の科目「2単位」以上を修得していること。 ・所属学部開講科目以外の科目を、「10単位」以上修得していること。 ・入門科目「特許・経営および製品開発入門」を最初に履修することが望ましい。
プログラムの紹介	・国際特許事務所で活躍している現役の弁理士や企業のトップによる実践的講義を受講できます。 ・上記の講師と1対1での話し合いを行うことができ、講師の実際の経験談を聞くことができます。 ・文系理系を問わず、多数の学部の科目を修得することができ、総合大学ならではの恩恵を受けることができます。 ・以下は、この副専攻独自の国際弁理士や県内企業のトップによる講義風景で、学部や男女を超えて学生が受講しています。  

「MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A：文系科目として必要な科目群／B：理系科目として必要な科目群／C：A、Bと関連した発展科目群

*1は以下の履修順序等の指定があることを示す。

*1 民法法基礎ⅠおよびⅡを修得済みであること。

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9007	特許・経営および製品開発入門【入門科目】	1	第1学期	第1ターム	月・木・H・T	演習	狩野 直樹 他	自然科学系（工）	99	03
2	コア	A(必修)	190Q0008	特許と技術経営Ⅰ	1	集中講義			演習	吉井 雅栄	非常勤講師	99	04
3	コア	A(必修)	190Q0009	特許と技術経営Ⅱ	1	集中講義			演習	丸山 三孝	非常勤講師	99	04
4	コア	A	193L3101	民法Ⅰ（民法総則） 民法Ⅰ（民法総則・契約総論） 民法法基礎Ⅰ（民法総則）	2	第2学期	第3ターム	水3,4	講義	上山 泰	人社系（法）	34	03
5	コア	A	193L3106	民法Ⅵ（債権各論） 民法Ⅵ（貸借・役務型契約） 民法法基礎Ⅱ（債権各論）	2	第2学期	第3ターム	木3,4	講義	田中 幸弘	人社系（法）	34	03
6	コア	A*1	192L3102	民法Ⅱ（不法行為） 民法法基礎Ⅲ（不法行為）	2	第1学期	第2ターム	金3,4	講義	岩岸 勝成	人社系（法）	34	03
7	コア	A	194L3103	民法Ⅲ（物権1） 民法Ⅲ（財産権変動） 特殊講義（財産権移転型契約）	2	第2学期	第4ターム	水3,4	講義	石畝 剛士	人社系（法）	34	03
8	コア	B	191G6019	生活を支える化学技術－化学工学への招待－	2	第1学期	第2ターム	火2,金2	講義	山際 和明・他	自然科学系（工）	47	03
9	コア	B	休講	農業経営戦略論	2				講義			64	05
10	コア	B	191G6017	最先端技術を支える化学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火3,金3	講義	星 隆	自然科学系（工）	46	03
11	関連	C	191L3406	知的財産法Ⅰ（著作権法） 知的財産法	2	第1学期	第1ターム	金1,2	講義	渡邊 修	人社系（法）	34	04
12	関連	C	194L3114	会社法Ⅰ（総論・機関） 企業法Ⅰ（総論・機関）	2	第2学期	第4ターム	木3,4	講義	吉田 正之	人社系（法）	34	04
13	関連	C	191L3115	会社法Ⅱ（株式）	2	第1学期	第1ターム	月1,2	講義	梅津 昭彦	人社系（法）	34	04
14	関連	C	191L3301	経済法Ⅰ（競争の実質的制限禁止） 独占禁止法	2	第1学期	第1ターム	火1,2	講義	澤田 克己	人社系（法）	34	04
15	関連	C	192S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火5,金5	講義	田中 環	自然科学系（院自然）	10	03
16	関連	C	193S1506	プログラミング概論 A	1	第2学期	第3ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系（理）	10	03
17	関連	C	194S1512	プログラミング概論 B	1	第2学期	第4ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系（理）	10	03
18	関連	C	190S0540	情報産業論	2	第2学期	第3,4ターム	金3	講義	清野 和司	非常勤講師	10	04
19	関連	C	191T8108	工業力学	2	第1学期	第1ターム	月2,木2	講義	平元 和彦・他	自然科学系（工）	49,43	04
20	関連	C	191T8105	材料力学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火1,金1	講義	藤 潤 田邊 裕治	自然科学系（工）	50	04
21	関連	C	192T8125	機構学	2	第1学期	第2ターム	火2,金2	講義	川崎 一正	自然科学系（工）	50	04
22	関連	C	192T8510	分析化学（工）	2	第1学期	第2ターム	火2,金2	講義	狩野 直樹	自然科学系（工）	51	04
23	関連	C	194T8323	電気回路Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	火3,金3	講義	山家 清之	自然科学系（工）	51	04
24	関連	C	193T8311	電磁気学Ⅰ	2	第2学期	第3ターム	火1,金1	講義	清水 英彦	自然科学系（工）	51	04
25	関連	C	191T8328	電磁気学Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	月2,木2	講義	小川 純	自然科学系（工）	51	04
26	関連	C	193T8729	電子回路	2	第2学期	第3ターム	月3,水3	講義	林 豊彦	自然科学系（工）	51	04
27	関連	C	194T8327	電子回路	2	第2学期	第4ターム	木3,4	講義	鈴木 孝昌	自然科学系（工）	51	04
28	関連	C	193T8422	論理回路	2	第2学期	第3ターム	水1,2	講義	西森 健太郎	自然科学系（工）	51	04
29	関連	C	191T8501	化学プロセス概論	2	第1学期	第1ターム	月1,木1	講義	山際 和明	自然科学系（工）	55	04
30	関連	C	191T9439	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火4,金4	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	04
31	関連	C	休講	森林土木学	2				講義			62	04
32	関連	C	休講	電気回路基礎論	2				講義			54	04
33	関連	C	休講	基礎高分子化学	2				講義			54	04
34	関連	C	193S0570	基礎生物化学	2	第2学期	第3ターム	月3,木3	講義	長束 俊治	自然科学系（理）	57	03

■プログラムの名称 「芸術学」

概 要	芸術は時代ごとの価値観を表出し、人文系諸科学の背景ともなっている。また私たちの生活を潤し、内面を豊かにしてくれる精神生活の精華でもある。この副専攻では、人文学部・教育人間科学部・農学部・工学部などの人的資源を活用することによって、感性による鑑賞の対象としてだけでなく、学問の対象として芸術を据え直すことを通し、精神文化・造形文化の成り立ちを明らかにしつつ、人生をより豊かにするプログラムを提供する。		
ね ら い	様々な授業を通して、芸術一般に関する知識を得、また感性を育てて、芸術が人間の生活にとってどのような価値を持っているかを認識できるようにする。また、そうして養った感性と知識によって、芸術作品に接した時に、その作品の客観的な価値づけを、自分の言葉で表現できることを目指す。		
到達目標	1. 芸術史について広く基本的な見識を有し、また芸術学の基礎理論に通じるようになること。 2. また、それを通して、芸術作品一般に対して一定の客観性を持った見解を述べられるようになること。 3. 特定の芸術分野に関して、専門家に準ずる知識を有し、その分野の作品について独自の見解を発表できるようになること。	副 専 攻 委員会委員	○廣部 俊也 細田あや子
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・「芸術学実習」は、すでに「本副専攻プログラムが定めた授業科目」から「20単位」以上を修得している者のみ履修可能である。 ・到達度を最終的に測るため、「芸術学実習」の履修時にレポート提出又は、作品の発表を課す。 ・コア科目のうち、属性区分「A」「B」「C」の科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得していること。 ・原則として、<u>教育人間科学部芸術環境創造課程及び教育学部芸術環境創造課程</u>の学生については、本プログラムによる副専攻認定は行わない。		

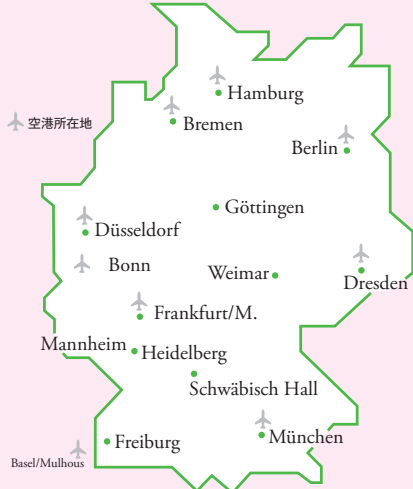
「芸術学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A：理論・歴史に関する基礎科目／B：芸術の主要各分野に関する科目
C：その他の分野に関する基礎科目／空欄：発展的・実践的科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9010	芸術学入門【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	水H・T	演習	廣部 俊也	人社系（人）	13	03
2	コア	R	190Q0011	芸術学実習	1	第2学期	第3,4ターム	水H・T	演習	廣部 俊也	人社系（人）	13	04
3	コア	A	190K1809	日本・東洋美術史	2	第2学期	第3,4ターム	木4	講義	大倉 宏	非常勤講師	13	04
4	コア	A	190K1857	美術史概論	2	第1学期	第1,2ターム	火2	講義	田中 咲子	人社系（教）	13	04
5	コア	A	190K1829	美術史特論	2	第1学期	第1,2ターム	水2	講義	田中 咲子	人社系（教）	13	04
6	コア	B	190K9001	比較芸術学	2	第2学期	第3,4ターム	木4	講義	大倉 宏	非常勤講師	13	04
7	コア	B	190K1830	比較芸術学特論	2	第2学期	第3,4ターム	水2	講義	田中 咲子	人社系（教）	13	04
8	コア	B	190G7522	日本古典文学N	2	第2学期	第3,4ターム	水1	講義	高橋 早苗	人社系（人）	29	03
9	コア	B	休講	現代文化論A	2				講義			10,29	04
10	コア	B	休講	現代文化論B	2				講義			10,29	04
11	コア	C	190H5207	映像文化論概説	2	第1学期	第1,2ターム	水5	講義	桑原 聡	人社系（人）	10,29	03
12	コア	C	191T9434	都市デザイン論	2	第1学期	第1ターム	火4,金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	04
13	コア	C	休講	インテリアデザイン	2				講義			15	04
14	コア	C	休講	書鑑賞論	2				演習			13	04
15	関連		190K5446	書道講義及び実習 I	2	第1学期	第1,2ターム	水3	実習	清水 文博	人社系（教）	13	14
16	関連		休講	住環境科学	2				講義			15	03
17	関連		190K7670	被服環境学	2	第2学期	第3,4ターム	火1	講義	中村 和吉	人社系（教）	15	03
18	関連		休講	考える草の冒険	2				講義			75	03
19	関連		191G7015	文学D	2	第1学期	第1ターム	火1,金1	講義	番場 俊	人社系（人）	29	03
20	関連		休講	西洋文学L I	2				講義			29	03
21	関連		193G7501	西洋文学L II	2	第2学期	第3ターム	火1,金1	講義	三浦 淳	非常勤講師	29	03
22	関連		190G7530	日本文化論	2	第2学期	第3,4ターム	金4	講義	岡村 浩	人社系（教）	13	03
23	関連		191G7030	音楽E	2	第1学期	第1ターム	未定	講義	宇野 哲之	人社系（教）	13	03
24	関連		193G7528	音楽F	2	第2学期	第3ターム	未定	講義	鈴木 賢太	人社系（教）	13	03
25	関連		休講	舞台芸術	2				講義			13	04
26	関連		190T6006	絵画	2	第2学期	第3,4ターム	集中	講義	近藤 充・他	非常勤講師	53	13
27	関連		休講	表象文化論A	2				講義			10,28	04
28	関連		191H5469	表象文化論B	2	第1学期	第1ターム	月1,2	講義	番場 俊	人社系（人）	10,28	04
29	関連		190H5205	表象文化論概説	2	第2学期	第3,4ターム	火3	講義	キム・ジュニアン	人社系（人）	10,29	03
30	関連		190K6213	多文化音楽論 I	2	第2学期	第3,4ターム	水2	講義	中本 真人	人社系（人）	13	04
31	関連		191T9439	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火4,金4	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	04
32	関連		192T9432	都市計画学 I	2	第1学期	第2ターム	火4,金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	03
33	関連		194T9433	都市計画学 II	2	第2学期	第4ターム	火4,金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	04

■プログラムの名称 「外国語（ドイツ語）」

概要	ドイツ語の高度な実践的運用能力を涵養する。EU域内の有力言語であるドイツ語に習熟することで、グローバル化する世界に複眼的な情報処理能力をもって対応できるようにする。		
ねらい	ドイツ語の修得に当たっては、言語能力の向上のみを自己目的とするのではなく、併せてドイツの政治、経済、社会、文化など様々な分野への知見を深める。		
到達目標	1. 標準的なドイツ語を使いこなせ、ドイツ語圏の国々における日常生活に対応できること。 2. 専門書、新聞など辞書を用いて活用できること。（ドイツ語技能検定試験2級レベル）	副専攻 委員会委員	○吉田 治代 桑原 聡 アンニャ・ホップ
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目を含む「16単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」の科目から「6単位」以上、「B」の科目から「4単位」以上を修得していること。		
プログラムの紹介	ドイツへ行こう ―海外語学研修のすすめ ドイツでドイツ語を学ぶ。これは意外に簡単に実現します。研修先はドイツの13都市にあるGoethe-Institutが提供するドイツ語コースのほか、多くの大学で夏休みや春休みに実施されているドイツ語コースです。海外研修は副専攻の単位として認定されます。 夏休みか春休みの1～2ヶ月をドイツで生活するわけですから、ドイツ語の力が飛躍的に向上するのは当然ですが、同時に得難い異文化体験の機会となるでしょう。 研修機関の詳細、申込手続き、費用などについては副専攻担当の教員に問い合わせてください。 （右の図は、ドイツ国内のゲーテ・インスティトゥート所在地） 		

「外国語（ドイツ語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがある。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目／A：中級レベル科目／B：上級レベル科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9017	ドイツ学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1ターム	火金H・T	演習	小林りり子	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシックⅠ（1）独語仏語伊語	2							71	03
3	コア		(全科目)	外国語ベーシックⅠ（2）独語西語露語	2							71	03
4	コア		(全科目)	外国語ベーシックⅠ（3）独語仏語中語	2							71	03
5	コア		(全科目)	ドイツ語ベーシックⅡ	3							71	03
6	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダードⅠA	1.5							71	03
7	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダードⅠB	1.5							71	03
8	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダードⅡ	3							71	03
9	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブⅠA	2							71	03
10	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブⅠB	2							71	03
11	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブⅡ	4							71	03
12	コア	A	190G1063	ドイツ語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1・2ターム	月2	演習	倉持 有香子	非常勤講師	71	03
13	コア	A	190G1516	ドイツ語ベーシックプラスB	2	第2学期	第3・4ターム	月2	演習	倉持 有香子	非常勤講師	71	03
14	コア	A	190G1057	コミュニケーション・ドイツ語A	2	第1学期	第1・2ターム	金3	演習	小林 敦彦	非常勤講師	71	03
15	コア	A	190G1058	コミュニケーション・ドイツ語B	2	第1学期	第1・2ターム	金4	演習	A. ホップ	教育・学生支援機構	71	03
16	コア	A	190G1059	コミュニケーション・ドイツ語C	2	第1学期	第1・2ターム	月3	演習	阿部 ふく子	人社系（人）	71	03
17	コア	A	休講	コミュニケーション・ドイツ語D	2				演習			71	03
18	コア	A	190G1519	コミュニケーション・ドイツ語E	2	第2学期	第3・4ターム	金2	演習	R. エバート	非常勤講師	71	03
19	コア	A	190G1520	コミュニケーション・ドイツ語F	2	第2学期	第3・4ターム	月2	演習	A. ホップ	教育・学生支援機構	71	03
20	コア	A	190G1060	コミュニケーション・ドイツ語G	2	第1学期	第1・2ターム	木4	演習	畑 志津子	非常勤講師	71	03
21	コア	A	190G1521	コミュニケーション・ドイツ語H	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	田中 咲子	人社系（教）	71	03
22	コア	B	190G1061	ドイツ語セミナーA	2	第1学期	第1・2ターム	水2	演習	岡本 亮子	非常勤講師	71	04
23	コア	B	190G1062	ドイツ語セミナーB	2	第1学期	第1・2ターム	木4	演習	A. ホップ	教育・学生支援機構	71	04
24	コア	B	190G1522	ドイツ語セミナーC	2	第2学期	第3・4ターム	木4	演習	桑原 聡	人文社会科学系（人文）	71	04
25	コア	B	190G1523	ドイツ語セミナーD	2	第2学期	第3・4ターム	月3	演習	阿部 ふく子	人文社会科学系（人文）	71	04
26	コア	B	190H5458	ドイツ言語文化論A	2	第1学期	第1・2ターム	水4	講義	A. ホップ	教育・学生支援機構	29	04
27	コア	B	190H5459	ドイツ言語文化論B	2	第2学期	第3・4ターム	水4	講義	A. ホップ	教育・学生支援機構	29	04
28	コア	B	休講	ドイツ言語文化論C	2				講義			29	04
29	コア	B※		海外研修					実習			71	04
30	コア		190H5192	ドイツ言語文化概説A	2	第1学期	第1・2ターム	金2	講義	吉田 治代	人社系（人）	29	03
31	コア		休講	ドイツ言語文化概説B	2				講義			30	03
32	関連	A	190H5322	ドイツ言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	桑原 聡	人社系（人）	29	13
33	関連	A	190H5323	ドイツ言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3・4ターム	水2	演習	吉田 治代	人社系（人）	30	13
34	関連	A	190H5198	西洋言語文化研究法C	2	第2学期	第3・4ターム	木2	演習	桑原 聡	人社系（人）	29	13
35	関連	B	190H5581	ドイツ言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	木5	演習	桑原 聡	人社系（人）	29	14
36	関連	B	190H5582	ドイツ言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	金4	演習	桑原 聡	人社系（人）	29	14
37	関連	B	190H5583	ドイツ言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習	吉田 治代	人社系（人）	29	14
38	関連	B	190H5584	ドイツ言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	火4	演習	吉田 治代	人社系（人）	29	14
39	関連	B	190H5452	ドイツ文芸論	2	第2学期	第3・4ターム	火3	講義	桑原 聡	人社系（人）	29	14
40	関連	B	190H5501	哲学思想演習	2	第1学期	第1・2ターム	火5	演習	阿部 ふく子	人社系（人）	29	14
41	関連	B	190H5503	哲学思想演習	2	第2学期	第3・4ターム	火5	演習	阿部 ふく子	人社系（人）	29	14
42	関連	B	190H5108	西洋哲学史概説A	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	阿部 ふく子	人社系（人）	28	3
43	関連	B	休講	西洋哲学史概説B	2				講義			28	3
44	関連	B	191K5643	外国史演習Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	月3/金6	演習	小林 繁子	人社系（教）	31	14
45	関連	B	190K5647	外国史演習Ⅳ	2	第2学期	第3・4ターム	月3	演習	小林 繁子	人社系（教）	31	14
46	関連		190G3927	異文化と技術	1	第1学期	集中		講義	清水 忠明	自然科学系（工）	75	03
47	関連		190G3950	異文化と技術	1	第2学期	集中		講義	清水 忠明	自然科学系（工）	75	03

■プログラムの名称「外国語（英語）」

概要	外国語（英語）副専攻プログラムは、1年次の必修科目——「アカデミック英語R1、R2、L1、L2、W」と「基礎英語」——を履修した後、さらに英語学習を継続し、卒業時まで、準上級以上の英語運用能力を身につけるためのプログラムです。 このプログラムでは、英語による実用的なコミュニケーションスキルの向上に加えて、英語の仕組みや英語圏の文化、社会、経済などに関する理解を深めることを重視しています。多様な文化に対する理解と実践的な英語運用能力を身につけ、様々な分野で国際社会に貢献できる人材を育成します。		
ねらい	外国語（英語）副専攻プログラムは、特定の学問分野や職種に限定されることなく、幅広い知識と教養に裏打ちされた高度な英語運用能力を育成することをねらいとしています。 そのため本副専攻プログラムでは、英語による実践的なコミュニケーション能力を伸長する授業に加えて、言語、文化に関する幅広い知識を習得してもらうために、英米文学、言語学、経済、ビジネスなど、多様なジャンルの英語に触れるための授業を用意しています。		
到達目標	外国語（英語）副専攻プログラムでは、英検の準1級程度、TOEICの700点台に相当する準上級以上の英語運用能力の習得を目標としています。具体的には、日常的な場面で話される英語をおおむね理解し、それに対して応答できること、一般的な文章をほとんど辞書を用いずに読むことができること、さらに、文法や語彙の選択に配慮しながら、用途に合ったスタイルの英文を書くことができること、などです。	副専攻 委員会委員	○平野 幸彦 ハドリー浩美 加藤 茂夫 山田 陽子
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、属性区分「R」科目と「C」科目を含む、「12単位」以上を修得していること。 ・人文学部人文学科西洋言語文化学主専攻プログラムに所属する学生のうち英語に関わる論題で卒業論文を執筆する者、及び教育学部学校教育課程教科教育コース英語教育専修の学生については、本プログラムによる副専攻認定は行わない。		
プログラムの紹介	英語をある程度自由に駆使できるということは、グローバル化された世界で大変有利な武器になります。英語で外国の人々と直接コミュニケーションを取る必要がない場合でも、インターネットを利用する際に英語が使えれば、私たちがアクセスできる情報の世界は飛躍的に広がります。インターネットでニュースを見たり聞いたりするだけでなく、教育を受けて、学位を取得することも可能なことは皆さんも聞いたことがあると思います。英語が使えると、単に視野が広がるというだけでなく、キャリアアップのチャンスをつかむことも可能になるのです。しかし、このようなことを可能にするためには最低でも準上級以上の英語力が必要となります。 皆さんの多くの英語力は、中級の下から中級の中といったレベルにあると思います。それを準上級以上に上げるためには、何にもまして英語学習を継続することが重要です。多くの人は、1年次に「アカデミック英語R1、R2、L1、L2、W」と「基礎英語」を受けただけで英語の勉強を止めてしまいます。英語が大嫌いとか大の苦手という人はしかたありませんが、英語に興味があったり、さらに英語力を伸ばしたいと思っている人は、英語学習を1年次で止めてしまうのは本当にもったいないことです。 “Practice makes perfect.”、あるいは“Rome was not built in a day.”（「継続は力なり」）と言います。本副専攻プログラムを活用しながら、皆さんの英語力を総合的に高めていきましょう。 外国語（英語）副専攻プログラムを修了するためには、24単位取得しなければなりません。2年次と3年次で単位をすべて取得すると仮定すると、毎学期、週3回、外国語（英語）副専攻プログラム関係の科目を履修すればよいことになります。授業の準備を考えると大変そうですが、継続という観点から見るとこれでも不十分でしょう。自主的に学習時間を補うように努力してください。実際に科目を履修する際には、ある程度自分の興味やニーズに合わせて授業を選ぶことができます。英会話中心に履修するなら、「発展英語」や「応用英語」などのネイティブスピーカーの授業を中心に受講するとよいでしょう。英語圏の文化や英語という言語自体に興味があれば、「英米言語文化基礎演習」、「英米文化論」、「英米言語論」、「異文化論」などの授業を中心に聴講することができます。 外国語（英語）副専攻プログラムが目標とする準上級というレベルは、英検の準1級やTOEICの700点台に相当します。そのレベルに達したかどうかを審査するための最終試験のようなものは今のところ実施していませんが、その代わりに「応用英語」が必修になっています。「応用英語」はTOEIC700点台の学生を対象とした少人数による上級クラスです。 英語学習を一人で継続することはなかなか困難です。皆さんが英語学習を継続し、準上級以上のレベルに到達するのを手助けすることが本副専攻プログラムの大きな目的です。一人でも多くの人がこのプログラムにチャレンジして、副専攻認定という最終ゴールに到達してくれることを期待しています。		

「外国語（英語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R・C：必修科目／★：所属学部のみ必須単位以外のものだけをカウント

A：「発展英語」を除き、原則として第3セメスター以降に学習すべき科目／B：第5セメスター以降に学習すべき科目

Gコード科目のうち、「発展英語」は卒業要件に加えて4単位まで重複履修できます。「応用英語」については重複履修の制限はありません。「実践英語セミナー」及び「英語表現セミナーA/B/C」は重複履修できません。

Hコード科目（人文学部専門科目）については、「英米言語文化演習」を除き、重複履修はできません。

Kコード科目（教育学部専門科目）については、重複履修はできません。

Eコード科目（経済学部専門科目）については、「外書講読Ⅰ」及び「外書講読Ⅱ」は8単位まで、「異文化論」は、異なる教員の科目を履修した場合に限り8単位まで重複履修できます。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア R	190Q9023	英語文化研究【入門科目】	1	第2学期	第3・4ターム	水H・T	演習	平野 幸彦	人社系（人）	70	03
2	コア A★		発展英語※	2				演習	※所属学部の卒業要件以外のものだけをカウント		70	04
3	コア C		応用英語	2				演習			70	05
4	コア A		iStep Continuation					演習			70	04
5	コア A		EAP					演習			70	04
6	コア A	190G0272	実践英語セミナー	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	70	04
7	コア A	190G0669	実践英語セミナー	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	70	04
8	コア A	190G0269	英語表現セミナー A	2	第1学期	第1・2ターム	水4	演習	G. ディック	非常勤講師	70	04
9	コア A	190G0670	英語表現セミナー A	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	G. ディック	非常勤講師	70	04
10	コア A	190G0270	英語表現セミナー B	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	04
11	コア A	190G0671	英語表現セミナー B	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	04
12	コア A	190G0271	英語表現セミナー C	2	第1学期	第1・2ターム	水4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	04
13	コア A	190G0672	英語表現セミナー C	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70	04
14	コア A	190H5320	英米言語文化基礎演習 A	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	平野 幸彦	人社系（人）	29	13
15	関連 B	190K6653	英語教育リーディング演習Ⅰ	1	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	岡村 仁一	人社系（教）	40	13
16	関連 B	190K6654	英語教育リーディング演習Ⅱ	1	第2学期	第3・4ターム	木3	演習	岡村 仁一	人社系（教）	40	13
17	関連 B	190K6655	英語教育リーディング演習Ⅲ	1	第1学期	第1・2ターム	水4	演習	岡村 仁一	人社系（教）	40	14
18	関連 B	190K6656	英語教育リーディング演習Ⅳ	1	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	岡村 仁一	人社系（教）	40	14
19	関連 A	190K6601	英語教育と英文法Ⅰ	2	第1学期	第1・2ターム	火3	講義	本間 伸輔	人社系（教）	40	03
20	関連 A	190K6602	英語教育と英文法Ⅱ	2	第2学期	第3・4ターム	火3	講義	本間 伸輔	人社系（教）	40	03
21	関連 ※		海外研修					実習			70	04
22	関連 A	休講	西洋文化概説	2				演習			29	03
23	関連 A	190H5188	西洋言語概説	2	第1学期	第1・2ターム	火3	講義	G. ハドリー	人社系（人）	29	03
24	関連 A	190H5189	英米文化概説 A	2	第1学期	第1・2ターム	木3	講義	市橋 孝道	人社系（人）	29	03
25	関連 A	190H5190	英米文化概説 B	2	第2学期	第3・4ターム	木4	講義	平野 幸彦	人社系（人）	29	03
26	関連 A	190H5191	英米言語概説 A	2	第2学期	第3・4ターム	月3	講義	秋 孝道	人社系（人）	30	03
27	関連 A	休講	英米言語概説 B	2				講義			30	03
28	関連 B	休講	英米文芸論	2				講義			29	04
29	関連 B	190H5454	英米文化論 A	2	第2学期	第3・4ターム	金3	講義	平野 幸彦	人社系（人）	29	04
30	関連 B	190H5455	英米文化論 B	2	第1学期	第1・2ターム	月3	講義	G. ハドリー	人社系（人）	29	04
31	関連 B	190H5456	英米言語論 A	2	第1学期	第1・2ターム	水3	講義	土橋 善仁	人社系（人）	29	04
32	関連 B	190H5457	英米言語論 B	2	第1学期	第1・2ターム	月3	講義	秋 孝道	人社系（人）	29	04
33	関連 B	190H5573	英米言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習	平野 幸彦	人社系（人）	29,30	14
34	関連 B	190H5574	英米言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	月4	演習	市橋 孝道	人社系（人）	29,30	14
35	関連 B	190H5575	英米言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	水2	演習	G. ハドリー	人社系（人）	29,30	14
36	関連 A	190H5578	英米言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	火4	講義	平野 幸彦	人社系（人）	36	04
37	関連 A	190H5579	英米言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	月4	講義	市橋 孝道	人社系（人）	36	04
38	関連 A	190H5580	英米言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	水2	講義	G. ハドリー	人社系（人）	33,36	04
39	関連 A	190E1108	外書講読Ⅰ（英）	2	第1学期	第1・2ターム	水2	講義	辻 照彦	人社系（経）	36	04
40	関連 A	190E1180	外書講読Ⅰ（英）	2	第2学期	第3・4ターム	木2	講義	大竹 芳夫	人社系（経）	36	04
41	関連 A	190E1182	外書講読Ⅰ（英）	2	第2学期	第3・4ターム	水4	講義	恩田 公夫	人社系（経）	36	04
42	関連 A	190E1181	外書講読Ⅱ（英）	2	第2学期	第3・4ターム	水2	講義	辻 照彦	人社系（経）	36	04
43	関連 A	190E1244	異文化論	2	第2学期	第3・4ターム	水3	講義	恩田 公夫	人社系（経）	33,36	04
44	関連 A	190E1245	異文化論	2	第2学期	第3・4ターム	水3	講義	大竹 芳夫	人社系（経）	33,36	04
45	関連 A	休講	異文化間コミュニケーションⅠ	2				講義			70	04
46	関連 A	191E1013	異文化間コミュニケーションⅡ	2	第1学期	第1ターム	月3・木3	講義	山田 陽子	人社系（経）	70	04
47	関連 A	190E1171	異文化間コミュニケーション基礎演習Ⅰ	2	第1学期	第1・2ターム	月5	演習	山田 陽子	人社系（経）	70	04
48	関連 A	190E1247	異文化間コミュニケーション基礎演習Ⅱ	2	第2学期	第3・4ターム	月5	演習	山田 陽子	人社系（経）	70	04

■プログラムの名称「外国語（フランス語）」

概要	フランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）のバランスのとれた運用能力の育成と、言語の営みが生み出す文化（政治・法律・経済・歴史・芸術 etc）についての幅広い教養の習得を目指す学習プログラムを提供する。		
ねらい	フランス語の運用能力を養成し、フランス語という言語の営みが生み出す文化に親しむ。		
到達目標	フランス語検定試験2級レベルのフランス語の文章を読み、内容を説明できる。	副専攻 委員会委員	○逸見 龍生 津森 圭一 駒形 千夏
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、属性区分「R」科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A（中級レベル）」の科目から「6単位」以上、「B（上級レベル）」の科目から「4単位」以上を修得していること。		
プログラムの紹介	副専攻フランス語は、主専攻とは別に、皆さんが所属する学部や学科の枠を超えて、フランス語・フランス文化を自主的に学んで行くカリキュラムです。プログラムが提供する学科目の中から、自らの関心に応じて自由に選択することができます。 副専攻（フランス語）を選ぶ動機は様々です。ある学生は、自分の専門は法学であるが将来国際公務員として世界で活躍したいという理由で選ぶかもしれません。又、別の学生は、専門が醸造学で、将来ワイナリーの会社を設立したいという理由から、さらに別の学生は、フランス語やフランス文化を学ぶことにより他者や自己をより深く知りたいという理由で選ぶかもしれません。いずれにしても、主専攻で学んだことを別の視点から見つめ直し、自己の関心や進路に応じて視野を広げ、複雑多様な現代社会が提示する課題に対処できる能力を身につけることを目指します。 さて、副専攻（フランス語）を選ぶかどうか迷っている皆さんのために、フランス語とはどのような言語かを簡単に紹介しておきましょう。フランス語は、「かつては国際語であったが、現代では英語が国際語である」と言う人がいます。しかしフランス語はいまだに国際語として重要な位置を占めているのです。たとえば国際連合や国際オリンピック委員会をはじめとする、数多くの国際機関（国際電気通信連合、万国郵便連合、国際労働機関、国際司法裁判所、国際刑事裁判所、イスラム諸国会議機構etc.）の公用語として用いられていることがその証です。 言語的にはどうでしょうか？フランス語は英語に比べると、綴り字の読み方は難しそうですが、実はとても規則的なのです。読み方の規則を一旦覚えてしまえば、はじめて出会う単語も難なく読むことができるようになります。又、語彙は英語に似ているものが結構多いのが特徴です（正確に言えば、英語がフランス語に似ているのです）。基本的語順はSVO（主語＋動詞＋目的語）で英語と同じです。とはいえ、自由に使えるようになるまでには、それなりの時間を費やさなければなりません。副専攻フランス語が目指すレベルは、コミュニケーション（読む、書く、聞く、話す）能力が出来る必要最小限の運用能力です。おおその目安ですが、日本の公的認定試験なら2級レベル、又2001年に欧州連合評議会が発表したヨーロッパ共通参照枠（CEFR）が掲げるレベルで言えば、B1のレベルです（すなわち6段階の下から第3段階目のレベル）。 フランス語とフランス文化は、実に多くの魅力と可能性を持つ言語です。その他の特徴を以下にいくつかまとめておきますので参考にしてください。 1）世界で約1億7千万の人々が用いている。 2）日本語に入っているフランス語は、芸術（美術、舞踏）、食文化（料理、ワイン）、モード・ファッションなど多分野に渡る。 3）フランス、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカの旧フランス領など29カ国で、母国語や公用語として用いられている。 最後に、副専攻フランス語を選ぶか迷っている方は、是非『フランス語で広がる仲間…123人の仲間…』（駿河台出版社）という本のご一読をお勧めします。		

「外国語（フランス語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目／A：中級レベルの選択必修科目／B：上級レベルの選択必修科目／空欄：選択科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9024	フランス学研究法【入門科目】	1	第2学期	第3,4ターム	木H・T	演習	金子 麻里	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシックⅠ(1) 独語仏語伊語	2				演習			71	03
3	コア		(全科目)	外国語ベーシックⅠ(3) 独語仏語中語	2				演習			71	03
4	コア		(全科目)	フランス語ベーシックⅡ	3				演習			71	03
5	コア		(全科目)	フランス語スタンダードⅠA	1.5				演習			71	03
6	コア		(全科目)	フランス語スタンダードⅠB	1.5				演習			71	03
7	コア		(全科目)	フランス語スタンダードⅡ	3				演習			71	03
8	コア		(全科目)	フランス語インテンシブⅠA	2				演習			71	03
9	コア		(全科目)	フランス語インテンシブⅠB	2				演習			71	03
10	コア		(全科目)	フランス語インテンシブⅡ	4				演習			71	03
11	コア	A	190G1078	コミュニケーション・フランス語 A	2	第1学期	第1,2ターム	火3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
12	コア	A	190G1079	コミュニケーション・フランス語 B	2	第1学期	第1,2ターム	木1	演習	N. ドーファン	非常勤講師	71	03
13	コア	A	190G1081	コミュニケーション・フランス語 D	2	第1学期	第1,2ターム	金3	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
14	コア	A	190G1534	コミュニケーション・フランス語 E	2	第2学期	第3,4ターム	月3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
15	コア	A	190G1535	コミュニケーション・フランス語 F	2	第2学期	第3,4ターム	火3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
16	コア	A	190G1536	コミュニケーション・フランス語 G	2	第2学期	第3,4ターム	金3	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
17	コア	A	190G1537	コミュニケーション・フランス語 H	2	第2学期	第3,4ターム	木1	演習	N. ドーファン	非常勤講師	71	03
18	コア	B	190G3940	フランス言語文化海外研修	2	集中			演習	駒形 千夏	人社系（人）	75	03
19	コア	B※		海外研修					実習			71	04
20	関連	A	190H5199	西洋言語文化研究法 D	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習	逸見 龍生	人社系（人）	29	13
21	関連	A	190H5324	フランス言語文化基礎演習 A	2	第2学期	第3・4ターム	月4	演習	津森 圭一	人社系（人）	29	13
22	関連	A	190H5325	フランス言語文化基礎演習 B	2	第2学期	第3・4ターム	火1	演習	逸見 龍生	人社系（人）	30	13
23	関連	A	190H5193	フランス言語文化概説 A	2	第2学期	第3・4ターム	火4	講義	逸見 龍生	人社系（人）	29	03
24	関連	A	190H5194	フランス言語文化概説 B	2	集中			講義	石野 好一	非常勤講師	30	03
25	関連	B	休講	フランス文芸論	2				講義			29	04
26	関連	B	190G1082	フランス語セミナー A	2	第1学期	第1,2ターム	木3	演習	N. ドーファン	非常勤講師	71	04
27	関連	B	190G1538	フランス語セミナー B	2	第2学期	第3,4ターム	木3	演習	N. ドーファン	非常勤講師	71	04
28	関連	B	190H5462	フランス言語文化論 C	2	集中			講義	石野 好一	非常勤講師	30	04
29	関連	B	190H5585	フランス言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	火5	演習	逸見 龍生	人社系（人）	29,30	14
30	関連	B	190H5586	フランス言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	金2	演習	津森 圭一	人社系（人）	29,30	14
31	関連	B	190H5587	フランス言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	火5	演習	逸見 龍生	人社系（人）	29,30	14
32	関連	B	190H5588	フランス言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	金2	演習	津森 圭一	人社系（人）	29,30	14
33	関連	B	190H5460	フランス言語文化論 A	2	第2学期	第3・4ターム	水3	講義	逸見 龍生	人社系（人）	29	04
34	関連	B	190H5461	フランス言語文化論 B	2	集中			講義	石野 好一	非常勤講師	29	04
35	関連	B	190H5605	表現文化論演習	2	第1学期	第1・2ターム	火3	演習	津森 圭一	人社系（人）	10,29	14
36	関連	B	190H5611	表現文化論演習	2	第2学期	第3・4ターム	火3	演習	津森 圭一	人社系（人）	10,29	14
37	関連		190H5204	現代文化論概説	2	第1学期	第1・2ターム	金3	講義	津森 圭一	人社系（人）	10,29	03
38	関連		190K0321	フランス語科教育法Ⅰ	2	第1学期	第1,2ターム	金1	講義	津森 圭一	人社系（人）	40	23
39	関連		190K0323	フランス語科教育法Ⅲ	2	第1学期	第1,2ターム	水1	講義	逸見 龍生	人社系（人）	40	23
40	関連		190K0324	フランス語科教育法Ⅳ	2	第2学期	第3,4ターム	水1	講義	逸見 龍生	人社系（人）	40	23
41	関連		190Q9044	国際教養入門	1	第2学期	第3ターム	火・金HT	講義	高橋 秀樹	人社系（人）	99	03
42	関連		190Q9045	多文化理解の試み	1	第1学期	第1ターム	月・木HT	講義	後藤 康志	教育・学生支援機構	99	03

■プログラムの名称 「外国語（コリア）」

概要	日本と南北コリア（大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国）とは長い間「近くて遠い国」と言われてきたが、今や日本と韓国を年間400万人が往来する時代であり、経済的・文化的・政治的な結びつきは強まるばかりである。世界の言語の中でも日本語と最も共通点の多い朝鮮語を使いこなし、多様な情報を取捨選択する判断力を養うとともに、隣国・隣人として互いを理解し、協調するための歴史的・文化的な知識と、行動力を身につける。		
ねらい	日本という国土に住む私たちは、いやおうなく東アジアおよびそれを取り巻く世界との関係の中で生きている。東アジア特に南北コリアと日本とが良好な関係を築くことは、「世界史」の新たな局面を開く実験となり得るかも知れない。朝鮮語学習および、韓国ほかアジア諸国からの留学生との交流を通じてそのような視点を持ち、異なる文化や歴史に対して、柔軟な発想で対話ができる「主体」となることをめざす。		
到達目標	大学での学修や日常生活について、朝鮮語で紹介できるようになる。辞書を引きながら、新聞やインターネットの記事を読んだり、検索することができる。 朝鮮語でメールのやり取りができる（韓国語能力試験2級以上、「ハングル」能力検定試験3級以上のレベル）。	副専攻 委員会委員	○藤石 貴代 山内 民博
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」の科目から「5単位」以上、「B」の科目から「6単位」以上を修得していること。 ・「ハングル」能力検定試験3級（もしくは韓国語能力試験2級）以上に合格すること。 ・在学中に、新潟市国際交流協会など新潟市（県）内の諸団体、もしくは新潟大学主催のコリア関連行事に参加し、レポートを提出すること。		
プログラムの紹介	新潟市は日本海（韓国語では東海（トンヘ））に面した政令指定都市として、大韓民国蔚山（ウルサン）広域市（韓国第2の都市、釜山（プサン）広域市に隣接）と2006年に友好姉妹都市協定を結び、朝鮮民主主義人民共和国元山（ウォンサン）市との間には、戦前から貨客船が就航（現在は中断）しています。 大韓民国総領事館（1978年）および大韓航空ソウル–新潟定期便（1979年）も開設されている新潟市に位置する総合大学として、新潟大学は、北東アジア地域の拠点大学へと発展することを目指しています。 「韓流」は、「近くて遠い国」だった韓国と日本（人の心理的距離）を間違いなく近づけましたが、アメリカ・韓国・日本などの資本主義国家と、社会主義国家であったロシア（ソ連）・中国・北朝鮮などとの軍事的な緊張関係（冷戦構造）が東アジア地域には残存しています。日本と北朝鮮は戦後70年が過ぎた現在まで国交を回復できず、米・韓・日の包囲網に触発された拉致や核開発などの不幸な事件が起きました。領土や歴史認識の問題は常に、互いの国家意識、民族感情の対立を激化させます。この悪循環を断ち切る方法は何でしょうか。 日本と韓国が1965年に国交回復するまで約20年かかりました。1年に1万人だった往来者数が今では1日1万人、国交回復が無ければ「韓流」も無かったでしょう。北朝鮮、いずれ統一コリアと日本も、いつかはそんな時代が来るはずです。その時、釜山が日本から最も近い韓国の主要都市と言われるように、新潟は南北コリアから最も近い都市になるかも知れません。その時のために、新潟で生活する私たちが今できること、知るべきことを一緒に考え、行動してみませんか。		

「外国語（コリア）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

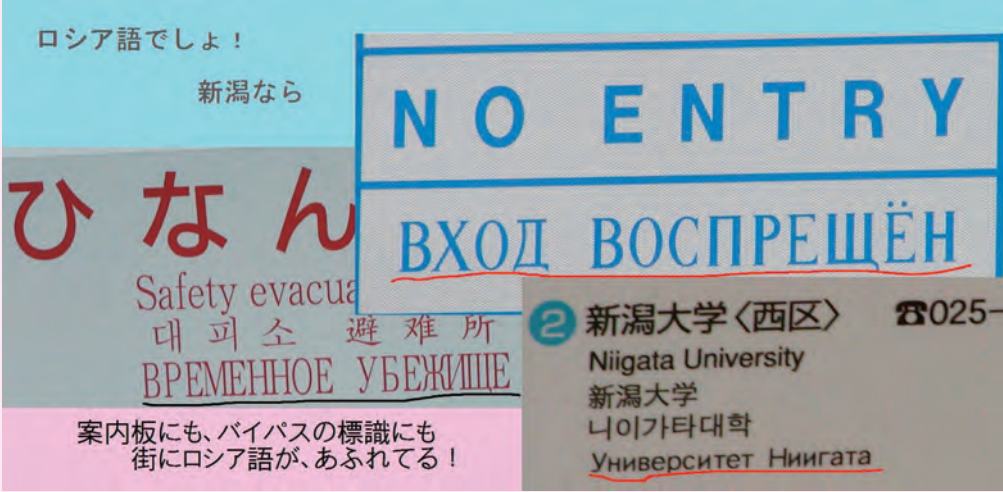
なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目／A：朝鮮語運用能力開発のための科目／B：幅広くコリアを理解するための科目／

C：コリアに関する専門科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9025	コリア学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	演習	藤石 貴代	人社系（人）	71	03
2	コア	R	190Q0026	国際交流	2	集中講義（9月頃）			演習	李・森澤	非常勤講師	71	03
3	コア	A	（全科目）	外国語ベーシックⅠ（朝鮮語）	1				講義			71	03
4	コア	A	（全科目）	朝鮮語ベーシックⅡ	3				演習			71	03
5	コア	A	（全科目）	朝鮮語スタンダードⅠA	1.5				演習			71	03
6	コア	A	（全科目）	朝鮮語スタンダードⅠB	1.5				演習			71	03
7	コア	A	（全科目）	朝鮮語スタンダードⅡ	3				演習			71	03
8	コア	A	（全科目）	朝鮮語インテンシブⅠA	2				演習			71	03
9	コア	A	（全科目）	朝鮮語インテンシブⅠB	2				演習			71	03
10	コア	A	（全科目）	朝鮮語インテンシブⅡ	4				演習			71	03
11	コア	A	190G1134	朝鮮語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1,2ターム	水2	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
12	コア	A	190G1135	朝鮮語ベーシックプラスB	2	第1学期	第1,2ターム	金1	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
13	コア	A	190G1131	コミュニケーション・朝鮮語E	2	第1学期	第1,2ターム	木2	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
14	コア	A	190G1132	コミュニケーション・朝鮮語F	2	第1学期	第1,2ターム	木3	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
15	コア	A	190G1573	コミュニケーション・朝鮮語G	2	第2学期	第3,4ターム	木2	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
16	コア	A	190G1574	コミュニケーション・朝鮮語H	2	第2学期	第3,4ターム	金1	演習	権 英秀	非常勤講師	71	03
17	コア	A	190G1133	朝鮮語セミナーA	2	第1学期	第1,2ターム	木1	演習	権 英秀	非常勤講師	71	04
18	コア	A	190G1575	朝鮮語セミナーB	2	第2学期	第3,4ターム	木1	演習	権 英秀	非常勤講師	71	04
19	コア	A	190G7519	朝鮮語オプショナルA	2	第2学期	第3,4ターム	水4	演習	川西 裕也	人社系（経）	71	03
20	コア	C	190G3921	韓国サマースクールⅠ	2	集中講義			実習	藤石 貴代・他	人社系（人）	71,75	03
21	コア	C	190G3922	韓国サマースクールⅡ	2	集中講義			実習	藤石 貴代・他	人社系（人）	71,75	03
22	コア	C	190G3923	韓国サマースクールⅢ	2	集中講義			実習	藤石 貴代・他	人社系（人）	71,75	03
23	コア	C※		海外研修					実習			71	04
24	コア	C	191G7008	歴史学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火3・4	講義	川西 裕也	人社系（経）	31	03
25	コア	C	休講	歴史学A	2				講義			31	03
26	コア	C	194G7511	歴史学Q	2	第2学期	第4ターム	火4・金4	講義	山内 民博	人文社会科学系（人文）	31	03
27	コア	C	休講	アジア歴史文化論B	2				講義			31	13
28	コア	C	190H5186	アジア言語文化研究法A	2	第2学期	第3・4ターム	木5	演習	藤石 貴代	人社系（人）	30	13
29	コア	C	休講	アジア言語文化研究法B	2				演習			30	13
30	コア	C	193H5166	アジア史概説A	2	第2学期	第3ターム	月3・木3	演習	山内 民博	人社系（人）	31	03
31	コア	C	190H5450	朝鮮言語文化論	2	第2学期	第3・4ターム	火4	講義	藤石 貴代	人社系（人）	29	04
32	コア	C	193H5437	朝鮮社会論	2	第2学期	第3ターム	火3・金3	講義	山内 民博	人社系（人）	31	4
33	関連	B	193H5904	日本・アジア言語文化入門A	2	第2学期	第3ターム	月4・木4	講義	三ツ井 正孝	人社系（人）	29,30	03
34	関連	B	休講	日本・アジア言語文化入門B	2				講義			29,30	03
35	関連	B	190H5903	歴史文化学入門A	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	山内 民博	人社系（人）	29,31	03
36	関連	B	休講	歴史文化学入門B	2				講義			29,31	03
37	関連	B	190K5604	外国史A	2	第1学期	第1,2ターム	水2	講義	吉澤文壽	非常勤講師	31	04
38	関連	B	190G3955	グローバルコミュニケーションA	1	第1学期	第1学期集中	集中	講義	池田 英喜・他	グローバル教育センター	75	03
39	関連	B	192G3228	アクティブラーニングB	1	第1学期	第2ターム	木1	講義	池田 英喜	グローバル教育センター	75	03
40			194G3732	アクティブラーニングB	1	第2学期	第4ターム	木1					
41	関連	B	190G7028	日本語教育Ⅰ－A	2	第1学期	第1,2ターム	火2	講義	池田 英喜	グローバル教育センター	30	03
42	関連	B	190G7518	日本語教育Ⅰ－B	2	第2学期	第3,4ターム	火3	講義	足立 祐子	グローバル教育センター	30	03
43	関連	B	191G3216	アクティブラーニングC	2	第1学期	第1ターム	月3	講義	足立 祐子	グローバル教育センター	75	03
44	関連	B	193G3714	アクティブラーニングC	2	第2学期	第3ターム	月3					
45	関連	B	休講	共生社会論	2				講義			75	03
46	関連	B	193G3716	共生社会論A	1	第2学期	第3ターム	火4	講義	足立 祐子	グローバル教育センター	75	03
47	関連	B	194G3730	共生社会論B	1	第2学期	第4ターム	火4	講義	足立 祐子	グローバル教育センター	75	03
48	関連	B	190G3240	平和を考えるA	2	第1学期	第1,2ターム	水3	講義	藤石 貴代・他	人社系（人）	75	03
49	関連	B	190G3741	平和を考えるB	2	第2学期	第3,4ターム	水3	講義	粟生田 忠雄・他	自然科学系（農）	75	03
50	関連	B	193L3607	アジア政治外交史	2	第2学期	第3ターム	月1・2	講義	真水 康樹	人社系（法）	35	03
51	関連	B	193L3607	政治社会学	2	第2学期	第3ターム	月1・2	講義	真水 康樹	人社系（法）	35	03
52	関連	B	191L3609	国際関係論	2	第1学期	第1ターム	水1・2	講義	神田 豊隆	人社系（法）	35	03
53	関連	B	193L3308	国際法	2	第2学期	第3ターム	木1・2	講義	渡辺 豊	人社系（法）	34	03
54	関連	B	休講	国際人権法	2				講義			34	04

■プログラムの名称 「外国語（ロシア語）」

概要	日本海に面しているという新潟の地理上の特性に鑑み、ロシア語の分かる地方公務員、基本的なロシア語会話ができる英語教師、ロシアの文化について語ることのできるジャーナリストといった人材を育てるためのカリキュラムである。ロシア語の初級、中級文法とロシア文化の基本的な知識の習得を目指す。		
ねらい	別に専門を持ちながらロシアの人々、ロシアの文化と接していくためのロシア語の力を身につける。また、ロシアの文化にアクセスするためのノウ・ハウを身につける。		
到達目標	1. 習得語彙数1000以上。形動詞・副動詞まで含めた基本的文法を習得し、活用できる。 2. ゆっくりしたテンポで基本的な会話ができる。 3. 新聞・雑誌の記事等を辞書を使って読解できる。 (指定のロシア語検定2級受験レベル)	副専攻 委員会委員	○番場 俊 齋藤 陽一 鈴木 正美
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」科目から、「5単位」以上を修得していること。 ・第3年次以降に、必ず、「ロシア言語文化演習」（属性区分「R★」）を「1科目」以上受講すること。 ・認定申請時に課せられる最終レポートを、所定の締切までに提出し、合格すること。 ・人文学部人文学科西洋言語文化学主専攻プログラムに所属する学生のうち、ロシア語に関わる論題で卒業論文を執筆する者については、本プログラムによる副専攻認定は行わない。		
プログラムの紹介	ロシア語は、たしかに難しいところがある言語です。1年次に苦労した人もいるかもしれませんが、 ですが、せっかく勉強したロシア語をこれでやめてしまうのは、もったいないと思いませんか？ 中級・上級のロシア語クラス、さらに関連する講義・演習などでロシア語の勉強を少しずつ継続していけば、 所属学部に関わらず、比較的無理なく副専攻認定を受けることができます。学生も教員も少人数ですから、みなさんは主専攻のかたわら、アットホームな雰囲気での学修を続けていくことになります。新潟はロシアとの結びつきが強い都市ですし、ロシア語を一定以上修得した学生は全国でも少数ですから、卒業後の仕事でロシア語の知識を活かす可能性もでてくるでしょう。なにより、日本語とも英語とも異なる論理と情感をもった言語と文化を4年間継続的に学びつづけることによって、みなさんの視野はぐっと広がり、アタマもやわらかくなることでしょう。 特別な気負いはいりません。気軽に担当教員に相談してみてください。 		

「外国語（ロシア語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※H・T（オナズ・タイム）：11時55分～12時45分

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目／R★：選択必修科目／A：初歩的科目

(*)「比較経済体制論」および「ロシア経済論」は、それぞれ重複して履修することはできません。

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q0027	ロシア学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	水H・T	演習	番場 俊・他	人社系（人）	71	03
2	コア	A	(全科目)	外国語ベーシック I（ロシア語）	1	第1学期	第1,2ターム		講義			71	03
3	コア	A	(全科目)	ロシア語ベーシックII	3	第2学期	第3・4ターム		演習			71	03
4	コア	A	(全科目)	ロシア語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1・2ターム		演習			71	03
5	コア	A	(全科目)	ロシア語ベーシックプラスB	2	第2学期	第3・4ターム		演習			71	03
6	コア	A	(全科目)	ロシア語スタンダードIA, IB	3	第1学期	第1・2ターム		演習			71	03
7	コア	A	(全科目)	ロシア語スタンダードII	3	第2学期	第3・4ターム		演習			71	03
8	コア	A	(全科目)	ロシア語インテンシブIA, IB	4	第1学期	第1・2ターム		演習			71	03
9	コア	A	(全科目)	ロシア語インテンシブII	4	第2学期	第3・4ターム		演習			71	03
10	コア	A (夜間主)	190G1088	初級ロシア語I - 1	1	第1学期	第1,2ターム	火7	演習	中谷 昌弘	非常勤講師	71	03
11	コア	A (夜間主)	190G1543	初級ロシア語I - 2	1	第2学期	第3,4ターム	火7	演習	中谷 昌弘	非常勤講師	71	03
12	コア	A (夜間主)	190G1089	初級ロシア語II - 1	1	第1学期	第1,2ターム	火6	演習	中谷 昌弘	非常勤講師	71	03
13	コア	A (夜間主)	190G1544	初級ロシア語II - 2	1	第2学期	第3,4ターム	火6	演習	中谷 昌弘	非常勤講師	71	03
14	コア		190G1090	コミュニケーション・ロシア語A	2	第1学期	第1,2ターム	水4	演習	R. ブラーソル	非常勤講師	71	03
15	コア		190G1091	コミュニケーション・ロシア語B	2	第1学期	第1,2ターム	木3	演習	富山 栄子	非常勤講師	71	03
16	コア		190G1545	コミュニケーション・ロシア語C	2	第2学期	第3,4ターム	木3	演習	富山 栄子	非常勤講師	71	03
17	コア		190G1092	ロシア語セミナーA	2	第1学期	第1,2ターム	水2	演習	鈴木 正美	人社系（人）	71	04
18	コア		190G1546	ロシア語セミナーB	2	第2学期	第3,4ターム	水4	演習	R. ブラーソル	非常勤講師	71	04
19	コア		190H5326	ロシア言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習	番場 俊	人社系（人）	29	13
20	コア		190H5327	ロシア言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	鈴木 正美	人社系（人）	30	13
21	コア		休講	西洋言語文化研究法E	2				演習			29,30	13
22	コア		190H5195	ロシア言語文化概説A	2	第1学期	第1・2ターム	火5	講義	鈴木 正美	人社系（人）	29	03
23	コア		休講	ロシア言語文化概説B	2				講義			30	03
24	関連	※		海外研修					実習			71	04
25	関連		191G7015	文学D	2	第1学期	第1ターム	火1,金1	講義	番場 俊	人社系（人）	29	03
26	関連		休講	西洋文化研究演習A	2				演習			29	03
27	関連		191G7013	西洋文化研究演習B	2	第1学期	第1ターム	月1,木1	演習	齋藤 陽一	人社系（人）	29	03
28	関連	R★	190H5589	ロシア言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	中谷 昌弘	非常勤講師	29,30	14
29	関連	R★	190H5590	ロシア言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	金3	演習	鈴木 正美	人社系（人）	29,30	14
30	関連	R★	190H5591	ロシア言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	木3	演習	中谷 昌弘	非常勤講師	29,30	14
31	関連	R★	190H5592	ロシア言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	金3	演習	鈴木 正美	人社系（人）	29,30	14
32	関連		190H5453	ロシア文芸論	2	第2学期	第3・4ターム	月5	講義	鈴木 正美	人社系（人）	29	04
33	関連		190H5463	ロシア言語文化論A	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	鈴木 正美	人社系（人）	29	04
34	関連		190H5464	ロシア言語文化論B	2	第1学期	第1・2ターム	集中	講義	梅津 紀雄	非常勤講師	29	04
35	関連		休講	ロシア言語文化論C	2				講義			30	04
36	関連		休講	表象文化論A	2				講義			10,29	04
37	関連		191E1012	比較経済体制論(*)	2	第1学期	第1ターム	月3,4	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
		(夜間主)	190E5024	比較経済体制論(*)	2	第1学期	第1,2ターム	月6	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
38	関連		193E1041	ロシア経済論(*)	2	第2学期	第3ターム	月3,4	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
		(夜間主)	190E5056	ロシア経済論(*)	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04

■プログラムの名称 「外国語（中国語）」

概要	グローバル化する世界で、中国語文化圏の占める位置はますます大きくなっている。中国語の高度な実践的運用能力を涵養すると共に、中国語文化圏についての基礎的知識を有し、広い視野に立つて中国および国際問題とかがわっていける人材を育てる。		
ねらい	中国語の実践的能力を習得し、中国語文化圏のさまざまな事象への理解を深める。		
到達目標	中国の大学における専門課程の授業を理解できる。(HSK 7級合格レベル)	副専攻 委員会委員	○土屋 太祐 朱 継征 干野 真一
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」科目から「6単位」以上、「B」科目から「6単位」以上を修得していること。 ・人文学部人文学科日本・アジア言語文化学主専攻プログラムに所属する学生のうち、中国語に関わる論題で卒業論文を執筆するものについては、本プログラムによる副専攻認定は行わない。		
プログラムの紹介	中国では、2008年の北京オリンピックに引き続き、2010年5月から半年間、上海万博が開幕されました。都市と農村の格差の象徴とも言える農民工の問題、あるいはチベット、ウイグルなどに代表される民族問題、環境問題、など、よくも悪しくも中国を避けてはとおれなくなっているのが今の世界です。 ヨーロッパのホテルでは、NHKにかわり、今や中国中央テレビが流されています。ポルトガルに留学した学生は、中華人民共和国以外のあらゆる華人社会からの留学生に囲まれている、と言っていました。インドネシア、マカオ、マレーシア…華人社会の広がりには目を瞠られます。 内向き、といわれる日本を飛び出して、あなたも中国語で、この底知れぬ中国および華人社会の世界の扉を開いてみてください。きっと、想像もしていなかったさまざまな面白い世界が開けることでしょう。  北京、火神廟にて。北京大学に留学したTさん  北京、孔子廟の門前猫  冬の北京、后海でそり遊びに興じる		

「外国語（中国語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**事プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、副専攻認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目／A：中級レベル／B：上級レベル

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9028	中国学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	月H・T	講義	(非) 応雋・斯日・肖	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシックⅠ（中国語）	1							71	03
3	コア		(全科目)	中国語インテンシブⅠ	4							71	03
4	コア		(全科目)	中国語インテンシブⅡ	4							71	03
5	コア		(全科目)	中国語スタンダードⅠ	3							71	03
6	コア		(全科目)	中国語スタンダードⅡ	3							71	03
7	コア		(全科目)	中国語ベーシックⅡ	3							71	03
8	コア	夜間主	190G1115	初級中国語Ⅱ－1	1	第1学期	第1,2ターム	火6	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
9	コア	夜間主	190G1114	初級中国語Ⅰ－1	1	第1学期	第1,2ターム	火7	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
10	コア	夜間主	190G1560	初級中国語Ⅱ－2	1	第2学期	第3,4ターム	火6	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
11	コア	夜間主	190G1559	初級中国語Ⅰ－2	1	第2学期	第3,4ターム	火7	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
12	コア	A	190G1116	コミュニケーション・中国語 A	2	第1学期	第1,2ターム	月3	演習	詹 秀娟	非常勤講師	71	03
13	コア	A	190G1117	コミュニケーション・中国語 B	2	第1学期	第1,2ターム	水3	演習	応 雋	非常勤講師	71	03
14	コア	A	190G1118	コミュニケーション・中国語 C	2	第1学期	第1,2ターム	火2	演習	張 玲霞	人社系（人）	71	03
15	コア	A	190G1561	コミュニケーション・中国語 D	2	第2学期	第3,4ターム	月3	演習	詹 秀娟	非常勤講師	71	03
16	コア	A	190G1562	コミュニケーション・中国語 E	2	第2学期	第3,4ターム	火2	演習	未定	人社系（人）	71	03
17	コア	A	190G1563	コミュニケーション・中国語 F	2	第2学期	第3,4ターム	水3	演習	応 雋	非常勤講師	71	03
18	コア	A	休講	コミュニケーション・中国語 G	2				演習			71	03
19	コア	A	休講	コミュニケーション・中国語 H	2				演習			71	03
20	コア	A	190G1119	コミュニケーション・中国語 J	2	第1学期	第1,2ターム	木3	演習	干野 真一	人社系（人）	71	03
21	コア	B	190G1120	中国語セミナー A	2	第1学期	第1,2ターム	水3	演習	斯日 古楞	非常勤講師	71	04
22	コア	B	190G1121	中国語セミナー B	2	第1学期	第1,2ターム	木4	演習	張 玲霞	人社系（人）	71	04
23	コア	B	190G1566	中国語セミナー C	2	第2学期	第3,4ターム	水3	演習	斯日 古楞	非常勤講師	71	04
24	コア	B	190G1567	中国語セミナー D	2	第2学期	第3,4ターム	木4	演習	未定	人社系（人）	71	04
25	コア	B	休講	中国語セミナー E	2				演習			71	04
26	コア	B	休講	中国語セミナー F	2				演習			71	04
27	コア	B	休講	中国語セミナー I	2				演習			71	04
28	コア	B	休講	中国語セミナー G	2				演習			71	04
29	コア	B	休講	中国語セミナー H	2				演習			71	04
30	コア	B	休講	中国語セミナー J	2				演習			71	04
31	コア	※		海外研修					実習			71	04
32	コア	B	190G1565	上海語演習	2	第2学期	第3,4ターム	水4	演習	応 雋	非常勤講師	71	04
35	コア	A	192G3223	中国留学準備講座 サマーセミナー総合編	2	第1学期	第2ターム	火3,金3	講義	干野 真一・他	人社系（人）	75	3
36	コア	A	190H5179	アジア言語文化概説 A	2	第2学期	第3,4ターム	金2	演習	張玲霞	人社系（人）	29	03
37	コア	B	190H5180	アジア言語文化概説 B	2	第2学期	第3,4ターム	火4	演習	干野 真一	人社系（人）	29	03
38	コア	B	190H5187	アジア言語文化研究法 B	2	第1学期	第1,2ターム	火4	講義	干野 真一	人社系（人）	30	13
39	コア	B	190H5446	アジア言語文化論 A	2	集中	集中	集中	講義	岩本 真理	非常勤講師	29,30	04
40	コア	B	190H5449	中国文芸文化論 B	2	第2学期	第3,4ターム	水5	講義	後藤 岩奈	非常勤講師	29	04
41	コア	B	休講	中国言語文化論 A	2				講義			29,30	04
42	コア	B	190H5448	中国言語文化論 B	2	第2学期	第3,4ターム	月3	講義	干野 真一	人社系（人）	29,30	04
43	コア	A	190E1170	異文化論	2	第1学期	第1,2ターム	金5	講義	土屋 太祐	人社系（経）	36,33	04
44	コア	A	190E1246	異文化論	2	第2学期	第3,4ターム	水3	講義	朱 継征	人社系（経）	36,33	04
45	コア	B	190E1109	外書講読Ⅱ	2	第1学期	第1,2ターム	水3	講義	朱 継征	人社系（経）	36	04
46	コア	B	193E1036	外書講読Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火1,金1	講義	溝口 由己	人社系（経）	36	04
47	関連		190G3246	留学生と考える日中交流史	2	第1学期	第1,2ターム	木2	講義	柴田 幹夫	グローバル教育センター	75	03
48	関連		190H5319	アジア言語文化基礎演習	2	第2学期	第3,4ターム	水3	演習	梁 淑珉	非常勤講師	29,30	13
49	関連		190H5181	アジア言語文化概説 C	2	第1学期	第1,2ターム	水1,2	講義	高久 由美	非常勤講師	29	03
50	関連		休講	中国思想文化論	2				講義			29	04
51	関連		休講	日本・アジア言語文化入門 B	2				講義			29,30	03
52	関連		休講	日本・アジア言語文化入門 B	2				講義			29,30	03
53	関連		191H5438	アジア歴史文化論 A	2	第1学期	第1ターム	月3,木3	講義	広川 佐保	人社系（人）	31	04
54	関連		休講	アジア歴史文化論 B	2				講義			31	04
55	関連		休講	アジア史実習 A	2				実習			31	13
56	関連		休講	アジア史実習 B	2				実習			31	13
57	関連		193H5166	アジア史概説 A	2	第2学期	第3ターム	月3,木3	講義	山内 民博	人社系（人）	31	03
58	関連		191L3615	中国政治入門	2	第1学期	第1ターム	火3,4	講義	李 寒梅	人社系（法）	35	03
59	関連		192L3608	中国政治史	2	第1学期	第2ターム	月1,2	講義	真水 康樹	人社系（法）	35	03
60	関連		193L3607	政治社会学	2	第2学期	第3ターム	月1,2	講義	真水 康樹	人社系（法）	35	03
61	関連		休講	Introduction to Japanese Politics, Basic	2				講義			35	03
62	関連		191E1011	アジア経済論Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	火1,金1	講義	溝口 由己	人社系（経）	36	04
63	関連		休講	アジア経済論Ⅰ	2				講義			36	04
64	関連		休講	漢文学講義Ⅱ	2				講義			29	04

■プログラムの名称 「地域学」

概 要	この副専攻は、地域社会を主体的に生きる力を身につけるプログラムである。 具体的には新潟地域を対象とし、地域社会を歴史的な深みからとらえることを軸としながら、地域を考えるうえでの多様な視点・方法論を学ぶ。このことを通じて、地域の課題を発見し、その解決の筋道を立案できる人材として成長することをめざす。		
ね ら い	地域をめぐる諸問題について調査し、親しみ、考えた経験をもとに、各自の専攻の立場から地域の課題解決に資する人材として成長すること。		
到達目標	1. 地域における様々な問題に関心を持ち、課題とともに担う態度を身につける。 2. 地域を歩き、地域を観察し、地域の人や歴史と出会って、自らの手で地域の姿を把握することができる。 3. 自ら設定した地域をめぐる問題を調査し、深めて、課題を明らかにした報告書を作成することができる。 4. 新潟地域のフィールドワークによって、具体的な地域社会の歴史と文化などを深く理解することができる。	副 専 攻 委員会委員	○原 直史 中村 元
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。		
プログラムの紹介	いずれの地域社会も、長い歴史の中で形成されたものであり、複雑に重層した内実を持っている。また今や地域社会は自治体再編などで大きく変動し、そこで暮らす住民は地域の自立など様々な課題と直面している。 副専攻「地域学」は、このような地域社会で生きる自覚をたかめ、主体的に地域社会と関わっていく力を身につけ、さらには地域社会の未来を切り開く人材として成長していくことを目指したプログラムである。 地域を考えるための視点には様々なものがあるが、本プログラムが主として重視するのは歴史的な視点である。とりわけ必修のR科目では、新潟地域を対象とした地域の過去と現在を、フィールドワークを交えて実地に学び、地域の課題を探るための基礎力を身につける。もちろんそれだけではなく、新潟大学個性化科目の地域研究や地域入門を中心とした、文系・理系にまたがる多様な科目の履修を通して、地域を考える際の多様な視点・方法を学ぶことになる。 各学生はもちろんそれぞれの専攻を修める一方でこのプログラムを学ぶわけであるが、本プログラムで学んだ地域の視点をそれぞれの専攻の立場にフィードバックし、相互に関連づけてゆくことで、より深く地域に根ざした思考ができるようになることを期待している。		

「地域学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A：選択必修科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9041	地域学序説入門【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	木H・T	講義	原 直史・他	人社系（人）	99	03
2	コア	R	190Q0042	地域学実習	2	集中講義			実習	原 直史・他	人社系（人）	99	04
3	コア	R	190Q0043	地域学演習	2	第2学期	第3,4ターム	木H・T	演習	原 直史・他	人社系（人）	99	04
4	コア		193G3701	新潟の農林業	2	第2学期	第3ターム	火1,金1	講義	村上 拓彦・他	自然科学系（農）	75	03
5	コア		194G3703	土と水	2	第2学期	第4ターム	火2,金2	講義	原田 直樹・他	自然科学系（農）	75	03
6	コア		190G3204	新潟から考える雪の科学と文化	2	第1学期	第1,2ターム	水4	講義	和泉 薫・他	非常勤講師	75	03
7	コア		廃止	比較地域社会学(H30 以前入学者対象)	2				講義			75	03
8	コア		190G3213	地域から文化を考える	2	第1学期	第1,2ターム	月5	講義	中村 元	人社系（人）	75	03
9	コア		廃止	地域を探る(H30 以前入学者対象)	2				講義			75	03
10	コア		193G3717	トキをシンボルとした自然再生	2	第2学期	第3ターム	月4,木4	講義	永田 尚志・他	研究推進機構	75	03
11	コア		190G3924	朱鷺・自然再生フィールドワーク	1	第1学期	第1学期集中	集中	実習	永田 尚志・他	研究推進機構	75	03
12	コア		190H5902	社会・地域文化学入門A	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義	中本 真人	人社系（人）	31,33,38	03
13	コア		未定	社会・地域文化学入門B	2	第1学期	第1ターム	火4・金4	講義	番場 俊	人社系（人）	31,33,38	03
14	コア		190H5002	社会・地域文化学入門	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義	中本 真人	人社系（人）	31,33,38	03
15	コア		190H5903	歴史文化学入門A	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	山内 民博	人社系（人）	31,29	03
16	コア		未定	歴史文化学入門B	2	第1学期	第1ターム	火4・金4	講義	番場 俊	人社系（人）	31,29	03
17	コア		190H5003	歴史文化学入門	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	山内 民博	人社系（人）	31,29	03
18	コア		193H5137	地誌学概説A	2	第2学期	第3ターム	金3,4	講義	堀 健彦	人社系（人）	33	03
19	コア		休講	地誌学概説B	2				講義			33	03
20	コア		廃止	環境地質学A(H28 以前入学者対象)	2				講義			44	04
21	コア		廃止	環境地質学B(H28 以前入学者対象)	2				講義			44	04
22	コア		190G3704	近世越後諸地域の歴史と社会	2	第2学期	第3,4ターム	水5	講義	原 直史	人社系（人）	75	03
23	コア		休講	新潟での企業理念と経営戦略	2				講義			16	03
24	コア		190G3902	新潟産業フィールドワーク	4	第1学期	第1学期集中	集中	観・習	田村明子、石本貴之	法学部、非常勤講師		
25	コア		192G3209	新潟地域研究	2	第1学期	第2ターム	金1,2	講義	後藤 康志	教育・学生支援機構	75	03
26	コア		191G3201	日本酒学 A-1	1	第1学期	第1ターム	水4	講義	岸 保行	人社系（経）	75	03
27	コア		192G3202	日本酒学 A-2	1	第1学期	第2ターム	水4	講義	岸 保行	人社系（経）	75	03
28	コア		190G3905	日本酒学 B	1	第2学期	第2学期集中	集中	講義	鈴木 一史・他	自然科学系（農）	75	03
29	コア		190G3211	ボランティア開発論Ⅰ	2	第1学期	第1,2ターム	金5	講義	雲尾 周・他	人社系（教）	75	03
30	コア		190G3707	ボランティア開発論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	金5	講義	雲尾 周・他	人社系（教）	75	03
31	コア		190G3212	コミュニティ開発論Ⅰ	2	第1学期	第1,2ターム	金6	講義	雲尾 周・他	人社系（教）	75	03
32	コア		190G3708	コミュニティ開発論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	金6	講義	雲尾 周・他	人社系（教）	75	03
33	コア		193G3725	新潟地域の魅力を探る	2	第2学期	第3ターム	木3,4	観・習	木村 裕斗・他	教育・学生支援機構	75	03
34	コア		194G3728	新潟の企業の魅力を探る	1	第2学期	第4ターム	木4	講義	木村 裕斗・他	教育・学生支援機構	75	03
35	コア		休講	地元学入門	2				観・習			77	03
36	コア		192G3210	新潟中小企業魅力発信演習	1	第1学期	第2ターム	木2	観・習	伊藤 龍史	人社系（経）	37	03
37	関連		192T9432	都市計画学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火4,金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	03
38	関連		191T9439	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火4,金4	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	04
39	関連		193T9412	建築計画学Ⅰ	2	第2学期	第3ターム	火4,5	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	03
40	関連		休講	新潟の農業	2				講義			60,64,66	03
41	関連		190G3709	文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅰ	2	第2学期	第3,4ターム	月7	講義	原 直史・他	人社系（人）	75	03
42	関連		休講	文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅳ	2				講義			75	03
43	関連		休講	日本史概説A	2				講義			31	03
44	関連		休講	日本史概説B	2				講義			31	03
45	関連		193H5160	日本史概説C	2	第2学期	第3ターム	月4,木4	講義	原 直史	人社系（人）	31	03
46	関連		191H5161	日本史概説D	2	第1学期	第1ターム	火2,金2	講義	中村 元	人社系（人）	31	03

■プログラムの名称 「GIS（地理情報システム）リテラシー」

概要	地理情報システム（GIS）は、デジタル化された地図情報を基に、複雑に構成された社会空間（農地・森林・自然環境なども含む）における諸問題を可視化し、解析し、現実社会における解決方法を策定するためのツールである。本副専攻プログラムでは、GIS基礎科目に加え、GISを活用する全学の既設科目を活用し、幅広い分野におけるGISの基礎理解、ソフトウェアおよびデータの操作、そして研究プロジェクトのデザイン能力を促す教育プログラムを提供する。		
ねらい	地理情報システムは、多様な分野において活用が進められており、多分野を横断する共通プラットフォームとなっている。こうした潮流を背景として、本副専攻プログラムでは、分野横断・融合型の研究プロジェクトに不可欠なリサーチ能力の育成は無論のこと、基本的に時・空間にまたがる問題を扱う自治体やNPO、エリアマーケティング等に携わる民間企業など、様々な機関及び状況においてGISオペレーターとして即戦力となり得る人材育成をねらう。		
到達目標	1. 地理情報システムおよびリモートセンシングに関する概念的理解 2. 理学、農学、工学、医学、人文学、社会学など様々な学術分野における応用例の学習を通じて、GISを用いた研究プロジェクトの設計方法の理解 3. GISのソフトウェアおよび空間データの基礎的な操作方法の修得 4. 身近な問題や自分の専門分野において、GISを用いて研究プロジェクトを実施できる応用力の修得	副専攻 委員会委員	○浮田 甚郎 （GISセンター センター長） 奈良間千之 小浦方 格
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・理学部、工学部、農学部、農学部の学生は 全ての属性区分「R1」科目「6単位」を修得すること。 コア科目全体から「10単位」以上を修得すること。 関連科目から「4単位」以上を修得すること。 ・人文学部、教育学部、法学部、経済学部の学生は 全ての属性区分「R1」科目「6単位」を修得すること。 属性区分「R2」科目を「4単位」以上を修得すること。 コア科目から「14単位」以上を修得すること。 関連科目から「4単位」以上を修得すること。 ・最終年次に、必修科目「研究プロジェクト演習」を履修し、自主研究レポートを作成しなければならない。本レポートをGISリテラシー副専攻委員会に対して提出して合格することにより副専攻が認められる。ただし卒業論文にGISを活用した場合、GISの観点からこれを要約した概要をもって自主研究レポートとして同科目に提出することが可能である。		

「GIS（地理情報システム）リテラシー」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※は、重複履修できません。

属性区分 A：人文社会・教育学系科目／B：自然科学系・災害復興科学センター科目／C：医歯学系科目／D：全学横断の内容

R1：必修科目①／R2：必修科目②

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	190Q9042	副専攻GISリテラシー入門【入門科目】	1		集中講義		演習	浮田 甚郎・他	自然科学系（理）	75	03
2	コア	R1	190G3932	地理情報システム（GIS）概論・演習	2		集中講義		演習	浮田 甚郎・他	自然科学系（理）	75	03
3	コア	R1	190G3954	地理情報システム（GIS）概論・応用演習	2		集中講義		演習	浮田 甚郎・他	自然科学系（理）	75	03
4	コア	R1	190Q0058	研究プロジェクト演習	1	第2学期	第3,4ターム	未定	講義	浮田 甚郎・他	自然科学系（理）	75	03
5	コア	R2	191H5131	社会調査法A	2	第1学期	第1ターム	金3,4	講義	杉原 名穂子	人社系（人）	38	13
6	コア	R2	194H5132	社会調査法B	2	第2学期	第4ターム	火3,4	講義	渡邊 登	人社系（人）	38	13
7	コア	A	190H5149	地理学実習A	1	第1学期	第1・2ターム	木2	実習	堀 健彦	人社系（人）	32	13
8	コア	A	191H5128	社会解析論	2	第1学期	第1ターム	木1,2	講義	松井 克浩	人社系（人）	38	03
9	コア	A	休講	社会調査概説	2				講義			38	03
10	コア	B※	191S6525 191A1148	自然環境科学実験 A1 地形解析実習	2	第1学期	第1ターム	月3,4,木3,4	実験	奈良間 千之	自然科学系（理学部）	44	14
11	コア	B※	190S6526 190A1159	自然環境科学実験 A2 気象解析実習	2	第1学期	第1,2ターム	火4,5	実験	本田 明治	自然科学系（理学部）	44	14
12	コア	B※	193S6510 193A1164	寒冷地形学	2	第2学期	第3ターム	木3,4	講義	奈良間 千之	自然科学系（理学部）	44	04
13	コア	B※	192S7507 192A1052	流域環境 GIS	2	第1学期	第2ターム	月2,木2	講義	村上 拓彦・他	自然科学系（農）	62.65	03
14	コア	B※	193S7513 193A1065	リモートセンシング	2	第2学期	第3ターム	火3,4	講義	村上 拓彦	自然科学系（農）	62.65	04
15	コア	B※	193S7508 193A1048	環境砂防学	2	第2学期	第3ターム	火2,金2	講義	権田 豊	自然科学系（農）	62	04
16	コア	B※	194S7532 194A1071	GIS・リモートセンシング演習	2	第2学期	第4ターム	月3,4,木3,4	演習	村上 拓彦	自然科学系（農）	62.65	14
17	関連	A	休講	環境経済システム論 I	2				講義			36	04
18	関連	A	190E1167	環境経済システム論 II	2	第1学期	第1,2ターム	月4	講義	藤堂 史明	人社系（経）	36	04
19	関連	A	休講	環境経済システム論 I	2				講義			36	04
20	関連	A	190E5016	環境経済システム論 II	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	藤堂 史明	人社系（経）	36	04
21	関連	A	190H5150	地理学実習B	1	第2学期	第3・4ターム	木	実習	堀 健彦	人社系（人）	32	13
22	関連	A	190H5151	地理学実習C	1	通年	通年	不定期	実習	堀 健彦	人社系（人）	32	13
23	関連	A	190H5152	地理学実習D	1	通年	通年	不定期	実習	堀 健彦	人社系（人）	32	13
24	関連	A	190K5606	人文地理学	2	第1学期	第1,2ターム	水4	講義	前田 洋介	人社系（教）	32	04
25	関連	A	190K5715	地理学特講Ⅲ	2	第1学期	第1,2ターム	火4	講義	前田 洋介	人社系（教）	32	04
26	関連	A	190K5653	地理学特講Ⅳ	2	第2学期	第3,4ターム	火4	講義	前田 洋介	人社系（教）	32	04
27	関連	B※	192S6521 192A1156	環境経済システム論 I	2		集中講義		講義	房 文慧・他	非常勤講師	36	04
28	関連	B※	194S6502 194A1147 194T8231	地形学	2	第2学期	第4ターム	月5,木5	講義	奈良間 千之	自然科学系（理）	44	04
29	関連	B	191S0581	環境気象学	2	第1学期	第1ターム	火3,金3	講義	本田 明治	自然科学系（理）	44	04
30	関連	B	194G6524	地球と気象	2	第2学期	第4ターム	火4、金4	講義	本田 明治	自然科学系（理）	44	03
31	関連	B	休講	計画系演習及び実習	3				演習			62	14
32	関連	B	休講	可視化工学	2				講義			50	04
33	関連	B	192T9432	都市計画学 I	2	第1学期	第2ターム	火4、金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	03
34	関連	B	194T9433	都市計画学 II	2	第2学期	第4ターム	火4、金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	04
35	関連	C	190G8002	医学序説 I	2	第1学期	第1,2ターム	木3	講義	医学科学務委員会	医歯学系（院医歯（医））	81	03
36	関連	C	190G8502	医学序説 II	2	第2学期	第3,4ターム	月4	講義	医学科学務委員会	医歯学系（院医歯（医））	81	03
37	関連	C	190G8001	先端医学研究概説	2	第1学期	第1,2ターム	月5	講義	神吉 智丈・他	医歯学系（院医歯（医））	80	03

■プログラムの名称 「法律学」

概 要	変革が進む日本の社会にあって、これからは公正・公平で透明なルールによって規律される自由競争・自己責任の時代であるともいわれています。それはまさに法的な見方・考え方がより重要となる時代の到来を意味するものといえます。また、いたるところで多様な紛争、社会問題が絶えず発生しています。その処理、解決、予防を任務とする法律、法律学の機能と課題を、公法、民事法、刑事法及びその他の法律学分野の全般にわたる授業の履修を通じて理解してもらいます。		
ね ら い	法制度の概要を理解し、法律の条文に親しむ。		
到達目標	1. 法学の基本的概念や問題点を理解し、分析することができる。 2. 具体的事例に応じて、その事例における問題点や法的解決の可能性を指摘できる。	副 専 攻 委員会委員	○南島 和久 土屋 武
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目を含む12単位以上を修得していること。 ・属性区分「R1」の科目から、1科目（2単位）を修得していること。（選択必修）。 ・属性区分「R2」の科目を、すべて修得していること（必修科目）。 ・コア科目のうち、属性区分「A」の科目から、「1科目（2単位）」を修得していること（選択必修）。 ・コア科目のうち、属性区分「B」の科目から、「2科目（4単位）」を修得していること（選択必修）。 ・コア科目のうち、属性区分「C」の科目から、「1科目（2単位）」を修得していること（選択必修）。 ・法学部学生を除く。		
プログラムの紹介	法律は我々の日常生活に身近な存在です。平成21年度からは裁判員制度がスタートするなど、法律のことを知らずして生活を送ることは出来ないといっても過言ではありません。 このように本来は身近な存在である法律に対して、少なからずの人が抵抗感やアレルギーを持っているのもまた事実です。これを解消するためには、リーガルマインド（法学的な考え方）、「リーガルリテラシー」（法の仕組みや考え方を理解し、それを活用する力）を身につける必要があります。 副専攻（法律学）は、リーガルマインドやリーガルリテラシーを法学部以外の学生に身につけてもらうために設けられたものです。 ここで学ぶ内容は、法学部以外の学生にとっては決してやさしいレベルではありませんが、粘り強く学び続けることで法化社会への対応力を身につけることが可能となります。		

「法律学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R1：法学一般の基礎を養うための選択必修科目／R2：専攻領域ごとに法学の応用力を養うための必修科目

A：公法系の基礎科目／B：民事法系の基礎科目／C：刑事法系の基礎科目

※開講番号・授業科目名は、平成30年度以降入学者を対象としています。平成29年度以前入学者対象の開講番号・授業科目名は個別に問い合わせ下さい。

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	191G7039	人文社会科学入門（法学）	2	第1学期	第1ターム	水3,4	講義	上山 泰	法学部	34	03
2	コア	R1	192G7040	リーガル・システム	2	第1学期	第2ターム	月4、木4	講義	土屋 武	法学部	34	03
3	コア	R2		法政演習	2				演習		人社系（法）	34	14
4	コア	R2		卒業研究Ⅰ	2				演習		人社系（法）	34,35,77	15
5	コア	R2		卒業研究Ⅱ	2				演習		人社系（法）	34,35,77	15
6	コア	A	191L3001	憲法Ⅰ（人権総論）	2	第1学期	第1ターム	金3,4	講義	上村 都	人社系（法）	34	03
7	コア	A	193L3002	憲法Ⅱ（統治機構論）	2	第2学期	第3ターム	月3,4	講義	栗田 佳泰	人社系（法）	34	03
8	コア	A	192L3003	憲法Ⅲ（憲法総論・人権総論）	2	第1学期	第2ターム	水3,4	講義	土屋 武	人社系（法）	34	03
9	コア	A	192L3701	行政法Ⅰ（行政法総論）	2	第1学期	第2ターム	水1,2	講義	田中 良弘	人社系（法）	34	03
10	コア	A	191L3702	行政法Ⅱ（行政訴訟法）	2	第1学期	第1ターム	水1,2	講義	田中 良弘	人社系（法）	34	03
11	コア	B	193L3101	民法Ⅰ（民法総則）	2	第2学期	第3ターム	水3,4	講義	上山 泰	人社系（法）	34	03
12	コア	B	192L3102	民法Ⅱ（不法行為）	2	第1学期	第2ターム	金3,4	講義	岩崎 勝成	人社系（法）	34	03
13	コア	B	194L3103	民法Ⅲ（物権Ⅰ）	2	第2学期	第4ターム	水3,4	講義	石畝 剛士	人社系（法）	34	03
14	コア	B	191L3104	民法Ⅳ（債権総論Ⅰ）	2	第1学期	第1ターム	月3,4	講義	牧 佐智代	人社系（法）	34	03
15	コア	B	194L3114	会社法Ⅰ（総論・機関）	2	第2学期	第4ターム	木3,4	講義	吉田 正之	人社系（法）	34	04
16	コア	C	193L3201	刑法Ⅰ（刑法総論Ⅰ）	2	第2学期	第3ターム	金3,4	講義	田寺 さおり	人社系（法）	34	03
17	コア	C	191L3202	刑法Ⅱ（刑法総論Ⅱ）	2	第1学期	第1ターム	水3,4	講義	本間 一也	人社系（法）	34	03
18	コア	C	192L3203	刑法Ⅲ（刑法各論）	2	第1学期	第2ターム	木1,2	講義	田寺 さおり	人社系（法）	34	03
19	コア	C	194L3204	特殊講義（刑法各論発展）	2	第2学期	第4ターム	金3,4	講義	丹羽 正夫	人社系（法）	34	04
20	関連		191L3111	民事訴訟法Ⅰ（総論）	2	第1学期	第1ターム	木1,2	講義	若槻 良宏	人社系（法）	34	04
21	関連		193L3705	自治体法	2	第2学期	第3ターム	月1,2	講義	今本 啓介	人社系（法）	34	04
22	関連		192L3006	租税法Ⅱ（法人税法）	2	第1学期	第2ターム	木1,2	講義	今本 啓介	人社系（法）	34	04
23	関連		191L3402	情報法Ⅰ（法情報学）	2	第1学期	第1ターム	月1,2	講義	鈴木 正朝	人社系（法）	34	04
24	関連		191L3301	経済法Ⅰ（競争の実質的制限禁止）	2	第1学期	第1ターム	火1,2	講義	澤田 克己	人社系（法）	34	04
25	関連		191L3303	社会保障法Ⅱ（医療保障法）	2	第1学期	第1ターム	金1,2	講義	田中 伸至	人社系（法）	34	04
26	関連		192L3304	社会保障法Ⅰ（総論・所得保障法）	2	第1学期	第2ターム	金1,2	講義	田中 伸至	人社系（法）	34	04
27	関連		192L3306	労働法Ⅰ（個別的労働法）	2	第1学期	第2ターム	金1,2	講義	木南 直之	人社系（法）	34	04
28	関連		194L3307	労働法Ⅱ（団体の労働法）	2	第2学期	第4ターム	金1,2	講義	木南 直之	人社系（法）	34	04
29	関連		191L3406	知的財産法Ⅰ（著作権法）	2	第1学期	第1ターム	金1,2	講義	渡邊 修	人社系（法）	34	04
30	関連		193L3308	国際法	2	第2学期	第3ターム	木1,2	講義	渡辺 豊	人社系（法）	34	03
31	関連		休講	国際人権法	2				講義	渡辺 豊	人社系（法）	34	03
32	関連		192L3502	法社会学	2	第1学期	第2ターム	月1,2	講義	田巻 帝子	人社系（法）	34	03
33	関連		191L3503	特殊講義（法哲学）	2	第1学期	第1ターム	水1,2	講義	土屋 武	人社系（法）	34	03
34	関連		194L3713	公共政策	2	第2学期	第4ターム	金1,2	講義	田中 伸至	人社系（法）	34	04
35	関連		190L3504	特殊講義（法医学Ⅰ）	2	第1学期	第1・2ターム	水1	講義	高塚 尚和	医歯学系（院医歯（医））	34	04
36	関連		190L3505	特殊講義（法医学Ⅱ）	2	第2学期	第3・4ターム	水1	講義	高塚 尚和	医歯学系（院医歯（医））	34	04
37	関連		193L3506	ジェンダー論	2	第2学期	第3ターム	木1,2	講義	田巻 帝子	人社系（法）	34,35	03
38	関連		190L3507	社会学	2	集中講義			講義	鷹田 佳典	非常勤講師	34	03

■プログラムの名称 「政治学」

概 要	政治現象は多様性・多面性を持つため、理解しづらい側面があるが、政治現象は私たちの生き方と否応なく深く関わっている。従って、政治現象を総合的に理解し、また批判的にみる眼を養うことが重要であり、本副専攻はそのための能力を養うことを目的とする。		
ね ら い	政治学に関連する新聞記事に親しむと同時に、その問題点などを把握することができる。		
到達目標	1. 政治学の基本的概念や問題を理解する視点が習得できる。 2. 政治現象を批判的に分析できる。 3. 時代や地域に固有な政治現象を理解できる。	副 専 攻 委員会委員	○南島 和久 土屋 武
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「R1」の科目から、「1科目（2単位）」を修得していること。（選択必修）。 ・属性区分「R2」の科目を、すべて修得していること（必修科目）。 ・コア科目のうち、属性区分「A」の科目から「4科目（8単位）」以上を、属性区分「B」の科目から2科目（4単位）以上を修得していること（選択必修）。 ・ 法学部学生を除く。		
プログラムの紹介	政治現象は多様性・多面性を持っているため、これを理解するためには単に政治に直接関係する科目だけでなく、行政や政策、メディアなど様々な科目を学ぶ必要があります。 このため、本プログラムでは、政治学や政治史だけでなく、行政学や政策科学、都市政策や公共政策に関する科目から、ジェンダー論など幅広い分野の科目を用意しています。 また、人間は3人集まれば派閥が出来るというように、人々との活動は政治と切り離すことはできないものです。政治学の一分野にはスポーツの政治学というものもあるぐらいです。 政治現象は、時代によっても地域によっても異なるもので、これを理解するためには洞察力、批判力、読解力などの一定の素養と粘り強く学び続ける意欲が必要です。		

「政治学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R1：政治学一般の基礎を養うための選択必修科目／R2：専攻領域ごとに政治学の応用力を養うための必修科目

A：政治学系の基礎科目／B：政治学系の応用科目

※開講番号・授業科目名は、平成30年度以降入学者を対象としています。平成29年度以前入学者の開講番号・授業科目名は個別に問い合わせして下さい。

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	191G7039	人文社会科学入門（法学）	2	第1学期	第1ターム	水3,4	講義	上山 泰	人社系（法）	34	03
2	コア	R1	192G7040	リーガル・システム	2	第1学期	第2ターム	月4、木4	講義	土屋 武	人社系（法）	34	03
3	コア	R2		領域関連演習	2				演習			35	14
4	コア	A	193L3602	政治学Ⅰ（政治制度論）	2	第2学期	第3ターム	月4・木4	講義	兵藤 守男	人社系（法）	35	03
5	コア	A	194L3603	政治学Ⅱ（政治過程論）	2	第2学期	第4ターム	月4・木4	講義	兵藤 守男	人社系（法）	35	04
6	コア	A	192L3604	政治学Ⅲ（政治学原論基礎）	2	第2ターム	火	1・2	講義	兵藤 守男	人社系（法）	35	03
7	コア	A	192L3707	政策科学概論	2	第1学期	第2ターム	木3,4	講義	南島 和久	人社系（法）	35	03
8	コア	A	191L3709	行政学Ⅰ（総論）	2	第1学期	第1ターム	月1,2	講義	馬場 健	人社系（法）	35	03
9	コア	A	191L3710	行政学Ⅱ（各論）	2	第1学期	第1ターム	火1,2	講義	馬場 健	人社系（法）	35	04
10	コア	B	193L3605	日本政治外交史Ⅰ（政治史）	2	第2学期	第3ターム	火1,2	講義	稲吉 晃	人社系（法）	35	03
11	コア	B	191L3609	国際関係論	2	第1学期	第1ターム	水1,2	講義	神田 豊隆	人社系（法）	35	03
12	コア	B	193L3607	アジア政治外交史	2	第2学期	第3ターム	月1,2	講義	真水 康樹	人社系（法）	35	03
13	コア	B	休講	比較政治	2				講義			35	03
14	関連		194L3606	日本政治外交史Ⅱ（外交史）	2	第2学期	第4ターム	火1,2	講義	稲吉 晃	人社系（法）	35	03
15	関連		休講	領域関連特殊講義（日本現代政治史）	2				講義			35	03
16	関連		192L3610	国際政治史	2	第1学期	第2ターム	水1,2	講義	神田 豊隆	人社系（法）	35	03
17	関連		休講	自治体政策論	2				講義			34,35	04
18	関連		194L3711	領域関連特殊講義（政策評価論）	2	第2学期	第4ターム	木1,2	講義	南島 和久	人社系（法）	35	04
19	関連		194L3713	公共政策	2	第2学期	第4ターム	金1,2	講義	田中 伸至	人社系（法）	35	04
20	関連		192L3904	領域関連特殊講義（Politics in Contemporary Japan, Basic）	2	第1学期	第2ターム	木1,2	講義	神田 豊隆	人社系（法）	35	03
21	関連		191L3615	中国政治入門	2	第1学期	第1ターム	火3,4	講義	李 寒梅	人社系（法）	35	03
22	関連		192L3617	領域関連特殊講義（現代中国政治入門）	2	第1学期	第2ターム	火3,4	講義	李 寒梅	人社系（法）	35	03
23	関連		193L3506	ジェンダー論	2	第2学期	第3ターム	木1,2	講義	田巻 帝子	人社系（法）	34,35	03
24	関連		190L3507	社会学	2	集中	集中	集中	講義	鷹田 佳典	非常勤講師	38	03

■プログラムの名称「経済学」

概要	人類は、生誕と共に、生産と消費を中心とする経済活動をつづけてきた。人間生活の物的基礎をなすこの経済活動は、この間たんに高度化してきただけではない。その社会的あり方は、量的な変化を伴いながら構造的に、また国や地域ごとに個性を持って段階的に発展してきた。副専攻「経済学」では、このような経済について、その理論・歴史・政策・現状を体系的に学ぶことができる。		
ねらい	人間は、1人では生きてゆけない。ゆえに、相互に認め合い、助け合う関係が不可欠である。この副専攻科目では、そうした社会的人間関係を経済の領域から分析し、自己の社会的位置を明らかにすることを課題としている。		
到達目標	1. 経済学的考え方が説明できる。 2. 経済学の分析手法を利用できる。 3. 現代社会の課題を発見し、問題を経済学的に解明することができる。	副専攻 委員会委員	○山崎 剛志 溝口 由己 中田 豪
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・形式欄に「演習」とある科目は年度初めに選考を行う。なお、人数等により聴講できないこともある。 ・最終的な評価は、基礎的な「経済理論または経済の現状」等に関するレポートによっておこなう。 ・ 経済学部学生を除く。		
プログラムの紹介	日本経済新聞を読みこなすための経済知識を身につける。 就職の面接時には経済に関する時事問題を聞かれることが多いため、経済問題に関する理解を深めておくことは、就職活動の準備に他ならない。 我々は日本経済新聞やテレビの報道番組などを通して、世の中で起きている経済情報を得ている。しかしながら、経済現象を理解するには、経済の理論や制度、歴史などの基礎知識が必要不可欠である。グローバル化した現代において、経済現象は変化が速く、また、複雑化する傾向にある。最近の経済現象をみていると様々な疑問が湧いてくる。「ドル円などの為替レートはどのような要因で変動するのか」や「アメリカ経済の変化がどのような影響を世界経済に与えるのか」、「日本の財政赤字は維持可能か」など、例を挙げれば枚挙にいとまがない。次のようなフローを通じて、日本経済新聞を読みこなすだけでなく、経済問題に関して自ら分析して仮説を立てることも可能となる。 経済理論・政策・歴史・世界経済などを学ぶ ↓ 日経新聞を読みこなし、経済問題を理解する ↓ 自ら経済問題を分析して仮説を立てる 経済学を学ぶための分野・科目 経済学は大まかには、理論、政策、歴史、世界経済の4つの分野に分けることができる。本プログラムを通じて、次のような科目を学ぶことができる。それぞれの科目が相互に関連していることが多いため、経済学は学べば学ぶほど興味が湧いてくることは確かだ。 理論を学ぶ マクロ経済学 ミクロ経済学 ゲーム理論 社会経済学 政策を学ぶ 金融論 財政学 経済政策論 労働経済学 歴史を学ぶ 日本経済史 世界経済史 世界経済を学ぶ アメリカ経済論 アジア経済論 EU経済論 注) 上記の科目は副専攻「経済学」で学ぶことができる一部である。		

「経済学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9036	経済学への招待 【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	火・金・T	演習	山崎 剛志・他	人社系（経）	36	03
2	コア		190E1103	入門社会経済学	2	第1学期	第1,2ターム	水6	講義	石川 耕三	人社系（経）	36	03
3	コア	夜間	190E5005	入門社会経済学	2	第1学期	第1,2ターム	水6	講義	石川 耕三	人社系（経）	36	03
4	コア		193E1034	入門ミクロ経済学	2	第2学期	第3ターム	火4・金4	講義	濱田 弘潤	人社系（経）	36	03
5	コア	夜間	190E5003	入門ミクロ経済学	2	第1学期	第1,2ターム	金6	講義	山崎 剛志	人社系（経）	36	03
6	コア		190E1104	入門マクロ経済学	2	第1学期	第1,2ターム	月5	講義	中田 豪	人社系（経）	36	03
7	コア	夜間	190E5069	入門マクロ経済学	2	第2学期	第3,4ターム	月7	講義	内藤 雅一	人社系（経）	36	03
8	コア		191E1003	経済数学	2	第1学期	第1ターム	月3・木3	講義	高宮 浩司	人社系（経）	36,41	03
9	コア	夜間	190E5041	経済数学	2	第2学期	第3,4ターム	水6	講義	高宮 浩司	人社系（経）	36,41	03
10	コア		193E1177	統計入門Ⅰ	2	第2学期	第3ターム	月3・木3	講義	中東 雅樹	人社系（経）	41	03
11	コア		194E1178	統計入門Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	火3・金3	講義	中東 雅樹	人社系（経）	41	03
12	関連		190E1168	日本経済入門	2	第1学期	第1,2ターム	水5	講義	鷺見 英司	人社系（経）	36	03
13	関連		190E1101	情報処理概論Ⅰ	2	第1学期	第1,2ターム	火5	講義	永井 雅人	人社系（経）	36	04
14	関連		190E1175	情報処理概論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	火5	講義	永井 雅人	人社系（経）	36	04
15	関連		192E1020	ミクロ経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火3・金3	講義	山崎 剛志	人社系（経）	36	04
16	関連	夜間	190E5004	ミクロ経済学Ⅰ	2	第1学期	第1,2ターム	水7	講義	山崎 剛志	人社系（経）	36	04
17	関連		194E1054	ミクロ経済学Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	火3・金3	講義	山崎 剛志	人社系（経）	36	04
18	関連		193E1033	マクロ経済学Ⅰ	2	第2学期	第3ターム	月3・木3	講義	長谷川 雪子	人社系（経）	36	03
19	関連	夜間	190E5040	マクロ経済学Ⅰ	2	第2学期	第3,4ターム	金6	講義	長谷川 雪子	人社系（経）	36	03
20	関連		194E1063	マクロ経済学Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	月2・木2	講義	長谷川 雪子	人社系（経）	36	04
21	関連	夜間	190E5061	マクロ経済学Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	金7	講義	長谷川 雪子	人社系（経）	36	04
22	関連		休講	数理経済学（ゲーム理論）	2				講義			36	04
23	関連		191E1009	計量経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火2・金2	講義	伊藤 伸幸	人社系（経）	36	04
24	関連		193E1040	計量経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火2・金2	講義	伊藤 伸幸	人社系（経）	36	04
25	関連		193E1039	国際貿易論	2	第2学期	第3ターム	火3・金3	講義	内藤 雅一	人社系（経）	36	04
26	関連		191E1006	国際マクロ経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月3・木3	講義	中田 豪	人社系（経）	36	04
27	関連		192E1022	国際マクロ経済学Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	月3・木3	講義	中田 豪	人社系（経）	36	04
28	関連		192E1021	財政学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月2・木2	講義	根岸 睦人	人社系（経）	36	04
29	関連		193E1037	財政学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月2・木2	講義	根岸 睦人	人社系（経）	36	04
30	関連		192E1023	金融論Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火3・金3	講義	笠原 哲也	人社系（経）	36	04
31	関連		194E1053	金融論Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	火3・金3	講義	笠原 哲也	人社系（経）	36	04
32	関連		190E1167	環境経済システム論Ⅱ	2	第1学期	第1,2ターム	月4	講義	藤堂 史明	人社系（経）	36	04
33	関連	夜間	190E5016	環境経済システム論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	藤堂 史明	人社系（経）	36	04
34	関連		190E1258	労働経済学Ⅰ	2	集中			講義	北條 雅一	非常勤講師	36	04
35	関連		休講	労働経済学Ⅱ	2				講義			36	04
36	関連	夜間	休講	産業組織論Ⅰ	2				講義			36	04
37	関連	夜間	休講	産業組織論Ⅱ	2				講義			36	04
38	関連		休講	社会経済学原理Ⅰ	2				講義			36	04
39	関連		休講	社会経済学原理Ⅱ	2				講義			36	04
40	関連		191E1010	世界経済史Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月3,4	講義	左近 幸村	人社系（経）	36	04
41	関連		192E1025	世界経済史Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	月3,4	講義	左近 幸村	人社系（経）	36	04
42	関連		190E1241	日本経済史	2	第2学期	第3,4ターム	水2	講義	武藤 秀太郎	人社系（経）	36	04
43	関連		休講	アメリカ経済論Ⅰ	2				講義			36	04
44	関連		190E1243	アメリカ経済論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	木6	講義	大森 拓磨	人社系（経）	36	04
45	関連	夜間	190E5055	EU 経済論	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	藤田 憲	人社系（経）	36	04
46	関連		休講	アジア経済論Ⅰ	2				講義			36	04
47	関連		191E1011	アジア経済論Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	火1・金1	講義	溝口 由己	人社系（経）	36	04
48	関連	夜間	190E5056	ロシア経済論	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
49	関連		191E1012	比較経済体制論	2	第1学期	第1ターム	月3,4	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
50	関連		193E1042	開発途上国経済論	2	第2学期	第3ターム	火4,金4	講義	石川 耕三	人社系（経）	36	04
51	関連	夜間	190E5020	市場と組織の理論	2	第1学期	第1,2ターム	月6	講義	大屋 靖成	人社系（経）	36	04

■プログラムの名称 「電子・情報科学」

概要	私たちの暮らしは、多くの電気電子情報機器・システムによって支えられており、それらの光の部分として多くの利便性を受けている。その一方で、それらへの「過度の依存」や「過信」、さらには「拒絶反応」という影の部分も生じているため、それらの背後にある「科学技術」を正しく理解しておく必要がある。そこで本副専攻では、特に「電気・電子工学」、「情報工学」、「数理科学」に焦点を絞り、具体的な機器・システムと、その基礎となる物理・化学現象、数理モデルについて理解を深めるためのプログラムを提供する。		
ねらい	電気・電子工学、情報工学、数理科学の各分野の基礎知識を習得し、身近にある電気電子情報機器・システムの動作原理と特性について理解する。さらに、動作原理の基礎となっている物理・化学現象や様々な数理モデルについても理解を深め、機器・システムは「人間がその叡智によって自然現象を巧みに利用して作り上げたもの」であることを正しく理解する。		
到達目標	1. 抵抗、コンデンサ、コイルの電気的特性及びこれらの特性を利用した電気電子デバイス・装置の具体例について説明できる。 2. 温度計測のうち電気電子による方法について理解し、これの応用による環境制御技術について概要を説明できる。 3. フーリエ解析の観点から、周波数領域における信号の分析・合成法について概要を説明できる。 4. 暗号・符号などの具体的事例を基に、数理的デジタル処理の利点と応用について説明できる。 5. コンピュータとソフトウェアに関する基礎的な用語や概念を用い、情報処理システムの具体例について説明できる。	副専攻委員会委員	○三村 宣治 山家 清之 田中 環 大橋慎太郎 林 隆史
認定条件及び評価の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・当該学生の所属する学部が開講する科目（講義番号に「G」が付く科目を除く）のうち、副専攻科目としても認定する単位は最大「12単位」とする。 ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目から、必修科目「1単位」、属性区分「A」の科目と「B」の科目からそれぞれ「4単位」以上、合計「9単位」以上を修得していること。 ・必修科目「電子・情報科学」入門は、最初に履修することが望ましい。 ・同一科目名の授業を複数履修はできない。 *工学部福祉人間工学科の学生は、属性区分「C1」と「C2」の科目を履修できない。工学部電気電子工学科・情報工学科の学生は、属性区分「C2」の科目を履修できない。		
プログラムの紹介	私たちの日常生活を支える「電子・情報科学」技術を正しく理解しましょう 現代の生活に欠かせません 電気・電子 情報 数理科学 コンピュータ パソコン 携帯電話 家電への応用 福祉機器への応用 農業生産機械への応用 快適な生活の実現に役立ちます 豊かな高齢化社会の実現に役立ちます 食料の安全・安定供給に役立ちます これらの機器・システムに用いられている、電子デバイス、電子回路、信号の分析・解析、電子制御システム、デジタル信号処理、コンピュータソフトウェア、情報処理システムなどの基礎を学びます。 これらの基礎技術や機器動作の原理が分かれば、安心納得して、より良い使用ができます。		

「電子・情報科学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A：初級コア科目／B：中級コア科目／C：関連科目／C1：関連科目1／C2：関連科目2

*工学部福祉人間工学科の学生は、属性区分「C1」と「C2」の科目を聴講できない。

工学部電気電子工学科・情報工学科の学生は、属性区分「C2」の科目を聴講できない。

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9039	電子・情報科学入門 【入門科目】	1	第1学期	第1,2ターム	火H・T	演習	三村 宣治・他	自然科学系（工）	99	03
2	コア	A	190G6006	くらしと数理	2	第1学期	第1,2ターム	水4	講義	小島 秀雄・他	自然科学系（理）	41	03
3	コア	A	193A1040	食料環境工学	2	第2学期	第3ターム	火4,金4	講義	大橋 慎太郎	自然科学系（農）	65	03
4	コア	A	193T9201	電子情報通信概論	1	第2学期	第3ターム	木1	講義	崔 森悦・他	自然科学系（工）	51,10,49	13
5	コア	A	194T9202	知能情報システム概論	1	第2学期	第4ターム	木2	講義	青戸 等人・他	自然科学系（工）	10,49	13
6	コア	A	193T9501	人間支援感性科学概論	2	第2学期	第3ターム	月3,4	講義	前田 義信・他	自然科学系（工）	56,10,14	14
7	コア	B	194S7501	技術者倫理・自然環境関連法規	2	第2学期	第4ターム	月2,木2	講義	箕口 秀夫・他	自然科学系（農）	62,65	14
8	コア	B	191T8742	バイオメディカル・エンジニアリング	2	第1学期	第1ターム	火3,4	講義	飯島 淳彦	自然科学系（工）	56	24
9	コア	B	191T9001	総合工学概論	2	第1学期	第1ターム	木3,4	講義	小椋 一夫・他	自然科学系（工）	49	13
10	関連	B	193T9007	情報セキュリティ概論	1	第2学期	第3ターム	水2	講義	田邊 裕治	自然科学系（工）	49	13
11	関連	B	190T9004	技術者の心がまえ	2	第1学期	第2ターム	集中	講義	岡 徹雄	非常勤講師	49	13
12	関連	B	193T9005	知的財産概論	1	第2学期	第3ターム	水2	講義	宮田 敦久・他	地域創生推進機構	49	13
13	関連	C	192S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火5、金5	講義	田中 環	自然科学系（院自然）	10	03
14	関連	C	193S1506	プログラミング概論 A	1	第2学期	第3ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系（理）	10	03
15	関連	C	194S1512	プログラミング概論 B	1	第2学期	第4ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系（理）	10	03
16	関連	C	191T8309	電気回路 I	2	第1学期	第1ターム	月1、木1	講義	金 ミンソク	自然科学系（工）	51	04
17	関連	C	193T8311	電磁気学 I	2	第2学期	第3ターム	火1、金1	講義	清水 英彦	自然科学系（工）	51	04
18	関連	C	191T8438	データベース	2	第1学期	第1ターム	水3,4	講義	三河 賢治・他	情報基盤センター	10	04
19	関連	C	190T3015	自然言語処理	2	集中	集中	集中	講義	林 貴宏	非常勤講師	10	04
20	関連	C	194T8762	アシスティブ・テクノロジー	2	第2学期	第4ターム	水1・2	講義	今村 孝	自然科学系（工）	10	04
21	関連	C1*	193T8143	メカトロニクス	2	第2学期	第3ターム	月4、木4	講義	山縣 貴幸・他	自然科学系（工）	50	04
22	関連	C1*	194T8144	ロボット工学	2	第2学期	第4ターム	火2、金2	講義	平元 和彦・他	自然科学系（工）	50	04
23	関連	C2*	193T8133	システム制御 I	2	第2学期	第3ターム	火1、金1	講義	横山 誠	自然科学系（工）	50	04
24	関連	C2*	191T8603	基礎電磁気学	2	第1学期	第1ターム	月2、木2	講義	佐々木 進	自然科学系（工）	54	04
25	関連	C2*	休講	電磁気学応用・演習	2				講義			54	14
26	関連	C2*	休講	電気回路基礎論	2				講義			54	04
27	関連	C2*	192T8632	計測工学	2	第1学期	第2ターム	月3、木3	講義	坪井 望・他	自然科学系（工）	54	04
28	関連	C	194A1043	精密農業工学	2	第2学期	第4ターム	火3,4	講義	長谷川英夫	自然科学系（農）	65	03
29	関連	C	192A1039	食品・農業情報工学	2	第1学期	第2ターム	金3,4	講義	元永 佳孝	自然科学系（農）	65	13
30	関連	C	192A1052	流域環境 GIS	2	第1学期	第2ターム	月2,木2	講義	村上 拓彦・他	自然科学系（農）	62,65	03

■プログラムの名称「統合化学」

概要	世の中のものすべて「物質」から出来ており、「物質」の科学である「化学」はあらゆる自然科学の基礎とすることが出来る。しかも「化学」は地球環境・エネルギー繊維、プラスチック、セラミックスなどのあらゆる化学製品、食品、医薬品のみならず電気、通信、情報、自動車などありとあらゆる工業製品の製造に重要である。そこで本副専攻では化学を自然科学として広くとらえることのできる専攻を提供する。		
ねらい	所属部局で学ぶ「化学」を基礎とし、その他の多方面の「化学」に触れることにより、「化学」という学問をより発展的に理解し、応用することを習得する。また、「化学」の社会における役割を総合的に理解する。		
到達目標	1. 「化学」と言う学問を構成する各分野の基礎を学び、基礎的問題が解ける。 2. 「化学」の応用面を多方面の視点から学び、幾つかの分野の応用的問題が解ける。 3. 「化学」の社会における役割を考察し、説明できる。	副専攻 委員会委員	○山際 和明 湯川 靖彦 城 斗志夫
認定条件 及び評価 の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から「10単位」以上、関連科目から「10単位」以上を修得していること。		
プログラムの紹介	「化学」という学問は、すべてのサイエンスとテクノロジーの基礎であり中心です。この世の中は全て物質が支配しており、その物質の構造、変化、性質を研究するのが「化学」だからです。したがって「化学」は、理・工・農・医・薬の諸分野にわたって広く学ばれ、活躍しています。本プログラムでは、総合大学としての特徴を生かし、理・工・農各分野におけるエキスパートが、それぞれの得意とする専門分野を背景に「化学」を講じます。 「物質の構造と性質」を探究する理学系では、コア科目・関連科目は専門基礎として「化学」の各分野をカバーするように幅広く設定されています。「化学」を総合的に学ぶために、まず「化学基礎（A、B）」の内容を十分理解した上で、各専門科目を学ぶようになっていきます。基礎から専門まで、幅広く勉強出来ます。 モノ作りを主たる研究対象とする工学系は、「化学」の提供する「物質」が無ければ成り立ちません。また全ての分野が精密化しており、そのため分子レベルで物質を扱う「化学」の知識がますます必要になって来ています。機械系の加工技術は現在のところナノレベルですが、いずれオングストロームの分子レベルまで精密化されるでしょう。そのためには「化学」の力が必須です。電気系の電子材料には、すべてにおいて純度の極めて高い化学物質が使われています。講義を通じて工学系における「化学」の重要性の一端を理解していただける事と思います。 農学系における「化学」は、基礎、応用両面において最も生命現象に関連しています。生命体の中の化学物質の変化が生命活動を維持しているからです。生命活動は依然として未知や未解明の部分がぎわめて多く存在し、農学系の学生のみならず他分野の学生にとっても魅力ある世界を構成しています。他分野の皆さんも、この分野に触れてみませんか。		

「統合化学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9040	統合化学入門【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	月・木H・T	講義	山際 和明 他	自然科学系（院自然）	99	03
2	コア		192G5027	化学基礎 A	2	第1学期	第2ターム	火3、金3	講義	生駒 忠昭	自然科学系（理）	46	03
3	コア		191G5028	化学基礎 A	2	第1学期	第1ターム	月4、木4	講義	古川 貢	機器分析センター	46	03
4	コア		193G5520	化学基礎 A	2	第2学期	第3ターム	火4、金4	講義	丸山 健二	自然科学系（理）	46	03
5	コア		192G5029	化学基礎 B	2	第1学期	第2ターム	月4、木4	講義	大鳥 範和	自然科学系（理）	46	03
6	コア		191G5030	化学基礎 B	2	第1学期	第1ターム	火4、金4	講義	松岡 史郎	自然科学系（理）	46	03
7	コア		193G5521	化学基礎 B	2	第2学期	第3ターム	月1、木1	講義	湯川 靖彦	自然科学系（理）	46	03
8	コア		194G5522	化学基礎 B	2	第2学期	第4ターム	火4、金4	講義	梅林 泰宏	自然科学系（理）	46	03
9	コア		194S0561	分析化学 I	2	第2学期	第4ターム	月1、木1	講義	佐藤 敬一	自然科学系（理）	46	03
10	コア		191S3501	無機化学 II	2	第1学期	第1ターム	火2金2	講義	後藤 真一	自然科学系（院自然）	46	03
11	コア		194S0563	有機化学 I	2	第2学期	第4ターム	月2、木2	講義	長谷川 英悦	自然科学系（理）	46	03
12	コア		193S0564	化学熱力学	2	第2学期	第3ターム	月2、木2	講義	大鳥 範和	自然科学系（理）	46	03
13	コア		190S0565	生体分子化学 I	2	第1学期	第1,2ターム	火3	講義	古川 和広	自然科学系（理）	46	03
14	コア		193T9302	基礎有機化学	2	第2学期	第3ターム	月5、木5	講義	田中 孝明・他	自然科学系（工）	47	03
15	コア		194T9301	基礎無機化学	2	第2学期	第4ターム	月5、木5	講義	八木 政行・他	自然科学系（工）	47	03
16	コア		192T8503	基礎物理化学	2	第1学期	第2ターム	月2、木2	講義	木村 勇雄	自然科学系（工）	47	03
17	コア		休講	基礎高分子化学	2				講義			54	04
18	コア		193A1006	分析化学（農）	2	第2学期	第3ターム	月4・木4	講義	大竹 憲邦	自然科学系（農）	46	03
19	コア		休講	機器分析化学 I	2				講義			61.46	03
20	コア		休講	生物化学 I	2				講義			61.57	04
21	コア		191A1019	生物有機化学	2	第1学期	第1ターム	水1,2	講義	佐藤 努	自然科学系（農）	61.46	04
22	関連		193S3519	放射化学	2	第2学期	第3ターム	火2、金2	講義	後藤 真一	自然科学系（院自然）	46	04
23	関連		191S3502	有機化学 II	2	第1学期	第1ターム	月2、木2	講義	俣野 善博	自然科学系（理）	46	03
24	関連		191S3524	化学統計学 II	2	第1学期	第1ターム	火1、金1	講義	丸山 健二	自然科学系（理）	46	04
25	関連		191T8502	高分子化学概論	2	第1学期	第1ターム	火1、金1	講義	青木 俊樹	自然科学系（工）	47	04
26	関連		193T9303	化学工学基礎	2	第2学期	第3ターム	火2、金2	講義	清水 忠明	自然科学系（工）	55	04
27	関連		191T8508	反応工学 I	2	第1学期	第1ターム	水1,2	講義	田口 佳成	自然科学系（工）	55	04
28	関連		191T8501	化学プロセス概論	2	第1学期	第1ターム	月1、木1	講義	山際 和明	自然科学系（工）	55	04
29	関連		192T8509	拡散操作 I	2	第1学期	第2ターム	月1、木1	講義	山際 和明	自然科学系（工）	55	04
30	関連		191T8626	高分子材料化学	2	第1学期	第1ターム	火2、金2	講義	三俣 哲	自然科学系（工）	54	04
31	関連		194T8624	光化学	2	第2学期	第4ターム	水1,2	講義	由井 樹人	自然科学系（工）	54	04
32	関連		192T8623	電気化学	2	第1学期	第2ターム	月4、木4	講義	八木 政行・他	自然科学系（工）	54	14
33	関連		192T8630	生物材料工学	2	第1学期	第2ターム	月2、木2	講義	田中 孝明	自然科学系（工）	54	04
34	関連		192A1078	栄養生化学	2	第1学期	第2ターム	火2・金2	講義	藤村 忍	自然科学系（農）	61	05
35	関連		休講	生物機能物質化学	2				講義			61	05
36	関連		193A1020	肥料学	2	第2学期	第3ターム	水1,2	講義	末吉 邦	自然科学系（農 FC）	61	04

■プログラムの名称「医学物理学基礎」

概要	現代の医療はX線CT、MRI、画像誘導放射線治療装置等の物理学を応用して開発された多くの先端技術に支えられており、これら先端技術の役割は益々大きくなってきている。医学物理学は基礎科学である物理学を積極的に医療に生かし、医療の発展に貢献することを目的とする学問分野であり、その専門家である医学物理士は専門知識や技術を生かして医療の現場で診断・治療装置に関する情報を科学的見地から総合的に判断し、適切に医療に反映させる役割を持っている。本副専攻は、放射線治療分野の医学物理士を目指す学生や医学物理学領域の研究開発に関心を持つ学生が、医学物理学の基礎を学ぶためのプログラムである。		
ねらい	将来、医学物理士を目指す学生や、医学物理領域の研究開発分野での活躍を志す学生にとって必要な基礎知識・能力の習得を目的とする。具体的には、医学物理士に要求される能力（数式及び数値処理能力、物理的現象を利用して機械装置を正しく操作する能力、実験や計算結果を正しく分析し判断する能力、論理的思考能力等）を育成する。このために、医学領域の学生にとっては科学的思考能力を培うことができ、また理工学系学生にとっては医学物理領域の基礎的知識を修得できるカリキュラムを構成する。なお、医学物理学分野の大学院への接続を意識した履修科目を配置しており、本プログラムの履修を通して学生諸君が研究・開発能力を身に付け、医学物理学の基礎知識を修得し、より高度な医学物理学領域の専門へ円滑に展開できることを意図している。		
到達目標	1. 物理現象を理解し、探究又は応用するための基礎物理学的思考ができる。 2. 放射線物理、放射線診断物理、核医学及び放射線治療学の医学物理の基礎を理解できる。 3. 医学物理学分野の大学院へ進むために必要な基礎学力を身に付ける。	副専攻委員会委員	○大坪 隆 宮田 英史 青山 龍太 笹本 岳英 早川 啓廣 成田 洋右 遊佐 悟 宇都宮 卓司 泉川
認定条件及び評価の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件】 ・理学部物理学プログラム学生は、コア科目A1は共通認定条件の24単位には含めず、A2、A3、B2、C2から12単位以上を修得すること。 ・放射線技術科学専攻学生は、コア科目A2は共通認定条件の24単位には含めず、A1、B1、C1から12単位以上を修得すること。 ・理学部物理学プログラム学生以外の理工系学生は、コア科目A1から6単位以上、A2、A3からそれぞれ1科目以上合計6単位以上を修得すること。 ・放射線技術科学専攻以外の医歯学系学生は、コア科目A3は副専攻科目の単位には含めない。またA1から6単位以上、A2から6単位以上を修得すること。 ・原則として自然科学系学生、医歯学系学生を対象とした副専攻プログラムである。		
プログラムの紹介	本副専攻「医学物理学基礎」は、放射線などの物理現象を診断・治療の医療に応用する分野として発展してきた「医学物理学」の学問領域への導入を図り、医学物理学分野の大学院への接続を考慮したプログラムです。近年、特にがん治療における放射線治療の役割は増大し、その放射線治療の適切な実施のための専門医療職者として、医学物理士が注目されています。治療分野の医学物理士の業務は、放射線治療計画に用いられるビームデータ測定・管理や、線量分布の最適化、治療装置・関連機器の性能保証、治療精度検証、そして研究開発、教育、患者に対する医学物理的質問への対応などです。 我が国においては、医学物理士の社会的認知度はまだまだ十分ではありませんが、文部科学省のがんプロフェッショナル養成基盤推進プランの中でも、がん医療の専門家として治療分野医学物理士養成が課題の一つになっています。 本プログラムは医学物理学分野の大学院への接続を視野に入れ、学部レベルにおいて医学物理の基礎を学ぶプログラムです。 また、本プログラムにおける専門科目履修には、五十嵐キャンパス（理学部物理学科）と旭町キャンパス（医学部保健学科）をインターネット回線で結んだ遠隔授業システムを使用した授業を実施致します。なお、遠隔授業システムの受講の際には入門科目「医学物理学入門」の受講を条件とします。 医学物理士の位置づけ 遠隔授業システム 放射線治療計画装置を用いた肺がん定位照射治療計画の例 高エネルギー放射線治療装置（リニアック）と水ファントムを用いたビームデータ測定		

「医学物理学基礎」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A1：コア科目（基礎物理）／A2：コア科目（放射線技術）／A3：コア科目（基礎医学）

B1：関連科目（物理）／B2：関連科目（放射線技術）／C1：展開科目（物理）／C2：展開科目（放射線技術）

遠隔授業 五十嵐キャンパス（理学部物理学プログラム）と旭町キャンパス（医学部保健学科）をインターネット回線で結んだ遠隔授業システムです。

○：遠隔授業システムによる聴講が可能／×：遠隔授業システムによる聴講は不可／△：遠隔システムによる聴講は困難（要確認）

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準	遠隔授業	キャンパス	
1	コア	R	190Q9043	医学物理学入門【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	水金H・T	講義	大坪 隆 笹本 龍太・他	自然科学系（理） 医歯学系（医（保健））	99	03	○	五十嵐
2	コア	A1	191G5017	物理学基礎 A I a	2	第1学期	第1ターム	月2、木2	講義	大野 義章	自然科学系（理）	43	03	×	五十嵐
3		192G5018	物理学基礎 A I b	第2ターム			月5、木5	浅賀 岳彦		自然科学系（理）					
4	コア	A1	190G5512	物理学基礎 A II	2	第2学期	第3,4ターム	水3	講義	奥西 巧一	自然科学系（理）	43	03	×	五十嵐
5	コア	A1	193G5517	物理学基礎 C3	1	第2学期	第3ターム	火1	講義	大坪 隆	自然科学系（理）	43	03	×	五十嵐
6	コア	A1	194G5518	物理学基礎 C4	1	第2学期	第4ターム	火1	講義	大坪 隆	自然科学系（理）	43	03	×	五十嵐
7	コア	A1	190G6009	物理学基礎実験	2	第1学期	第1,2ターム	水3,4	実験	小林 公一・他	医歯学系（医（保健））	43	03	×	五十嵐
8	コア	A1	194S0560	基礎ベクトル解析	2	第2学期	第4ターム	火2、金2	講義	根本 祐一	自然科学系（院自然）	43	03	×	五十嵐
9	コア	A1	190S0558	解析力学	2	第1学期	第1,2ターム	火4	講義	江尻 信司	自然科学系（理）	43	04	△	五十嵐
10	コア	A1	191S2507	電磁気学 I A	1	第1学期	第1ターム	月4	講義	西 亮一	自然科学系（院自然）	43	04	○	五十嵐
11	コア	A1	192S2508	電磁気学 I B	1	第1学期	第2ターム	月4	講義	西 亮一	自然科学系（院自然）	43	04	○	五十嵐
12	コア	A1	193S2509	電磁気学 II A	1	第2学期	第3ターム	月5	講義	大原 謙一	自然科学系（院自然）	43	04	○	五十嵐
13	コア	A1	194S2510	電磁気学 II B	1	第2学期	第4ターム	月5	講義	大原 謙一	自然科学系（院自然）	43	04	○	五十嵐
14	コア	A1	191S2517	振動論と微分方程式	2	第1学期	第1ターム	火2、金2	講義	早坂 圭司	自然科学系（理）	43	04	△	五十嵐
15	コア	A1	192S2518	複素解析	2	第1学期	第2ターム	火2、金2	講義	大原 謙一	自然科学系（院自然）	43	04	○	五十嵐
16	コア	A1	193S2520	熱力学 A	1	第2学期	第3ターム	木1	講義	摂待 力生	自然科学系（理）	43	03	○	五十嵐
17	コア	A1	194S2521	熱力学 B	1	第2学期	第4ターム	木1	講義	摂待 力生	自然科学系（理）	43	03	○	五十嵐
18	コア	A1	193S2515	量子力学序論 A	1	第2学期	第3ターム	月4	講義	小池 裕司	自然科学系（理）	43	03	○	五十嵐
19	コア	A1	194S2516	量子力学序論 B	1	第2学期	第4ターム	月4	講義	小池 裕司	自然科学系（理）	43	03	○	五十嵐
20	コア	A1	190S2001	量子力学 I	2	第1学期	第1,2ターム	木2	講義	松尾 正之	自然科学系（理）	43	04	○	五十嵐
21	コア	A1	190S2005	統計力学 I	2	第1学期	第1,2ターム	月3	講義	奥西 巧一	自然科学系（理）	43	04	○	五十嵐
22	コア	A2	190M5310	放射線物理学 I	1	第1学期	第1・2ターム	木3	講義	齋藤 正敏	医歯学系（医（保健））	43	24	○	旭町
23	コア	A2	190M5311	放射線物理学 I 演習	1	第2学期	第3・4ターム	木3	演習	齋藤 正敏	医歯学系（医（保健））	43	24	○	旭町
24	コア	A2	190M5313	放射線計測学 I 及び演習	1	第2学期	第3・4ターム	月3	演習	齋藤 正敏	医歯学系（医（保健））	43	24	○	旭町
25	コア	A2	190M5314	放射線計測学 II	2	第1学期	第1・2ターム	月3	講義	齋藤 正敏	医歯学系（医（保健））	43	24	○	旭町
26	コア	A2	190M5318	放射線生物学及び演習	1	第1学期	第1・2ターム	月3	演習	笹本 龍太	医歯学系（医（保健））	57	24	△	旭町
27	コア	A2	190M5324	放射線機器工学 I	2	第2学期	第3・4ターム	火2	講義	大久保 真樹	医歯学系（医（保健））	87	24	△	旭町
28	コア	A2	190M5325	放射線機器工学 II	2	第1学期	第1・2ターム	金2	講義	大久保 真樹	医歯学系（医（保健））	87	24	△	旭町
29	コア	A2	190M5328	医用機器工学及び演習	1	第1学期	第1・2ターム	月2	演習	大久保 真樹	医歯学系（医（保健））	87	24	△	旭町
30	コア	A2	190M5343	医用画像工学	2	第2学期	第3・4ターム	火3	講義	李 鎬範	医歯学系（医（保健））	87	24	○	旭町
31	コア	A2	190M5349	核医学検査技術学 I	2	第2学期	第3・4ターム	水2	講義	山崎 芳裕	医歯学系（医（保健））	87	24	○	旭町
32	コア	A2	190M5351	核医学検査技術学Ⅲ	2	第2学期	第3・4ターム	金2	講義	成田 啓廣	医歯学系（医（保健））	87	24	○	旭町
33	コア	A2	190M5354	放射線治療技術学 I	2	第2学期	第3・4ターム	金1	講義	笹本 龍太	医歯学系（医（保健））	87	24	○	旭町
34	コア	A2	190M5355	放射線治療技術学Ⅱ	2	第1学期	第1・2ターム	金1	講義	早川 岳英	医歯学系（医（保健））	87	24	○	旭町
35	コア	A2	190M5356	放射線治療技術学Ⅲ	2	第2学期	第3・4ターム	月2	講義	笹本 龍太	医歯学系（医（保健））	87	24	○	旭町
36	コア	A3	190M5001	人体の構造と機能 I	2	第1学期	第1・2ターム	月2	講義	目黒 玲子・他	医歯学系（医（保健））	80	23	×	五十嵐
37	コア	A3	190M5002	人体の構造と機能Ⅱ	2	第2学期	第3・4ターム	月5	講義	小山 諭・他	医歯学系（医（保健））	80	23	×	五十嵐
38	コア	A3	190M5009	疾病の原因と成り立ち（放射）	2	第1学期	第1・2ターム	火3	講義	岩淵 三哉	医歯学系（医（保健））	80	23	△	旭町
39	関連	B1	191G5003	数学基礎 A1	1	第1学期	第1ターム	水1	講義	山田 修司	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
40	関連	B1	191G5005			第1学期	第1ターム	水1	講義	鈴木 有祐	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
41	関連	B1	193G5501	数学基礎 A2	1	第2学期	第3ターム	水3	講義	劉 雪峰	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
42	関連	B1	193G5503			第2学期	第3ターム	金5	講義	應和 宏樹	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
43	関連	B1	192G5004	数学基礎 B1	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	山田 修司	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
44	関連	B1	192G5006			第1学期	第2ターム	水1	講義	鈴木 有祐	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
45	関連	B1	194G5502	数学基礎 B2	1	第2学期	第4ターム	水3	講義	劉 雪峰	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
46	関連	B1	194G5504			第2学期	第4ターム	金5	講義	應和 宏樹	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
47	関連	B1	191G5007	数学基礎 B2	1	第1学期	第1ターム	水4	講義	星 明考	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
48	関連	B1	191G5009			第1学期	第1ターム	水3	講義	小島 秀雄	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
49	関連	B1	193G5505	数学基礎 B2	1	第2学期	第3ターム	水2	講義	田中 環	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
50	関連	B1	192G5008			第1学期	第2ターム	水4	講義	星 明考	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
51	関連	B1	192G5010	数学基礎 B2	1	第1学期	第2ターム	水3	講義	小島 秀雄	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
52	関連	B1	194G5506			第2学期	第4ターム	水2	講義	田中 環	自然科学系（理）	41	03	×	五十嵐
53	関連	B1	191G6007	極微の世界	2	第1学期	第1ターム	月2、木2	講義	宮田 等	自然科学系（理）	43	03	×	五十嵐
54	関連	B1	191S2511	物理学演習 A	1	第1学期	第1ターム	水2	演習	根本 祐一	自然科学系（院自然）	43	14	×	五十嵐
55	関連	B1	192S2512	物理学演習 B	1	第1学期	第2ターム	水2	演習	根本 祐一	自然科学系（院自然）	43	14	×	五十嵐
56	関連	B1	193S2513	物理学演習 C	1	第2学期	第3ターム	水2	演習	関澤一之	自然科学系（理）	43	14	×	五十嵐
57	関連	B1	194S2514	物理学演習 D	1	第2学期	第4ターム	水2	演習	関澤一之	自然科学系（理）	43	14	×	五十嵐
58	関連	B1	191S2526	電気力学 A	1	第1学期	第1ターム	金4	講義	西 亮一	自然科学系（院自然）	43	04	△	五十嵐
59	関連	B1	192S2527	電気力学 B	1	第1学期	第2ターム	金4	講義	西 亮一	自然科学系（院自然）	43	04	△	五十嵐
60	関連	B1	193S2528	エレクトロニクス A	1	第2学期	第3ターム	月4	講義	宮田 等	自然科学系（理）	43	04	×	五十嵐
61	関連	B1	194S2529	エレクトロニクス B	1	第2学期	第4ターム	月4	講義	宮田 等	自然科学系（理）	43	04	×	五十嵐
62	関連	B1	191S2530	特殊相対論 A	1	第1学期	第1ターム	水1	講義	中野 博章	自然科学系（理）	43	04	○	五十嵐
63	関連	B1	192S2531	特殊相対論 B	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	中野 博章	自然科学系（理）	43	04	○	五十嵐
64	関連	B1	190S2011	計測学	2	集中	集中	集中	講義	大坪 隆	自然科学系（理）	43	04	×	五十嵐
65	関連	B2	190G8005	医療と放射線	2	第1学期	第1,2ターム	火5	講義	山崎 芳裕・他	医歯学系（医（保健））	87	03	×	五十嵐
66	関連	B2	190G8505	医療と画像技術	2	第2学期	第3,4ターム	火4	講義	高橋 直也・他	医歯学系（医（保健））	87	03	×	五十嵐
67	関連	B2	193M5362	医用放射線技術の歴史	1	第2学期	第3ターム	火5	講義	宇都宮 悟	医歯学系（医（保健））	87	04	×	五十嵐
68	関連	C1	193S2519	波動とフーリエ解析	2	第2学期	第3ターム	月3、金3	講義	吉森 明	自然科学系（理）	43	04	○	五十嵐
69	関連	C1	193S2534	量子力学Ⅱ A	2	第2学期	第3ターム	火2、金2	講義	藤原 岳彦	自然科学系（理）	43	04	×	五十嵐
70	関連	C1	193S2540	統計力学Ⅱ A	2	第2学期	第3ターム	月1,2	講義	大野 義章	自然科学系（理）	43	04	×	五十嵐
72	関連	C1	194S2535	量子力学Ⅱ B	2	第2学期	第4ターム	火2、金2	講義	藤原 岳彦	自然科学系（理）	43	04	×	五十嵐
74	関連	C1	194S2541	統計力学Ⅱ B	2	第2学期	第4ターム	月1,2	講義	大野 義章	自然科学系（理）	43	04	×	五十嵐
75	関連	C1	190S2549	原子核物理学	2	第1学期	第1,2ターム	水2	講義	松尾 正之	自然科学系（理）	43	05	×	五十嵐
76	関連	C2	190M5305	電子工学演習	1	第2学期	第3・4ターム	月4	演習	小林 公一	医歯学系（医（保健））	86	24	×	旭町
77	関連	C2	190M5306	電子・システム工学実験	1	第1学期	第1・2ターム	金3,4	実験	坂本 信	医歯学系（医（保健））	86	24	×	旭町
78	関連	C2	190M5312	放射線物理学Ⅱ及び演習	1	第2学期	第3・4ターム	火3	演習	齋藤 正敏	医歯学系（医（保健））	86	24	×	旭町
79	関連	C2	192M5323	放射性廃棄物処理法	2	第1学期	第2ターム	集中	講義	近藤 達也	医歯学系（医（保健））	80	24	×	旭町
80	関連	C2	191M5341	超音波技術学	1	第1学期	第1ターム	金3	講義	高橋 直也	医歯学系（医（保健））	86	24	×	旭町
81	関連	C2	193M5347	医用画像処理工学演習	1	第2学期	第3ターム	水4,5	演習	李 鎬範	医歯学系（医（保健））	86	24	×	旭町
82	関連	C2	194M5348	医用情報システム概論	1	第2学期	第4ターム	水3	講義	李 鎬範	医歯学系（医（保健））	86	24	×	旭町
83	関連	C2	190M5357	放射線治療学演習	1	第2学期	第3・4ターム	木1	演習	早川 岳英	医歯学系（医（保健））	87	14	×	旭町
84	関連	C2	190M5358	放射線治療計画法演習	1	第1学期	第1・2ターム	金4	演習	笹本 龍太	医歯学系（医（保健））	81	05	×	旭町

■プログラムの名称 「文化財学」

概 要	近年、文化財・文化遺産については、人文科学系の知識のほかに、その分析・保存・活用に自然科学系の知識が要求されている。 また、保存においては法的整備も望まれている。 ここでは、文化財学の初歩から応用にわたって構成されている人文学部開設科目と自然系学部開設科目を活用し、文理融合による学際的な文化財科学の理解と知識を高めるプログラムを提供する。		
ね ら い	文化財保存・保護に関する基礎的事項を理解し、博物館学芸員などの文化財に関わる専門職に必要な知識や技術について学ぶ。		
到達目標	1. 文化財についての総合的な理解を図り、その保存・活用の方策を考えることができる。 2. 博物館学芸員に必要な、基本的かつ専門的知識・技能をふまえて、文化財の保存・活用に関わる作業をすることができる。 3. 博物館の意義・業務に関して基本的な説明をすることができる。 4. 文化財保護全般に対して基本的な説明をすることができる。	副 専 攻 委員会委員	○飯島 康夫 加賀谷真梨 清水 香
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目（属性区分「R」）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目、関連科目にかかわらず、属性区分「A」、「B」の科目から、それぞれ「1科目」以上を修得していること。 ・最終年次に、所定のレポートを提出して合格すること。		
プログラムの紹介	本プログラムを受講することによって、博物館資料や埋蔵文化財など、あらゆる文化財に関わる専門職としての知識や技術について理解を深めることができる。また、博物館学芸員や埋蔵文化財担当者による講義で、現場での経験に基づく文化財の「実際」について具体的な内容を知ることが、文化財に関連する専門職を目指す学生にとって、貴重な機会となる。 現在、文化財は保存と活用という課題に対して、様々な学問分野による調査・研究および展示・公開による活用が進められており、さらに地域の人々および社会の歴史を復元する手がかりとして後世に継承していくことが文化財に関わる人々の役割となっている。文化財に対して適切な保存・活用の計画を立て、それを長期間にわたって実行するためには、地域住民はもとより、国民全体に文化財のあり方やその重要性を周知し、理解を得ることが必要となる。 本プログラムは、人類の様々な歴史と深く関わっており、文化財をとらえて人間の歴史を学ぶことができることから、文化財に関わる職業を目指す学生はもとより、それ以外の学生にとっても生きていくうえで重要な知識となることが期待できる。		

「文化財学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A：人文科学系科目／B：自然科学系科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9012	文化財学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	月H・T	演習	飯島 康夫・他	人社系（人）	16	03
2	コア	R	190Q0013	文化財保存科学	2	第1学期	集中講義		実習	（非）武田・水本	非常勤講師	16	04
3	コア	R	190Q0014	文化財科学	2	第1学期	集中講義		講義	（非）畑山・阿部	非常勤講師	16	04
4	コア	R	190Q0015	文化財保護と史跡整備	2	第1学期	集中講義		講義	（非）荒川・相田	非常勤講師	16	04
5	コア	A	190H5141	博物館概論	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	加賀谷 真梨	人社系（人）	17	03
6	コア	A	190H5430	博物館経営論	2	第2学期	第3・4ターム	水1	講義	飯島 康夫	人社系（人）	17	04
7	コア	A	190H5426	博物館資料論	2	第1学期	第1・2ターム	月1	講義	小野 博史	非常勤講師	17	04
8	コア	A	190H5429	博物館資料保存論	2	第2学期	第3・4ターム	月5	講義	加賀谷 真梨	人社系（人）	17	04
9	コア	A	休講	考古学概説 A	2				講義			31	03
10	コア	A	190H5135	考古学概説 B	2	第2学期	第3・4ターム	木4	講義	白石 典之	人社系（人）	31	03
11	コア	A	休講	日本原始社会論 A	2				講義			31	04
12	コア	A	190H5420	日本原始社会論 B	2	集中			講義	小畑 弘己		31	04
13	コア	A	190H5421	日本文化起源論 A	2	第1学期	第1・2ターム	金4	講義	森 貴教	研究推進機構超域学院	31	04
14	コア	A	休講	日本文化起源論 B	2				講義			31	04
15	コア	A	191H5138	民俗学概説 A	2	第1学期	第1ターム	火3,4	講義	飯島 康夫	人社系（人）	33	03
16	コア	A	193H5139	民俗学概説 B	2	第2学期	第3ターム	火3,4	講義	飯島 康夫	人社系（人）	33	03
17	コア	A	190K1809	日本・東洋美術史	2	第2学期	第3,4ターム	木4	講義	大倉 宏	非常勤講師	13	04
18	コア	A	190H5162	古文書学概説 B	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	原 直史	人社系（人）	31	03
19	コア	A	190H5428	ミュージアム論	2	第2学期	第3・4ターム	水3	講義	加賀谷 真梨	人社系（人）	17	04
20	コア	B	191T9439	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火4,金4	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	04
21	コア	B	191T9434	都市デザイン論	2	第1学期	第1ターム	火4,金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	53	04
22	関連	A	190H5425	日本芸能文化論 A	2	第1学期	第1・2ターム	月1	講義	中本 真人	人社系（人）	31	14
23	関連	A	休講	日本芸能文化論 B	2				講義			31	04
24	関連	A	休講	文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅱ	2				講義			75	03
25	関連	A	休講	文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅳ	2				講義			75	03
26	関連	A	190H5184	日本語文化実習 C	1	第1学期	第1・2ターム	水2	実習	高橋 早苗	人社系	29	13
27	関連	A	190H5185	日本語文化実習 D	1	第2学期	第3・4ターム	水2	実習	廣部 俊也	人社系（人）	29	13
28	関連	A	190K8608	西洋美術の伝統と現代	2	第1学期	第1,2ターム	火2	講義	田中 咲子	人社系（教）	13	04
29	関連	A	190K1857	美術史概論	3	第1学期	第1,2ターム	火2	講義	田中 咲子	人社系（教）	13	04
30	関連	A	190K1810	西洋美術史	2	第1学期	第1,2ターム	火2	講義	田中 咲子	人社系（教）	13	04
31	関連	A	190K8607	日本・東洋美術の展開	2	第2学期	第3,4ターム	木4	講義	大倉 宏	非常勤講師	13	04
32	関連	A	190E5067	文化経済学	2	第2学期	第3,4ターム	火7	講義	澤村 明	人社系（経）	36	04
33	関連	B	193G6521	地学 E（地球理解の諸相）	1	第2学期	第3ターム	火4	講義	栗田 裕司	自然科学系（理）	44	03
34	関連	B	192T9432	都市計画学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火4,金4	講義	岡崎 篤行	自然系（工）	53	03
35	関連	B	194T9433	都市計画学Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	火4,金4	講義	岡崎 篤行	自然系（工）	53	04

■プログラムの名称 「国際教養」

概要	本副専攻は、海外留学に関心のある学生に対して、海外留学の意義と具体的な方法についての知識、日常会話及び専門講義への橋渡しとしての外国語コミュニケーション能力、我が国と諸外国の文化についての知識とそれらを尊重しようとする態度を育成する授業を提供する。 グローバル化の進展に伴い、国際的に活躍できる人材の育成が求められている。この有効な手段として考えられるのが海外留学であるが、その意義や方法について学べる場は極めて限られている。また、海外留学は我が国の文化を見直し我が国とは異なる文化に刺激を受けると共に、それらを尊重する態度を養うことができる場と考えられるが、事前にこうした知識を学ぶカリキュラムが必要である。事後においては振り返りが必要であり、レポートの提出と報告会への参加で振り返りを行う。本副専攻はこうした内容について体系的に学ぶことができる。		
ねらい	社会のグローバル化の進展により、海外で働く機会が増えるだけでなく、日本や新潟においても多様な文化や社会背景をもつ人々と一緒に働く時代が到来することが予想される。そのような時代背景の下、大学時代に留学して、グローバル化された社会で活躍できる人材になることが必要になってきた。本副専攻を履修することを通して、その海外留学をより充実したものとするのが本副専攻のねらいである。具体的には、①海外留学の意義や、危機管理を含む具体的な留学の方法について理解することができる。②留学先において外国語で日常会話したり、専門の講義を聴講し理解したりするための基礎的な外国語によるコミュニケーション能力を身につける。③事後の振り返りのためのレポートの提出と報告会への参加を通じて留学による学習成果を深める。これらを通じて、異文化を尊重し理解するための基礎的教養として、我が国の文化及び諸外国・地域の多様な文化についての知識を得る。		
到達目標	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="279 927 1125 1142"> - 海外留学の意義と方法について理解する。 - 日常会話レベル及び現地の大学の講義に参加するのに必要な外国語運用能力を身につける。 - 我が国の文化を理解する。 - 諸外国・地域の文化を理解する。 </td><td data-bbox="1125 927 1444 1142"> 副専攻 委員会委員 ○高橋 秀樹 真水 康樹 </td></tr> </table>	- 海外留学の意義と方法について理解する。 - 日常会話レベル及び現地の大学の講義に参加するのに必要な外国語運用能力を身につける。 - 我が国の文化を理解する。 - 諸外国・地域の文化を理解する。	副専攻 委員会委員 ○高橋 秀樹 真水 康樹
- 海外留学の意義と方法について理解する。 - 日常会話レベル及び現地の大学の講義に参加するのに必要な外国語運用能力を身につける。 - 我が国の文化を理解する。 - 諸外国・地域の文化を理解する。	副専攻 委員会委員 ○高橋 秀樹 真水 康樹		
認定条件及び評価の方法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 【各プログラム独自の認定条件等】 対象となる学生 ・本学の全学部の学生が対象 修得すべき科目の条件 ・属性区分「R」から2単位を修得すること。このうち本副専攻プログラムの「入門科目」は「国際教養入門」とし、第3年次末までに修得すること。 ・属性区分「A1」から「2単位」以上を修得すること。 ・属性区分「A2」科目の外国語科目から「6単位」以上習得していること。（卒業要件外国語単位でも可） ・コア科目である属性区分「B1」科目のジャパノロジー科目から「6単位」以上、同じくコア科目である属性区分「C1」科目の国際教養科目から「4単位」以上を修得すること。ただし、次ページの表の備考欄に特に示した同じ名称の科目の聴講科目数は1科目に限る。 ・最終年次に、所定のレポートの提出及び報告会への参加をすること。		

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

プログラムの紹介

グローバル化なんて関係ない？！

グローバル化の進展により、多様な文化や社会的背景をもつ人々と協働しながら活動することが求められています。このことは、海外で働く機会が増えるといったことには限りません。日本や新潟に多様な文化や社会背景をもつ人々が訪れたり、一緒に働いたりする時代が到来しているということです。既に「自分は海外に行ったり、働いたりしないから、グローバル化なんて関係ない」という時代は過ぎ去ったのです。

旅行の準備は入念に、海外留学の準備はもっと入念に！

大学時代は、グローバル化に対応するための経験を積むためには最適な時期と言えます。じっくりと物事に取り組める十分な時間があるということもありますが、多感なこの時期に海外で学ぶ同年代の学生と交流して刺激を受けたり、文化や社会の違いに目を見開いたりすることは今でしかできないことだからです。一生つきあえる友達を見つけることも、留学の大きなメリットです。

一方、単に海外に留学すれば有意義な経験を積めるものではありません。海外留学した先達の多くが、「海外に行って、自分が日本について無知であったことに初めて気がついた」「目に入るもの全てが新鮮で、確かに刺激にはなったが圧倒されるばかりだった」「海外に出る前に、日本のことやその国の社会・文化についてもっと勉強しておくべきだった」といった反省を残しています。皆さんも、入念に旅行の準備をするときに「楽しい！」と感じ、準備のおかげで旅行が充実した経験があるでしょう。この副専攻は、留学という旅行のための準備の場を提供します。具体的には、留学の基礎的な知識（入門科目）、海外での経験を充実させるためのコミュニケーション能力（外国語科目）、日本についての知識（ジャパノロジー科目）、多様な文化や社会背景についての知識（国際教養科目）を体系的に学ぶことができ、海外での経験を充実させる知識や能力を培う副専攻です。

「はじめの一歩」を支えます！

この副専攻の中でも特にお勧めなのは、2つの入門科目です。留学経験者が講師となり、留学経験者や新潟大学で学ぶ留学生と交流したり、具体的な留学先の国の情報を得ることができます。この他にも各種奨学金の情報、留学先での単位の取得に関する情報など、この入門科目を聴講するだけで一通り体系的に学ぶことができます。「今すぐ海外留学をするつもりはないけど、いずれは必要になるかもしれない」「試しにちょっとだけ聞いてみようかな」「副専攻の取得までは難しそうだけど、入門科目だけでも聞いてみようかな」とお考えの皆さんは堅苦しく考えず、是非どうぞ！！。私たち担当教員は海外への「はじめの一歩」を支えたいとお待ちしています。きっと、その「はじめの一歩」を踏み出した先に、とてもステキな世界が広がっていますよ！



国際教養プログラムの授業科目リストは次頁にあります

「国際教養」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**渡航前に必ず**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性欄 R：入門科目／必修科目／A：海外研修・外国語科目／A1：海外研修／A2：外国語科目

B：ジャパノロジー科目／B1：基盤的科目／B2：発展的科目／C：国際教養科目／C1：基盤的科目／C2：発展的科目

(※) については、それぞれ同一名称の科目の重複履修はできません。

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	190Q9044	国際教養入門「入門科目」	1	第2学期	第3ターム	水・金HT	講義	高橋 秀樹	人社系（人）	99	03
2	コア	R	190Q9045	多文化理解の試み	1	第1学期	第1ターム	月・木HT	講義	後藤 康志	教育・学生支援機構	99	03
3	コア	A1	190G3921	韓国サマースクールⅠ	2		集中講義		実習	藤石 貴代・他	人社系（人）	75.71	03
4	コア	A1	190G3922	韓国サマースクールⅡ	2		集中講義		実習	藤石 貴代・他	人社系（人）	75.71	03
5	コア	A1	190G3923	韓国サマースクールⅢ	2		集中講義		実習	藤石 貴代・他	人社系（人）	75.71	03
6	コア	A1	190G3951	シンガポール・スプリングセミナー	2		集中講義		実習	張 雲	グローバル教育センター	75.70	03
7	コア	A1	190G3925	カナダ・サマーセミナーⅠ	2		集中講義		実習	ハドリー浩美	教育・学生支援機構	75.70	03
8	コア	A1	190G3926	カナダ・サマーセミナーⅡ	2		集中講義		実習	ハドリー浩美	教育・学生支援機構	75.70	03
9	コア	A1	190G3928	北京サマーセミナーⅠ	2		集中講義		実習	真水 康樹	人社系（法）	75.71	03
10	コア	A1	190G3929	北京サマーセミナーⅡ	2		集中講義		実習	真水 康樹	人社系（法）	75.71	03
11	コア	A1	190G3930	北京サマーセミナーⅢ	2		集中講義		実習	真水 康樹	人社系（法）	75.71	03
12	コア	A1	190G3952	台湾スプリングセミナーⅠ	2		集中講義		実習	田中 環・他	自然科学系（理）	75.71	03
13	コア	A1	190G3953	台湾スプリングセミナーⅡ	2		集中講義		実習	田中 環・他	自然科学系（理）	75.71	03
14	コア	A1	190G3947	多文化共生社会体験 in AUSTRALIA Ⅰ	2		集中講義		実習	池田 英喜	グローバル教育センター	75	03
15	コア	A1	190G3948	多文化共生社会体験 in AUSTRALIA Ⅱ	2		集中講義		実習	池田 英喜	グローバル教育センター	75	03
16	コア	A1		海外研修									
17	コア	A1	190T9022	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	2	第1学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
18	コア	A1	190T9023	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	2	第2学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
19	コア	A1	190T9024	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	3	第1学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
20	コア	A1	190T9025	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	3	第2学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
21	コア	A1	190T9026	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	2	第1学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
22	コア	A1	190T9027	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	2	第2学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
23	コア	A1	190T9028	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	3	第1学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
24	コア	A1	190T9029	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	3	第2学期	集中講義		実習	坪井 望	自然科学系（工）	99	03
25	関連	A2	（全科目）	「英語 G コード科目」									
26	関連	A2	（全科目）	「初修外国語 G コード科目」									
27	関連	A2	休講	HSK（漢語水平考試）受験対策講座Ⅰ					講義			75.71	03
28	関連	A2	休講	HSK（漢語水平考試）受験対策講座Ⅱ					講義			75.71	03
29	コア	B1	190E1168	日本経済入門	2	第1学期	第1,2ターム	水5	講義	鷲見 英司	人社系（経）	36	03
30	コア	B1	190G7530	日本文化論	2	第2学期	第3,4ターム	金4	講義	岡村 浩	人社系（教）	13	03
31	コア	B1	190G3213	地域から文化を考える	2	第1学期	第1,2ターム	月5	講義	中村 元	人社系（人）	75	03
32	コア	B1	190H5182	日本語文化実習 A	1	第1学期	第1・2ターム	木2	実習	磯貝 淳一	人社系（人）	29.30	13
33	コア	B1	190H5183	日本語文化実習 B	1	第2学期	第3・4ターム	木2	実習	磯貝 淳一	人社系（人）	29.30	13
34	コア	B1	190H5184	日本語文化実習 C	1	第1学期	第1・2ターム	水2	実習	高橋 早苗	人社系（人）	29.30	13
35	コア	B1	190H5185	日本語文化実習 D	1	第2学期	第3・4ターム	水2	実習	廣部 俊也	人社系（人）	29.30	13
36	コア	B1	休講	日本近代文学 G	2				講義			29	03
37	コア	B1	191G7043	日本国憲法	2	第1学期	第1ターム	月1,2	講義	関 雅夫	非常勤講師	34	03
38	コア	B1	192G7044	日本国憲法	2	第1学期	第2ターム	月1,2	講義	関 雅夫	非常勤講師	34	03
39	コア	B1	190G7045	日本国憲法	2	第1学期	第1,2ターム	水5	講義	佐々木 智之	非常勤講師	34	03
40	コア	B1	193G7536	日本国憲法	2	第2学期	第3ターム	月1,2	講義	関 雅夫	非常勤講師	34	03
41	コア	B1	194G7537	日本国憲法	2	第2学期	第4ターム	月1,2	講義	関 雅夫	非常勤講師	34	03
42	コア	B1	193L3605	日本政治史	2	第2学期	第3ターム	火1,2	講義	稲吉 晃	人社系（法）	35	03
43	コア	B1	休講	比較地域社会学	2				講義			75	03
44	コア	B1	191G7030	音楽 E	2	第1学期	第1ターム	未定	講義	宇野 哲之	人社系（教）	13	03
45	関連	B2	休講	The North and the South over the Environment and Development	2				講義			75.35	04

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
46	関連	B2	191T9439	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火4、金4	講義	黒野 弘靖	自然科学系（工）	53	04
47	関連	B2	休講	日本文化起源論 B	2				講義			31	04
48	関連	B2	190E1241	日本経済史	2	第2学期	第3,4ターム	水2	講義	武藤 秀太郎	人社系（経）	36	04
49	関連	B2	休講	日本伝統文芸論 B	2				講義			31	04
50	コア	C1	190G3740	シンガポール・スプリングセミナー準備講座	2	第2学期	第3,4ターム	火4	実習	張 雲	グローバル教育センター	75.70	03
51	コア	C1	192G3223	中国留学準備講座 サマーセミナー総合編	2	第1学期	第2ターム	火3、金3	実習	干野 真一・他	人社系（人）	75.71	03
52	コア	C1	190H5173	日本・アジア言語文化概説	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	廣部 俊也	人社系（人）	29.30	03
53	コア	C1	休講	アジア史実習 A	1				実習			31	13
54	コア	C1	休講	アジア史実習 B	1				実習			31	13
55	コア	C1	190H5168	アジア史実習 C	1	第1学期	第1・2ターム	火3	実習	村上 正和	人社系（人）	31	13
56	コア	C1	190H5169	アジア史実習 D	1	第2学期	第3・4ターム	月2	実習	広川 佐保	人社系（人）	31	13
57	コア	C1	190H5187	アジア言語文化研究法 B	2	第1学期	第1・2ターム	火4	講義	干野 真一	人社系（人）	30	13
58	コア	C1	190H5190	英米文化概説 B	2	第2学期	第3・4ターム	木4	講義	平野 幸彦	人社系（人）	29	03
59	コア	C1	193L3607	政治社会学	2	第2学期	第3ターム	月1,2	講義	真水 康樹	人社系（法）	35	03
60	コア	C1	194H5905	西洋言語文化入門 A	2	第2学期	第4ターム	月4・木4	講義	秋 孝道	人社系（人）	29.30	03
61	コア	C1	194H5005	西洋言語文化入門	2	第2学期	第4ターム	月4・木4	講義	秋 孝道	人社系（人）	29.30	03
62	コア	C1	休講	西洋言語文化入門 B	2							29.30	03
63	コア	C1	190H5192	ドイツ言語文化概説 A	2	第1学期	第1・2ターム	金2	講義	吉田 治代	人社系（人）	29	03
64	コア	C1	190Q9024	フランス学研究法	1	第1学期	第1,2ターム	火H・T	演習	金子 麻里	非常勤講師	71	03
65	コア	C1	190H5193	フランス言語文化概説 A	2	第2学期	第3・4ターム	火4	講義	逸見 龍生	人社系（人）	29	03
66	コア	C1	190H5194	フランス言語文化概説 B	2	第2学期	第3・4ターム	集中	講義	石野 好一	人社系（人）	30	03
67	コア	C1	休講	領域融合・超域科目 D	2				講義			31	03
68	コア	C1	190Q0027	ロシア学研究法	1	第1学期	第1,2ターム	水H・T	演習	番場 俊・他	人社系（人）	71	03
69	コア	C1	190H5195	ロシア言語文化概説 A	2	第1学期	第1・2ターム	火5	講義	鈴木 正美	人社系（人）	29	03
70	コア	C1	休講	国際教養演習	2				講義			38	03
71	コア	C1	193L3308	国際法／国際法概論	2	第2学期	第3ターム	木1,2	講義	渡辺 豊	人社系（法）	34	03
72	コア	C1	190Q9025	コリア学入門	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	演習	藤石 貴代	人社系（人）	71	03
73	コア	C1	190Q9028	中国学研究法	1	第1学期	第1,2ターム	月H・T	講義	(非) 応雋・斯日・肖	非常勤講師	71	03
74	コア	C1	191L3615	中国政治入門	2	第1学期	第1ターム	火3,4	講義	李 寒梅	人社系（法）	35	03
75	コア	C1	休講	中国法史	2				講義			34	03
76	コア	C1	190Q9017	ドイツ学研究法	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	演習	山田 陽子	非常勤講師	71	03
77	コア	C1	190Q9023	英語文化研究	1	第2学期	第3・4ターム	水H・T	演習	平野 幸彦	人社系（人）	70	03
78	関連	C2	190E5055	EU 経済論	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	藤田 憲	人社系（経）	36	04
79	関連	C2		異文化論（※）	2				講義			36.33	04
80	関連	C2		異文化論（※）	2				講義			36.33	04
81	関連	C2	190H5440	西洋文化史 A	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義	細田あや子	人社系（人）	31	04
82	関連	C2	191E1010	世界経済史 I	2	第1学期	第1ターム	月3,4	講義	左近 幸村	超域学術院	36	04
83	関連	C2	192E1025	世界経済史 II	2	第1学期	第2ターム	月3,4	講義	左近 幸村	超域学術院	36	04
84	関連	C2	190H5458	ドイツ言語文化論 A	2	第1学期	第1・2ターム	水4	講義	A. ホップ	教育・学生支援機構	29	04
85	関連	C2	190H5459	ドイツ言語文化論 B	2	第2学期	第3・4ターム	水4	講義	A. ホップ	教育・学生支援機構	30	04
86	関連	C2	190H5452	ドイツ文芸論	2	第2学期	第3・4ターム	火3	講義	桑原 聡	人社系（人）	29	04
87	関連	C2	190H5462	フランス言語文化論 C	2	第1学期	第1・2ターム	集中	講義	石野 好一	人社系（人）	30	04
88	関連	C2	190H5460	フランス言語文化論 A	2	第2学期	第3・4ターム	水3	講義	逸見 龍生	人社系（人）	29	04
89	関連	C2	193E1041	ロシア経済論	2	第2学期	第3ターム	月3,4	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
90	関連	C2	190H5463	ロシア言語文化論 A	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	鈴木 正美	人社系（人）	29	04
91	関連	C2	190H5464	ロシア言語文化論 B	2	第1学期	第1・2ターム	集中	講義	梅津 紀雄	非常勤講師	29	04
92	関連	C2	休講	Development of Environmental Policies of Japan	2				講義			75.35	05
93	関連	C2	休講	人類共同体のための国際環境政策学	2				講義			75.35	04
94	関連	C2	休講	西洋地域史 A	2				講義			31	14
95	関連	C2	休講	西洋地域史 B	2				講義			31	14
96	関連	C2	休講	中国言語文化論 A	2				講義			29.30	04
97	関連	C2	190H5448	中国言語文化論 B	2	第2学期	第3・4ターム	月3	講義	干野 真一	人社系（人）	29.30	04
98	関連	C2	休講	特殊講義（国際経済法）	2				講義			34	04

■プログラムの名称 「世界システム論」

概 要	近代以降の世界を読み解くためには、世界全体をある種の構造を有するものとしてとらえていくことが必要となったといえる。そして「グローバリゼーション」が進展する今日世界の一体化は急速に進展している。しかし、その中で、また、地域の重要性も再認識されるようになってきている。したがって、現代を把握するには両者の関係を理解することが鍵となる。本プログラムは、こうした現代をより深く把握するために設計されたプログラムである。		
ね ら い	1. 今日進展しているグローバリゼーションといわれる現象はどのようなものであるのかを理解できるようになる。 2. 新潟という地域、そこで暮らしている人々（われわれも）とグローバリゼーションとの関係について理解できるようになる。 3. 新潟という地域に足を踏まえ国際社会で活躍するための考え方を身につけることができるようになる。		
到達目標	1. 資本主義の発展を世界的視野から大まかに説明することができる。 2. 北東アジアの国々・諸地域の現状を把握し、それらの特徴を簡潔に説明することができる。 3. グローバリゼーションの進展と地域社会との関係を理解した上で、今後研究を深める、あるいは、携わっていこうと思う課題を明らかにすることができる。	副 専 攻 委員会委員	○溝口 由己 武藤秀太郎 向山 恭一
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のG P Aが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目から、属性区分「A」科目、「B」科目、それぞれ「2科目」以上を修得していること。		
プログラムの紹介	2008年9月に起こった、いわゆるリーマンショック以降、世界経済は危機的状況にあると言われています。これは、1970年から顕著になったグローバリゼーションの帰結とも考えられます。そうであるとすれば、いま、資本主義は大きな転換点を迎えていることになります。サブプライム問題に端を発した今回の経済危機は、アメリカを中心とした世界経済をきちんと理解する必要性も示されたといえるでしょう。今世界で何が起きているのか、これから世界はどのように変化していくのかを考える際には世界経済のつながりを理解しなければならないのです。この問題を考える一つのヒントとして資本主義の多様性についての理解が重要になってきます。資本主義の多様性を示す考え方として下図のような理解があります。これまでの主流はいうまでもなく、アメリカ資本主義に代表される市場ベース型です。それ以外のタイプの資本主義がこれからの時代をリードしていくのか、それともそれらを超える代替案が必要とされるのか、考えてみませんか。副専攻「世界システム論」プログラムはそのような理解を図るためのものです。 ブルーノ・アマールの『五つの資本主義』に基づき山田鋭夫作成 (『さまざまな資本主義』藤原書店2008年 151ページ)		

「世界システム論」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目／A：人文学・法学分野選択必修科目／B：経済学分野選択必修科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	A	190K5615	社会学	2	第1学期	第1,2ターム	木2	講義	内田 健	人社系（教）	38	04
2	コア	A	休講	比較地域社会学	2				講義			75	03
3	コア	A	190K6765	共生学習論Ⅲ	2	第1学期	第1,2ターム	金2	講義	向山 恭一	人社系（教）	40	03
4	コア	A	193L3308	国際法概論	2	第2学期	第3ターム	木1,2	講義	渡辺 豊	人社系（法）	34	03
5	コア	B	190E1103	入門社会経済学	2	第1学期	第1,2ターム	水6	講義	石川 耕三	人社系（経）	36	03
6	コア	B (夜間主)	190E5017	世界経済史Ⅰ	2	第1学期	第1,2ターム	月6	講義	左近 幸村	人社系（経）	36	04
7	コア	B	192E1025	世界経済史Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	月3,4	講義	左近 幸村	人社系（経）	36	04
8	コア	B	休講	アメリカ経済論Ⅰ	2				講義			36	04
9	コア	B (夜間主)	休講	アメリカ経済論Ⅰ	2				講義			36	04
10	コア	B	休講	アジア経済論Ⅰ	2				講義			36	04
11	関連		191E1011	アジア経済論Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	火1・金1	講義	溝口 由己	人社系（経）	36	04
12	コア		192E1064	経済学史Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月3,4	講義	武藤 秀太郎	人社系（経）	36	03
13	コア		休講	経済政策論Ⅰ	2				講義			36	04
14	コア		190E1241	日本経済史	2	第2学期	第3,4ターム	水2	講義	武藤 秀太郎	人社系（経）	36	04
15	コア		190E1242	E U経済論	2	第2学期	第3,4ターム	水4	講義	藤田 憲	人社系（経）	36	04
16	コア		193E1042	開発途上国経済論	2	第2学期	第3ターム	火4・金4	講義	石川 耕三	人社系（経）	36	04
17	コア		193E1041	ロシア経済論	2	第2学期	第3ターム	月3,4	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
18	コア	(夜間主)	190E5056	ロシア経済論	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
19	関連		190K6766	共生学習論Ⅳ	2	第2学期	第3,4ターム	金2	講義	向山 恭一	人社系（教）	40	03
20	関連		191E1010	世界経済史Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月3,4	講義	左近 幸村	人社系（経）	36	04
21	関連		191E1012	比較経済体制論	2	第1学期	第1ターム	月3,4	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
22	関連	(夜間主)	190E5024	比較経済体制論	2	第1学期	第1,2ターム	月6	講義	道上 真有	人社系（経）	36	04
23	関連		190E1243	アメリカ経済論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	木6	講義	大森 拓磨	人社系（経）	36	04
24	関連	(夜間主)	190E5060	アメリカ経済論Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	木6	講義	大森 拓磨	人社系（経）	36	04
25	関連		193M5026	国際保健医療学	1	第2学期	第3ターム	水1	講義	中村 勝	医歯学系（医（保健））	82	03
26	関連		193G8504	医療ボランティア論	1	第2学期	第3ターム	水1	講義	坂井 さゆり	医歯学系（医（保健））	81	03
27			193M5023				第3ターム	水1					
28	関連		休講	演習ⅠA	2				演習			36,37	13
29	関連		休講	演習ⅠB	2				演習			36,37	13
30	関連		休講	演習ⅡA	2				演習			36,37	14
31	関連		休講	演習ⅡB	2				演習			36,37	14
32	関連		190E1117	演習ⅠA	2	第1学期	第1,2ターム	火4	演習	溝口 由己	人社系（経）	36,37	13
33	関連		190E1192	演習ⅠB	2	第2学期	第3,4ターム	火4	演習	溝口 由己	人社系（経）	36,37	13
34	関連		190E1145	演習ⅡA	2	第1学期	第1,2ターム	火4	演習	溝口 由己	人社系（経）	36,37	14
35	関連		190E1220	演習ⅡB	2	第2学期	第3,4ターム	火4	演習	溝口 由己	人社系（経）	36,37	14

■プログラムの名称 「会 計 学」

概 要	本副専攻は、簿記会計のスキルの習得、会計制度・税法及び会計理論・租税理論に関心のある学生に対し、会計学・税法に関する授業を提供する。具体的には、日本商工会議所の検定簿記試験の分野をカバーする簿記科目、財務会計、管理会計及び税法に関する科目を体系的に配置し、勉学意欲のある学生に対して学習の場を提供するものであり、経済学部経営学科の会計学及び税法分野に関する科目を開放する。講師陣として、会計学・税法の専任教員のほか、現職の会計専門職（公認会計士・税理士）や専門学校専任講師が担当することも本副専攻の大きな特徴である。		
ね ら い	本専攻での学習を通じて、企業が投資家や株主・債権者といった外部の利害関係者に提出する財務情報（有価証券報告書、決算短信、アニュアルレポートなど）の性質や情報内容を理解するとともに、簿記・会計及び税法に関する講義を段階的に受講することによって、企業会計にとって不可欠な知識を体系的に学習することができる。		
到達目標	1. 企業が公表する財務情報の内容を理解できる。 2. 新聞紙上で公表される会計・税法関連記事の内容を理解し、その意味を説明することができる。 3. 経理関連書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から把握できるようになる。 4. 最低限、日本商工会議所の簿記検定試験2級程度の簿記を修得する。	副 専 攻 委員会委員	○加井 久雄 李 健泳 有元 知史
認定条件 及び評価 の 方 法	【各プログラム共通の認定条件】 ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。		
	【各プログラム独自の認定条件等】 ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・経済学部生を除く。 ・「会計学概論Ⅰ」と「簿記入門」は講義内容が重複しているため、いずれか一方しか履修することができない。 ・「企業分析入門」は3つとも内容が同じであるため、いずれか一つしか履修することができない。		
プログラムの紹介	経済学部には、「会計研究会」という学生による自主勉強会があります。本プログラムの認定を目指す学生の中には、日商簿記1級を目指したい、税理士や公認会計士になりたい、国税専門官になりたい、企業で会計を専門として活躍したい、といった希望を持っている方もきっといると思います。会計研究会には職業会計人を目指す学生が集い、切磋琢磨し、また助け合いながら、勉学に取り組んでいます。 副専攻「会計学」を希望する方で、簿記・会計についてもっと勉強したい方は、会計研究会に入会することができます。1人だと、どのように勉強したらよいかわからないことでも、会計研究会で学生同士、気軽に相談することができます。是非、会計研究会で学習仲間を作って、副専攻での学習を実りあるものにして欲しいと願っています。		

「会計学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア		191E1001	会計学概論Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火4・金4	講義	加井 久雄	人社系（経）	37	03
2	コア		193E1031	会計学概論Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火3・金3	講義	有元 知史	人社系（経）	37	03
3	コア	夜間	190E1105	簿記入門	2	第1学期	第1,2ターム	月6	講義	有元 知史	人社系（経）	37	03
4	コア		194E1057	企業分析入門	2	第2学期	第4ターム	月3,4	講義	稲村 由美	人社系（経）	37	03
5	コア	夜間	190E5074	企業分析入門	2	第2学期	第3,4ターム	木6	講義	加井 久雄	人社系（経）	37	03
6	コア		194E1058	企業分析入門	2	第2学期	第4ターム	月3,4	講義	加井 久雄	人社系（経）	37	03
7	コア		190E1173	簿記論	2	第1学期	第1,2ターム	木5	講義	神納 樹史	非常勤講師	37	04
8	コア		192E1019	財務会計論Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火4・金4	講義	稲村 由美	人社系（経）	37	04
9	コア		193E1032	財務会計論Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火4・金4	講義	稲村 由美	人社系（経）	37	04
10	コア		194E1055	原価計算論Ⅰ	2	第2学期	第4ターム	火4・金4	講義	有元 知史	人社系（経）	37	04
11	コア	夜間	190E5070	原価計算論Ⅰ	2	第2学期	第3,4ターム	火6	講義	有元 知史	人社系（経）	37	04
12	コア		休講	原価計算論Ⅱ	2				講義			37	04
13	コア		190E1174	検定商業簿記2級Ⅰ	2	第1学期	第1,2ターム	木4	講義	東城 歩	非常勤講師	37	04
14	コア		190E1249	検定商業簿記2級Ⅱ	2	第2学期	第3,4ターム	木4	講義	東城 歩	非常勤講師	37	04
15	関連		190E1260	連結会計論Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	木3,4	講義	神納 樹史	非常勤講師	37	04
16	関連		192E1027	連結会計論Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	木3,4	講義	神納 樹史	非常勤講師	37	04
17	関連	夜間	190E1172	会計情報論	2	第1学期	第1,2ターム	金6	講義	中村 竹志	非常勤講師	37	04
18	関連		193E1043	国際会計論	2	第2学期	第3ターム	火3・金3	講義	加井 久雄	人社系（経）	37	04
19	関連	夜間	190E5029	国際会計論	2	第1学期	第1,2ターム	金7	講義	加井 久雄	人社系（経）	37	04
20	関連	夜間	190E1250	検定工業簿記2級	2	第2学期	第3,4ターム	金6	講義	齋藤 佑介	非常勤講師	37	04
21	関連		191E1014	管理会計論Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	水1,2	講義	李 健泳	非常勤講師	37	04
22	関連		192E1026	租税理論Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月2・木2	講義	藤巻 一男	人社系（経）	37	04
23	関連		193E1046	租税理論Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月3・木3	講義	藤巻 一男	人社系（経）	37	04
24	関連	夜間	190E1248	会计学特殊講義（会計監査論）	2	第2学期	第3,4ターム	月6	講義	阿部 祥子	非常勤講師	37	04
25	関連		193E1044	経営税務論Ⅰ	2	第2学期	第3ターム	火2・金2	講義	出村 仁志	人社系（経）	37	04
26	関連		191E1015	経営税務論Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	火1・金1	講義	出村 仁志	人社系（経）	37	04

4. よくある質問FAQ

始めるときに、よくある質問

Q1 副専攻プログラムの履修開始方法を教えてください。始めるときに申し込みなどが必要ですか？

A 副専攻プログラムの履修開始にあたって、事前登録や申し込みなどは、必要ありません。卒業するまでに認定条件を満たすように、副専攻パンフレットに掲載されている授業科目を履修してください。

Q2 何の講義からとったらいいのか、具体的なことがわかりません。

A まずはスタートアップガイダンスに参加したり、パンフレットを熟読するなどして、取得を目指す副専攻ではどんな科目を何単位とったらよいか、把握しましょう。それでも、何の講義からとったらいいか疑問が生じることがあるかもしれません。そのような時は、自分の所属する学部・学科の先輩が、取得を目指す副専攻をどのように取得したかの履修例を知ると良いでしょう。学務部教務課窓口にて過去の認定者の履修例を閲覧できますので、是非足を運んでみてください。

また、プログラム代表教員に相談してみるのも有意義です。代表教員の連絡先は64ページを参照ください。

Q3 副専攻プログラムのシラバス（冊子媒体）はありますか。

A 冊子媒体のシラバスはありません。シラバス検索画面（<http://syllabus.niigata-u.ac.jp/>）からご確認ください。

Q4 副専攻科目の時間割やシラバスはどうやって確認するのですか。

A シラバス検索画面（<http://syllabus.niigata-u.ac.jp/>）からご確認ください。

Q5 副専攻の科目はCAP制*に含まれるのでしょうか。

A どの科目をCAPに含めるかは、学部によって異なります。お手数ですが、所属学部の学務係に確認してください。

ちなみに、講義番号が「190Q0001」など、『Q』が付く科目（副専攻のためだけに開講されている科目）はCAPには含めず、その他の科目はCAPに含める学部が多いようです。

* 学期（セメスター）ごとに取得できる単位数を制限する制度をCAP制と呼びます。

Q6 副専攻の科目は卒業要件の単位に含まれるのでしょうか。

A どの科目を卒業要件の単位に含めるかは、学部によって異なります。お手数ですが、所属学部の学務係に確認してください。

Q7 入門科目は、全てのプログラムにおいて1年次から履修可能ですか。

A 1年次から履修可能かどうかは、プログラムによって異なります。外国語（ドイツ語）プログラム、外国語（中国語）プログラムについては、2年次以上の学生が対象です。それ以外のプログラムでは、1年次から履修可能です。また、世界システム論、会計学の入門科目は2016年度以前の入学者（編入学生は2017年度以前入学者）のみ、文化財学、国際教養の入門科目は2018年度以前の入学者（編入学生は2019年度以前入学者）のみ履修可能です。

始めるときに、よくある質問

Q8 副専攻パンフレットに掲載されている科目の履修登録の方法がわかりません。

A 通常の科目と同様です。学務情報システムから履修登録してください。

Q9 学務情報システムから、オナーズ・タイム^{*}（以下、H・T）に開講されている副専攻科目（たとえば開講番号190Q1234など、副専攻のためだけに開講されている科目）を履修登録しようと思いましたが、見つけれません。

A 学務情報システムの履修登録画面では、H・Tは2限と3限の間にあります。

^{*} オナーズ・タイムとは、全ての学部・学科の学生が履修できるよう設けられている昼休みの時間帯をいいます。

Q10 H・Tの授業時間を教えてください。

A 11時55分～12時45分です。新潟大学の授業時間割は、64ページをご参照ください。

Q11 副専攻パンフレットを入手したい場合はどうしたらよいですか。

A 学務部教務課で随時配布しています。

Q12 過去の副専攻パンフレットを入手したい場合はどうしたらよいですか。

A 学務情報システムのダウンロードのページからダウンロードできます。

Q13 2019年度入学者ですが、副専攻パンフレットは卒業するまで2019年度の副専攻パンフレットを参照しながら、履修をしたらよいのですか。

A いいえ。副専攻プログラムの履修にあたっては、副専攻プログラムの履修を開始した年度から、卒業年次までに毎年発行される副専攻パンフレットを参照しながら履修を進めてください。副専攻プログラム対象の科目の追加などの、細かい変更があるためです^{*}。

たとえば2018年度入学者でも、2019年度（2年次）から副専攻の認定を目指す場合には、2019年度には2019年度副専攻パンフレット、2020年度（3年次）では2020年度副専攻パンフレット、2021年度（4年次）では2021年度副専攻パンフレットを参照しながら、履修を進めてください。

なお、過去のパンフレットは、学務情報システムのダウンロードのページからダウンロードできます。

Q14 先輩の履修例を知りたいのですが、どうすればよいでしょうか。

A 所属する学部・学科によってどうやって履修すればよいかはかなり異なると考えられますので、先輩の履修例は大いに参考になると思われます。学務部教務課窓口にて過去の認定者の履修例を閲覧できます。

Q15 コア科目とはなんですか。

A その副専攻プログラムで学ぶ様々な科目の基礎となったり、関係を理解するための足場になったりするような科目で、「核（コア）」となるような科目です。

Q16 海外研修とはどのようなものですか？

A プログラムによって異なるので、プログラム代表教員に相談してください。また、外国語（英語）、外国語（ドイツ語）、外国語（フランス語）、外国語（コリア）、外国語（ロシア語）、外国語（中国語）では海外研修を含めたガイダンスを実施することがあります。そこでは、海外研修について紹介されることもあるので、機会があれば参加してみてください。

Q17 海外研修の単位認定について教えてください。

A 具体的な方法はプログラムによって異なるので、プログラム代表教員に相談してください。単位認定申請の時期は11月下旬からおおよそ3週間です。具体的な申請時期は、副専攻掲示板及び学務情報システムからお知らせします。

* 注 すでに単位認定済みのものについては、副専攻「海外研修」としての単位認定申請は認められません。

Q18 海外研修の詳細について知りたいのですが、どうしたらよいでしょうか。

A 副専攻外国語プログラムの単位認定のための海外研修を考えている場合は、必ず渡航前にプログラム代表教員に相談してください。

Q19 就職活動で副専攻をアピールする方法はありますか？

A 副専攻履修証明書を使う方法もあります。

Q20 副専攻履修証明書とはなんですか。

A 副専攻の修得が最終的に証明されるのは、卒業式での「副専攻認定証書」授与後になります。しかし、それでは就職活動などで副専攻を履修していることをアピールできないため、副専攻の履修を大学が公的に証明する「新潟大学副専攻プログラム履修証明書」が用意されています。履修証明書の発行要件を満たした方は、申請があれば随時、学務部教務課で証明書を発行していますので、ぜひ活用してください（8ページ参照のこと）。

Q21 副専攻プログラムの授業科目について、正しく修得できているかどうか不安です。現在の副専攻プログラムで履修済みの科目をチェックできるシステムはありますか。

A 学務情報システムの「副専攻関連」ページの「成績情報の参照」画面にて履修状況を確認できます。(10ページ参照。)

Q22 副専攻GPAを確認する方法を教えてください。

A 学務情報システムの「副専攻関連」ページの「成績情報の参照」画面から「副専攻成績確認表」ボタンをクリックすることで副専攻GPAを確認できます。(10ページ参照。)

Q23 2018年度副専攻パンフレットに掲載されていなかった科目ですが、2019年度副専攻パンフレットに新たに掲載されていました。この科目を2018年度に履修済みの場合、副専攻科目として認定されますか。具体的には以下のような場合です。

例) 2019年度副専攻パンフレットのあるプログラムに「A講義」が追加されていました。2018年度副専攻パンフレットには「A講義」は掲載されていませんが、2018年度に履修済みの「A講義」は副専攻科目として認めてもらえますか。

A 原則、各年度の副専攻パンフレットに掲載されている科目を副専攻科目として認定します。当該年度に掲載されていない科目は対象になりません。ただし、科目の内容が同一であると副専攻プログラム部会で認められた場合には遡って認定されます。疑問がある場合には、プログラム代表教員または学務部教務課までご連絡ください。

Q24 2018年度副専攻パンフレットに掲載されている科目ですが、2019年度副専攻パンフレットでは科目が削除されていました。この場合、2018年度に履修済みの科目は副専攻科目として無効になりますか。

A 無効になりません。

Q25 「卒業時のGPAが2.5以上であること。」とありますが、これは副専攻科目の成績だけが対象でしょうか？

A いいえ、不合格科目も含む全ての科目が対象です。GPAは学務情報システムから「副専攻関連」→「副専攻成績情報参照」画面→「副専攻成績情報確認表出力」ボタンをクリックすることで確認できます。(10ページ参照。)

Q26 GPAの計算に不合格科目は含まれますか。

A 副専攻科目だけではなく、全履修科目を対象としたGPAが2.5以上である必要があります。また、**不合格科目も含まれます**。GPAは学務情報システムの「副専攻関連」ページの「成績情報の参照」画面から「副専攻成績確認表」ボタンをクリックすることでGPAを確認できます。(10ページ参照。)

Q27 科目名が同じで、開講番号が異なる科目は、副専攻の対象科目となりますか？

A プログラム担当教員に確認してください。『積み重ね履修が可能な科目』以外は、対象となりません。

Q28 積み重ね履修が可能な科目で修得した単位は、それぞれ副専攻の対象となりますか？

例) 英米言語文化演習を4科目履修した場合など、全て副専攻24単位に含まれますか。

A 積み重ねが可能な科目と不可能な科目があります。プログラム担当教員に確認してください。

Q29 副専攻プログラム「外国語（英語）」について、「発展英語」や「応用英語」は、どの担当教員の科目であっても副専攻の対象になるのでしょうか。

A 科目名が『発展英語』や『応用英語』であれば、どの担当教員の科目であっても、この副専攻の対象となります。開講番号、学期や曜・限が空欄となっているのはそのためです。

Q30 認定申請時期を教えてください。

A 副専攻の認定申請期間は、卒業年次の12月中旬～1月中旬までのおおよそ1ヶ月の間です。掲示板や学務情報システムを使って周知しますので、忘れずに確認してください。

Q31 「副専攻成績確認表」に認定科目が表示されませんが、どうすればいいでしょう。

A 「副専攻成績確認表」には、認定科目は表示されません。そのため、副専攻認定申請時には副専攻成績確認表に手書きで追記してください。

Q32 副専攻の認定にあたって、認定試験のようなものはあるのでしょうか。ある場合、課題はいつ、どのように通知があるのでしょうか。

A 認定試験やレポートがあるプログラムとないプログラムがあります。認定試験やレポートがあるプログラムは、「各プログラム独自の認定条件等」にレポートや課題が記載されています。担当教員から提出時期などのお知らせを学務情報システムや、副専攻掲示等で通知しますので、それに従ってください。
パンフレットに記載が無いものについては、特に認定試験はありません。

Q33 副専攻認定証書はいつ授与されますか？

A 卒業式に授与されます。

新潟大学副専攻の認定に関する規則

【趣旨】

第1条 この規則は、新潟大学における副専攻の認定等に関し必要な事項を定めるものとする。

【副専攻の目的】

第2条 副専攻は、学部及び学科又は課程の専攻に係る分野以外の特定分野又は特定課題について、授業科目を体系的に編成することにより、学生の多様な知的探究心と資質に即したプログラムを提供し、多元的理解力、統合的理解力等を育成することを目的とする。

【副専攻の区分】

第3条 副専攻は、そのプログラムの編成方法により、分野別副専攻及び課題別副専攻に区分する。

- 2 分野別副専攻のプログラムは、特定の分野の授業科目により編成するものとする。
- 3 課題別副専攻のプログラムは、特定の課題について幅広い分野にわたる授業科目により編成するものとする。
- 4 副専攻として開設するプログラムは、別表のとおりとする。

【認定の要件】

第4条 副専攻の認定を希望する学生は、第3年次末までに当該副専攻プログラムの入門科目として定める授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

- 2 副専攻を認定することができる学生は、次に掲げる要件を満たすものとする。
 - (1) 当該副専攻プログラムの認定の対象となる別表に定める資格を有し、かつ所定の授業科目について24単位以上を修得していること。
 - (2) 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
 - (3) 卒業時までに履修したすべての授業科目について、次表の計算方法による1単位当たりの成績の平均値が2.5以上であること。

$$\frac{(\text{各授業科目の単位数} \times (\text{各授業科目の評価} - 50) \div 10) \text{の総和}}{\text{履修した各授業科目の単位数の総和}}$$

履修した各授業科目の単位数の総和

備考 この算式において「各授業科目の評価」が60点未満の場合は、「(各授業科目の評価 - 50)」の値を「0」とする。

【副専攻の認定申請】

第5条 副専攻の認定を受けようとする学生は、卒業年次の所定の期日までに副専攻の認定に係る申請を行わなければならない。

【副専攻の認定】

第6条 副専攻の認定は、大学教育委員会の議を経て教育・学生支援機構長（以下「機構長」という。）が行う。

2 機構長は、前項により副専攻の認定を行ったときは、学長に報告するものとする。

【副専攻の認定証書の授与】

第7条 学長は、前条第2項による報告に基づき、副専攻の認定を受けた者に副専攻認定証書（別記様式）を授与する。

【雑則】

第8条 この規則に定めるもののほか、副専攻に関し必要な事項は、別に定める。

別記様式（第7条関係）

大学印	第 号 新潟大学副専攻認定証書 ○○学部○○学科 卒業 氏 名 年 月 日生
本学の教育課程において優秀な成績を修め副専攻プログラムを修了したことを認定する	
副専攻プログラム ○○○○	
年 月 日	
新潟大学教育・学生支援機構長 ○○○○ 印	
新 潟 大 学 長 ○○○○ 印	

※附則及び第3条第4項の別表を除く。

2019年度 副専攻プログラム代表教員連絡先

プログラム名	担当者	所属	メールアドレス
環境学	湯川 靖彦	理学部	yukawa@env.sc.niigata-u.ac.jp
MOT基礎 (特許・経営及び製品開発基礎コース)	狩野 直樹	工学部	kano@eng.niigata-u.ac.jp
芸術学	廣部 俊也	人文学部	shrbe@human.niigata-u.ac.jp
文化財学	飯島 康夫	人文学部	iijimay@human.niigata-u.ac.jp
外国語(ドイツ語)	吉田 治代	人文学部	haruyo@human.niigata-u.ac.jp
外国語(英語)	平野 幸彦	人文学部	hirano@human.niigata-u.ac.jp
外国語(フランス語)	逸見 龍生	人文学部	t.hemmi@human.niigata-u.ac.jp
外国語(コリア)	藤石 貴代	人文学部	fujiishi@human.niigata-u.ac.jp
外国語(ロシア語)	番 場 俊	人文学部	bamba@human.niigata-u.ac.jp
外国語(中国語)	土屋 太祐	経済学部	tsuchiya@econ.niigata-u.ac.jp
世界システム論	溝口 由己	経済学部	mizoguti@econ.niigata-u.ac.jp
地域学	原 直 史	人文学部	hara@human.niigata-u.ac.jp
GIS(地理情報システム)リテラシー	浮田 甚郎	理学部	jukita@env.sc.niigata-u.ac.jp
国際教養	高橋 秀樹	人文学部	hdktkhsh@human.niigata-u.ac.jp
法律学	南島 和久	法学部	najima@jura.niigata-u.ac.jp
政治学			
経済学	山崎 剛志	経済学部	tyamazak@econ.niigata-u.ac.jp
会計学	加井 久雄	経済学部	hisa@econ.niigata-u.ac.jp
電子・情報科学	三村 宣治	工学部	mimura@eng.niigata-u.ac.jp
統合化学	山際 和明	工学部	yamagiwa@eng.niigata-u.ac.jp
医学物理学基礎	大坪 隆	理学部	tohtsubo@np.gs.niigata-u.ac.jp
	笹本 龍太	医学部(保健学科)	rsasa@clg.niigata-u.ac.jp

授業時間割

昼間コース

時限	授業時間
1 時限	8 時30分～10時00分
2 時限	10時15分～11時45分
H・T	11時55分～12時45分
3 時限	12時55分～14時25分
4 時限	14時40分～16時10分
5 時限	16時25分～17時55分

夜間主コース

時限	授業時間
6 時限	18時05分～19時35分
7 時限	19時45分～21時15分

※ H・T(オナーズ・タイム)は原則として、副専攻等における授業時間帯とする。

2019年度 副専攻入門科目等一覧

●各プログラム「入門科目」の時間割と教室、開講番号が「190Q」で始まる科目(いわゆるQ科目*)の時間割と教室を掲載しています。

*Q科目とは、副専攻プログラムのために開講されている科目です。

●その他の科目の時間割・教室は、学務情報システムのシラバスから確認してください。

シラバスに教室を掲載していない科目は、その科目を所管している学部(開講番号先頭の英字で区別しています。)の学務係窓口で「時間割表」又は「シラバス(講義概要)」を閲覧してください。

【開講番号の英字と所管している学部】

G(学務部教務課)、H(人文学部)、K(教育学部)、L(法学部)、E(経済学部)、S(理学部)、M(医学部)、T(工学部)、A(農学部)

●変更がある場合には、副専攻掲示板及び学務情報システムからお知らせします。

●集中講義の日程・教室・聴講手続きについては、後日副専攻掲示板及び学務情報システムからお知らせします。

●H・Tとは、オナーズ・タイム(11:55～12:45)のことです。

プログラム名	開講番号	科目名	学期	ターム	曜限	教室	担当教員(代表)
環境学	190Q9001	環境学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	木H・T	総合教育研究棟B350	湯川 靖彦・他
	190Q0002	環境学実習	集中講義			未定	本間 航介
	190Q0003	環境学演習	第2学期	第3・4ターム	水H・T	総合教育研究棟B350	中田 誠・他
MOT基礎 (特許・経営及び製品開発基礎コース)	190Q9007	特許・経営および製品開発入門【入門科目】	第1学期	第1ターム	月、木H・T	総合教育研究棟F371	狩野 直樹 他
	190Q0008	特許と技術経営I	集中講義			工学部棟208講義室	(非)吉井 雅栄
	190Q0009	特許と技術経営II	集中講義			工学部棟208講義室	(非)丸山 三孝
芸術学	190Q9010	芸術学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	水H・T	総合教育研究棟B256	廣部 俊也
	190Q0011	芸術学実習	第2学期	第3・4ターム	水H・T	総合教育研究棟B256	廣部 俊也
文化財学	190Q9012	文化財学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	月H・T	総合教育研究棟B254	飯島 康夫・他
	190Q0013	文化財保存科学	集中講義			未定	(非)水本・武田
	190Q0014	文化財科学	集中講義			未定	(非)中山・畑山
	190Q0015	文化財保護と史跡整備	集中講義			未定	(非)荒川・相田
外国語(ドイツ語)	190Q9017	ドイツ学研究法【入門科目】	第1学期	第1ターム	火、金H・T	総合教育研究棟D-200	(非)小林リリ子
外国語(英語)	190Q9023	英語文化研究【入門科目】	第2学期	第3・4ターム	水H・T	総合教育研究棟B356	平野 幸彦
外国語(フランス語)	190Q9024	フランス学研究法【入門科目】	第2学期	第3・4ターム	木H・T	総合教育研究棟B450	(非)金子 麻里
外国語(コリア)	190Q9025	コリア学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	木H・T	総合教育研究棟G310(LL教室)	藤石 貴代
	190Q0026	国際交流	集中講義			未定	(非)李・森澤
外国語(ロシア語)	190Q0027	ロシア学研究法【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	水H・T	総合教育研究棟D-200	番場 俊
外国語(中国語)	190Q9028	中国学研究法【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	月H・T	総合教育研究棟G312	(非)斯日・応・肖
地域学	190Q9041	地域学序説入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	木H・T	総合教育研究棟B352	原 直史
	190Q0042	地域学実習	集中講義			未定	原 直史
	190Q0043	地域学演習	第2学期	第3・4ターム	木H・T	総合教育研究棟B352	原 直史
GIS(地理情報システム) リテラシー	190Q9042	副専攻GISリテラシー入門【入門科目】	集中講義			未定	(非)長谷川 普一
	190Q0058	研究プロジェクト演習	第2学期	第3・4ターム	時間外	未定	浮田 甚郎
国際教養	190Q9044	国際教養入門【入門科目】	第2学期	第3ターム	水、金H・T	総合教育研究棟B254	高橋 秀樹
	190Q9045	多文化理解の試み	第1学期	第1ターム	月、木H・T	総合教育研究棟B258	後藤 康志
法律学	191G7039	人文社会科学入門(法学)	第1学期	第1ターム	水3、4	人文社会科学系棟D340	上山 泰・他
	192G7040	リーガルシステム	第1学期	第2ターム	月4、木4	人文社会科学系棟E160	土屋 武
政治学	191G7039	人文社会科学入門(法学)	第1学期	第1ターム	水3、4	人文社会科学系棟D340	上山 泰・他
	192G7040	リーガルシステム	第1学期	第2ターム	月4、木4	人文社会科学系棟E160	土屋 武
経済学	190Q9036	経済学への招待【入門科目】	第2学期	第3ターム	火、金H・T	総合教育研究棟B352	山崎 剛志・他
会計学	191E1001	会計学概論I【入門科目】	第1学期	第1ターム	火4・金4	人文社会科学系棟E020	加井 久雄
	190E1105	簿記入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	月6	人文社会科学系棟D340	有元 知史
電子・情報科学	190Q9039	電子・情報科学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	火H・T	総合教育研究棟B254	三村 宣治・他
統合化学	190Q9040	統合化学入門【入門科目】	第2学期	第3ターム	月、木H・T	総合教育研究棟B258	山際 和明
医学物理学基礎	190Q9043	医学物理学入門【入門科目】	第2学期	第3ターム	水、金H・T	総合教育研究棟B253	大坪 隆・他

問い合わせ先・案内図

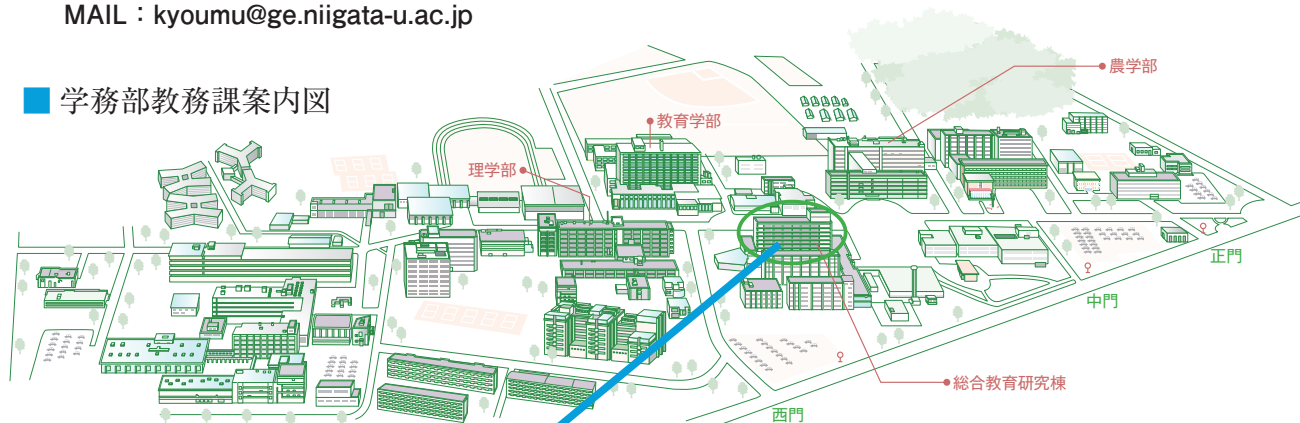
■ 学務部教務課③番窓口

総合教育研究棟A棟 1 階

TEL : 025-262-6530

MAIL : kyoumu@ge.niigata-u.ac.jp

■ 学務部教務課案内図



総合教育研究棟



総合教育研究棟 A棟 1階
学務部教務課③番窓口



■ 学務部教務課掲示板：総合教育研究棟B棟 2階 学生玄関正面に設置

問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学 学務部 教務課

電話 (025)262-6530 FAX (025)262-6304

2019

副 専 攻
プログラム

